

太子町観光まちづくりビジョン
平成 29 年度 評価について

1. 平成 29 年度の取組み評価

平成 28 年に策定された「太子町観光まちづくりビジョン」における平成 29 年度の観光まちづくりに対する成果は、下記のとおりである。

まず特筆すべきは、平成 29 年 4 月に竹内街道が、大阪府内で初めて日本遺産に認定されたことである。

本町では、日本遺産認定についてのチラシの作製やのぼりや横断幕の設置、職員による PR 名刺の作成などによる周知をはじめ、町外イベントでの PR 活動を実施した。また、太子町観光・まちづくり協会においては、Facebook や Instagram、twitter など、SNS の投稿による情報発信を活発化させた。これらを通して、「日本遺産のまち太子町」としての認知度の向上を図ってきた。さらに、竹内街道・横大路（大道）の沿道や周辺の市町村との協働により、ホームページの立ち上げや看板の設置などの日本遺産推進事業を展開した。

これらの結果、太子町観光・まちづくり協会のホームページのユニークユーザー数や竹内街道の散策者数が増加したように、竹内街道への注目度が高まりつつある。また、日本遺産の認定に際して、テレビや新聞などのメディアに取り上げられるなど、竹内街道が観光スポットとして認知されつつある。

来訪者に対しては、竹内街道交流館を通年の土日に開館するなど、「おもてなし」を拡充してきた。そのなかで「太子聖燈会」、「竹内街道灯路祭り」、「ホタル観賞会」などの町独自の住民参加型イベントの周知を行い、太子町としての観光まちづくりを PR することができた。

次に、様々な団体との連携の強化である。

「太子聖燈会の会」や「竹内街道にぎわいづくり協議会」と連携し、住民主体の観光まちづくりイベントを実施したことをはじめ、聖徳太子ゆかりの地友好都市である、兵庫県太子町・奈良県斑鳩町との三町交流事業、南河内の市町村で構成する「華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会」、前述の竹内街道・横大路（大道）の沿道や周辺の 10 市町村で構成する「竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会」において、地域連携・広域連携を継続して行い、多数の参加者に本町の魅力を PR することができた。

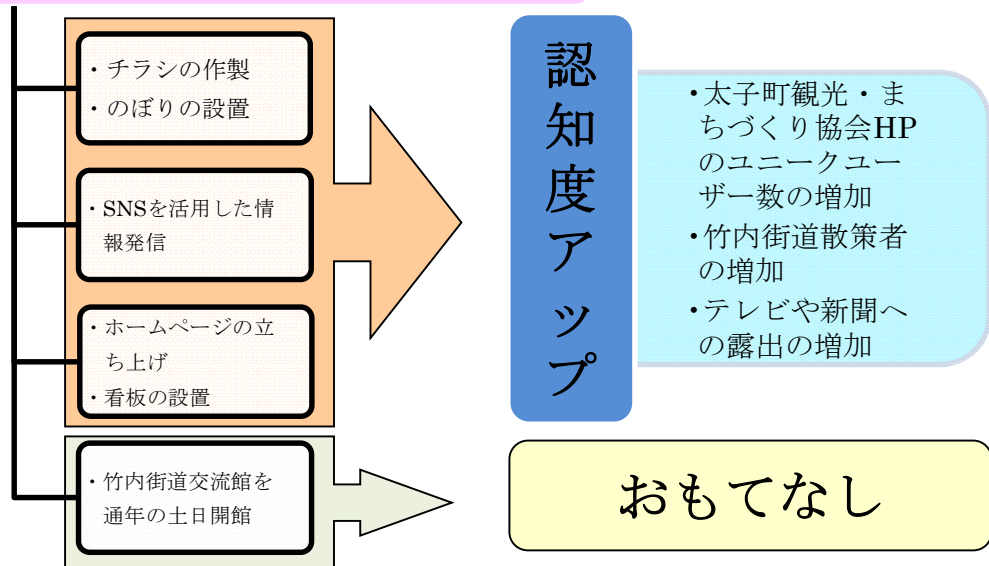
また、空き家の利活用に関して、観光まちづくりの拠点設置を目的として、大阪府が推進する「リノベーションまちづくり部会」と連携した取り組みに着手した。具体的には今後の取り組みとなるが、資源を活用したにぎわいづくりに携わる人材発掘・機運醸成の第一歩は踏み出した。

観光まちづくりビジョン策定 1 年目ということもあり、機運醸成に重点を置き取り組んできた。平成 30 年度は来るべく 2021 年の聖徳太子没後 1400 年に向けて、地域の力を合わせて太子町の観光まちづくりを推し進めていく。

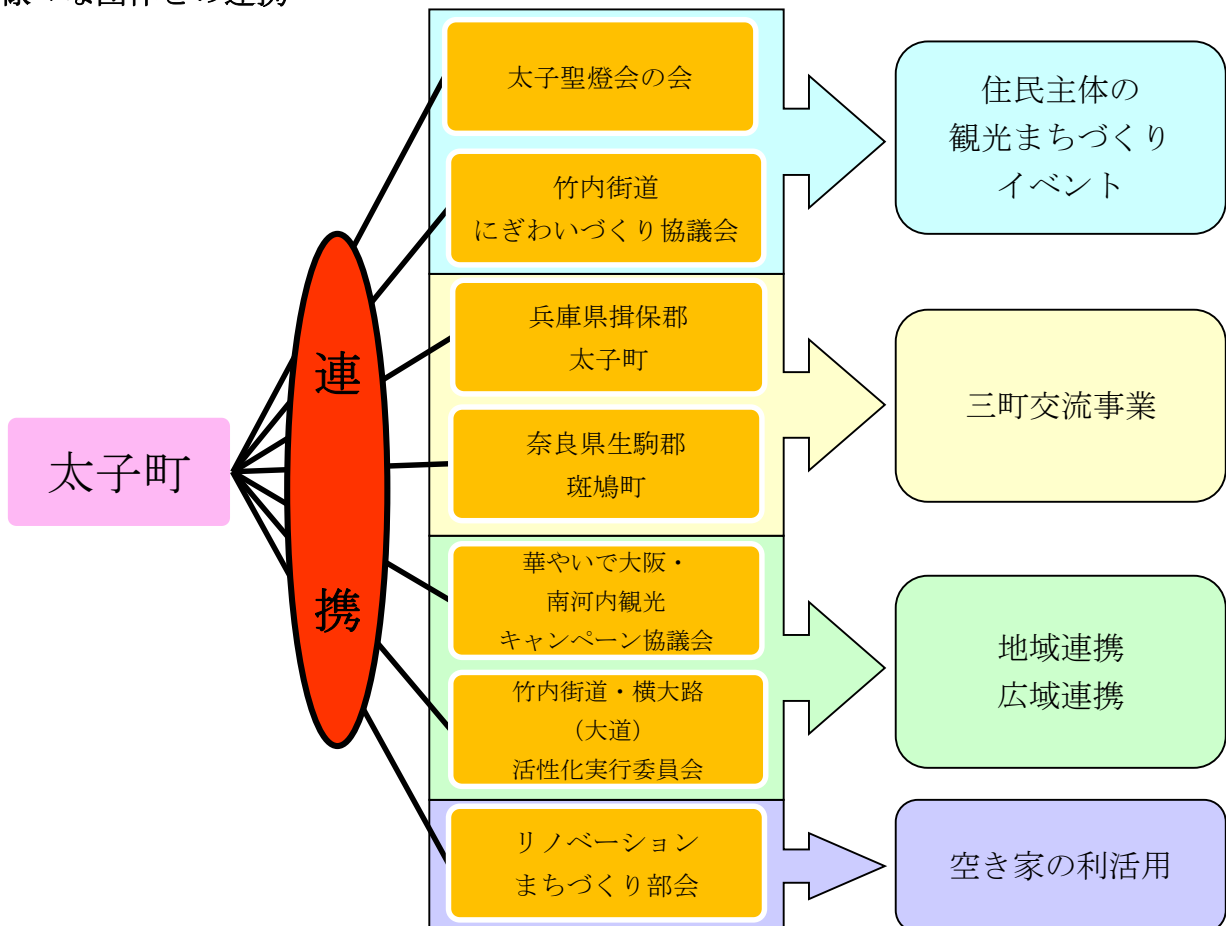
【概要（イメージ）】

■竹内街道・横大路（大道）の日本遺産認定

竹内街道・横大路（大道）が
日本遺産に認定



■様々な団体との連携



2. 今後の取組みについて

I. 誇りや愛着の醸成

【 課題 】

- ・ 住民における、聖徳太子や竹内街道の理解及び認知度の向上
- ・ 太子町観光まちづくりネットワークの設立
- ・ 話題性の創出
- ・ プロモーションの活性化
- ・ 聖徳太子没後 1400 年関連事業に対する整理

【 平成 30 年度取組み 】

- ・ 太子町観光まちづくりネットワークを設立し、各団体間の情報共有を促す。
- ・ 聖徳太子没後 1400 年の実行委員会を設立し、関連事業に着手する。
- ・ 講演やワークショップを通じて、住民の太子町に対する理解度を高める。
- ・ 「竹内街道・横大路（大道）」沿道や周辺の 9 市町村と連携し、日本遺産推進事業を実施する。

II. 特産品の生産能力低下の抑制

【 課題 】

- ・ 農業従事者の高齢化
- ・ 特産品の六次産業化・ブランド化
- ・ 特産品を活用した着地型観光の創出
- ・ 遊休農地の利活用

【 平成 30 年度取組み 】

- ・ 太子ブランド制度の確立
- ・ 太子町観光まちづくりネットワークにおける、観光と農政の連携
- ・ ぶどう、みかんをはじめとした特産品の PR

Ⅲ. 観光まちづくりコンテンツのブラッシュアップ

【 課題 】

- ・太子町観光まちづくりネットワークの設立
- ・太子町職員を含めた、観光まちづくりに関わる人材の発掘と育成
- ・太子町観光・まちづくり協会の組織強化
- ・町内施設（山本家住宅、竹内街道交流館）の活用
- ・空き家の利活用

【 平成 30 年度の取組み 】

- ・太子町観光まちづくりネットワークの設立
- ・講演やワークショップを通じて、住民の太子町に対する理解度を高める。
- ・太子町観光・まちづくり協会の組織強化に取り組む。
- ・竹内街道交流館の通年開館
- ・リノベーションまちづくり部会と連携し、空き家の利活用に関するセミナーの実施

Ⅳ. 戦略的なコミュニケーションの展開

【 課題 】

- ・町内施設（山本家住宅、竹内街道交流館）の活用
- ・空き家の利活用
- ・道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアル後の活用
- ・サイン計画の策定
- ・メディアへの積極的な働きかけ

【 平成 30 年度の取組み 】

- ・竹内街道交流館の通年開館
- ・リノベーションまちづくり部会と連携し、空き家の利活用に関するセミナーの実施
- ・道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の活用に向け、道の駅運営者と協議
- ・SNS における情報拡散の促進

V. 観光まちづくり事業を誘発・育成する行政支援

【 課題 】

- ・ 聖徳太子没後 1400 年に向けた広域的な連携
- ・ 定期的なマーケティングリサーチの実施
- ・ 観光まちづくり関連の調査分析データの公開

【 平成 30 年度の実施 】

- ・ 聖徳太子没後 1400 年に向け、関連市町村との広域的な連携を検討
- ・ 観光イベント・町外イベントの実施・参加の推進

太子町観光まちづくりビジョン
平成 30 年度 評価について

令和 2 年（2020 年）2 月

太子町

目次 | INEDX

評価委員の意見と助言

京都外国語大学 教授 吉兼 秀夫

p.01 1. 太子町観光まちづくりビジョンの評価について

p.01 (1) 評価の目的

p.01 (2) 評価の概要

p.04 2. 評価結果の総括

p.04 (1) 課題の評価結果の総括

p.04 (2) 施策の評価結果の総括

p.05 (3) メニューの評価結果の総括

p.05 (4) 重点メニューの評価結果の総括

p.06 (5) 重点メニューの主な取組みの評価結果の総括

p.12 3. 評価結果

p.12 (1) I. 誇りや愛着の醸成

p.15 (2) II. 特産品の生産能力低下の抑制

p.18 (3) III. 観光まちづくりコンテンツのブラッシュアップ

p.21 (4) IV. 戦略的なコミュニケーションの展開

p.24 (5) V. 観光まちづくり事業を誘発・育成する行政支援

p.26 (6) 重点メニュー

1. 太子町観光まちづくりビジョンの評価について

(1) 評価の目的

本町では平成 29 年（2017 年）3 月に「太子町観光まちづくりビジョン」（以下、ビジョン）を策定しましたが、ビジョンでは、学識経験者や観光まちづくりに関する専門家等の第三者を交えて、年 1 回、ビジョンの評価を行い、取組みの改善を図っていくこととしています。

評価の目的は、次の通りです。

■ ビジョンの適切な進行管理

ビジョンでは将来像を「近つ飛鳥の里の魅力を伝える聖徳太子のまち“たいし”～我が宝は和が宝～」と定め、その実現に向けて、5 つの課題に対し、16 の施策とそれに紐づく 51 のメニューを掲げています。それらの施策やメニューを適切に進行しているかどうかを管理します。

■ 現状把握と課題の整理

ビジョンを推進するには、町のみならず、住民や事業者、住民団体等をはじめ、太子町に関心のある人などとの連携や協働が欠かせません。評価を行うことによって、ビジョンの推進状況を把握するとともに推進に関する課題を整理し、その結果をビジョンの推進に関わる利害関係者にフィードバックすることで、次年度以降の事業や取組み内容の改善に役立てます。

(2) 評価の概要

評価の概要は次の通りです。

■ 評価の対象

評価の対象は、ビジョンに掲げられている全ての課題、施策、メニュー（重点メニュー、重点メニューの主な取組みを含む）です。

■ 評価の対象年度

評価の対象年度は、平成 30 年度（2018 年度）です。

■ 評価の手法

【メニュー／重点メニューの主な取組みの評価】

ビジョンの51メニューと重点メニューにおいて「主な取組み」として設定されている取組みについては同じ手法で評価を行います。

まず「進捗状況」を5（順調に進んでいる）～1（まったくできていない）の5段階で評価者が主観的に評価します。そして、それぞれのメニューについて、完了～その他の6つの中から「今後の方針」を選択した上で、「成果」を自由記述します。

「進捗状況」

評価区分	評価基準
5	順調に進んでいる
4	概ね順調に進んでいる
3	やや進捗が遅れている
2	進捗が遅れている
1	まったくできていない

「今後の方針」

今後の方針	評価基準
完了	取組みが完了
継続	現状の取組みを継続的に行う
拡充し、継続	現状の取組みを拡充した上で、継続的に行う
縮小し、継続	現状の取組みを縮小した上で、継続的に行う
廃止・凍結	取組みを廃止・凍結する
その他	上記以外の方針

【課題／重点メニューの評価】

ビジョンでは、施策の柱として「課題」が定められており、51メニュー中7つを「重点メニュー」として設定しています。「課題」と「重点メニュー」には、評価指標をそれぞれ設けてあるため、同じ手法で評価を行います。

評価は、評価指標に基づき、目標値（令和3年度）に対する「達成状況」に応じて、A（目標値に対して、90%以上の達成状況）～F（調査等が未実施のため、達成状況が不明）の6段階で客観的に評価を行います。加えて、「今後の予定」を自由記述します。

「達成状況」

評価区分	評価基準
A	目標値に対して、90%以上の達成状況
B	目標値に対して、75%以上の達成状況
C	目標値に対して、50%以上の達成状況
D	目標値に対して、25%以上の達成状況
E	目標値に対して、25%以下の達成状況
F	調査等が未実施のため、達成状況が不明

【施策の評価】

施策の評価は、施策に紐づくメニューの「進捗状況」から平均値を算定し、平均値に応じて A（平均値が 4.5 以上）～E（平均値が 1.25 以下）の 5 段階で評価します。

【評価】

評価区分	評価基準
A	紐づくメニューの平均値が 4.5 以上
B	紐づくメニュー平均値が 3.75 以上
C	紐づくメニュー平均値が 2.5 以上
D	紐づくメニュー平均値が 1.25 以上
E	紐づくメニュー平均値が 1.25 以下

【総評】

「課題の評価」「施策／メニューの評価」を踏まえ、総評として課題ごとに「今年度の課題に対する成果」「今後の課題」「今後の取組み」について、自由記述します。

同様に、「重点メニューの評価」「重点メニューの主な取組みの評価」を踏まえ、総評として重点メニューに関する「今年度の課題に対する成果」「今後の課題」「今後の取組み」について、まとめて自由記述します。

【太子町観光まちづくりビジョン評価会議】

第三者を交えた「太子町観光まちづくりビジョン評価会議」を開催し、評価・改善についての検討を行い、「太子町観光まちづくりビジョン 平成 30 年度 評価について」を取りまとめます。

2. 評価結果の総括

(1) 課題の評価結果の総括

A	B	C	D	E	F	計
2 (11.8%)	1 (5.9%)	4 (23.5%)	2 (11.8%)	2 (11.8%)	6 (35.3%)	17

ビジョンの5つの課題に対して設定されている17の評価指標の評価(達成状況)は、A(目標値に対して、90%以上の達成状況)が2つ(11.8%)、B(目標値に対して、75%以上の達成状況)が1つ(5.9%)で、75%以上の達成状況となっているものは合わせて3つ(17.7%)という状況でした。

F(調査等が未実施のため、達成状況が不明)が6つ(35.3%)と多いため、次年度以降、調査を実施するなど、達成状況の把握に努める必要があります。また、平成30年度はビジョンの2年目ですが、目標年度の令和3年(2021年)に向けて、すでに目標を達成したのものについてはその状況を堅持しつつ、未達のものについては達成に向けて、具体的な施策やメニュー等に取り組んでいきます。

(2) 施策の評価結果の総括

A	B	C	D	E	計
0 (0.0%)	1 (6.3%)	8 (50.0%)	7 (43.8%)	0 (0.0%)	16

ビジョンの16施策の評価は、A(紐づくメニューの評価の平均値が4.5以上)がなく、B(紐づくメニューの平均値が3.75以上)が1施策(6.3%)、C(紐づくメニューの平均値が2.5以上)が8施策(50.0%)、D(紐づくメニューの平均値が1.25以上)が7施策(43.8%)で、CとDが合わせて15施策全体の93.8%を占めています。E(紐づくメニューの平均値が1.25以下)もありませんでした。

AとBがまだまだ少ない状況ではあるので、各施策に紐づくメニューを計画的に取り組んでいくことで、目標年度の令和3年(2021年)に向けて着実に施策の評価を高めていく必要があります。

(3) メニューの評価結果の総括

5	4	3	2	1	計
1 (2.0%)	14 (27.5%)	18 (35.3%)	6 (11.8%)	12 (23.5%)	51

ビジョンの51メニューの評価は、5（順調に進んでいる）が1メニュー（2.0%）、4（概ね順調に進んでいる）が14メニュー（27.5%）で、合わせて15メニュー（29.5%）は順調に進めることができます。

一方、3（やや進捗が遅れている）が18メニュー（35.3%）、2（進捗が遅れている）が6メニュー（11.8%）と進捗が遅れてしまっているメニューが合わせて24メニュー（47.1%）とおよそ半数を占めています。加えて、1（まったくできていない）も12メニュー（23.5%）あり、早急に着手する必要があります。

目標年度の令和3年（2021年）に向けては、聖徳太子没後1400年という節目を間近に控えていることを後押しとしながら、町内外の観光まちづくり団体や事業者等とも連携・協働を図りつつ、順調に進めることができているものについては、このままの調子で引き続き取組みながら、進捗が遅れているもの、また着手できていないものについては、優先順位をつけながら、計画的に達成できるよう着実に取り組んでいきます。

(4) 重点メニューの評価結果の総括

A	B	C	D	E	F	計
2 (13.3%)	2 (13.3%)	4 (26.7%)	0 (0.0%)	4 (26.7%)	3 (20.0%)	15

ビジョンの7つの重点メニューに対して設定されている15の評価指標の評価（達成状況）は、A（目標値に対して、90%以上の達成状況）とB（目標値に対して、75%以上の達成状況）がそれぞれ2つ（13.3%）で、75%以上の達成状況となっているものは合わせて4つ（26.6%）という状況でした。

一方でE（目標値に対して、25%以下の達成状況）も同じだけあり、また、F（調査等が未実施のため、達成状況が不明）も3つ（20.0%）あったため、次年度以降、調査を実施するなど、達成状況の把握に努める必要があります。

目標年度の令和3年（2021年）に向けては、達成状況が低いものに優先順位をつけながら、計画的に達成できるよう着実に取り組んでいきます。

(5) 重点メニューの主な取組みの評価結果の総括

5	4	3	2	1	計
1 (5.0%)	6 (30.0%)	7 (35.0%)	2 (10.0%)	4 (20.0%)	20

ビジョンの20の重点メニューの主な取組みの進捗状況（評価）は、5（順調に進んでいる）が1つ（5.0%）で、4（概ね順調に進んでいる）が6つ（30.0%）で、合わせて5つ（35.0%）は順調に進めることができています。

一方、3（やや進捗が遅れている）が7つ（35.0%）、2（進捗が遅れている）が2つ（10.0%）と進捗が遅れているメニューが合わせて9つ（45.0%）とおよそ半数を占めています。加えて、1（まったくできていない）も4つ（20.0%）あり、早急に着手する必要があります。

目標年度の令和3年（2021年）に向けては、聖徳太子没後1400年という節目を間近に控えていることを後押しとしながら、町内外の観光まちづくり団体や事業者等とも連携・協働を図りつつ、順調に進めることができているものについては、このままの調子で引き続き取組みながら、進捗が遅れているもの、また着手できていないものについては、優先順位をつけながら、計画的に達成できるよう着実に取り組んでいきます。

「Ⅰ. 誇りや愛着の醸成」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
太子町に住み続けたい住民の割合（シビックプライド）	F	12
大阪府アドプト・プログラム参加団体数	B	12
太子町アドプト・プログラム参加団体数	C	12
施策	評価	ページ
1. 地域に対する誇りや愛着を醸成します	C	12
2. 住民が主体的に連携・協力する観光まちづくりを推進します	D	13
メニュー	評価	ページ
1-①小・中学校で近つ飛鳥の里の歴史を知り、地域理解を促進します	4	12
1-②広報「太子」にて太子町の観光スポットを紹介するコーナーを設けます	4	12
1-③アドプト・プログラムを推進します	4	12
1-④太子町おもてなし作戦を推進します	2	13
1-⑤竹内街道の景観保護を推進します	4	13
1-⑥遣使の任命活動を推進します	1	13
1-⑦ふるさと納税を活用します	4	13
2-①住民主体で作成する観光まちづくりガイドブックづくりを推進します	1	13
2-②聖徳太子没後 1400 年関連事業を検討します【重点】	3	13

「Ⅱ. 特産品の生産能力低下の抑制」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
ぶどうの栽培面積	F	15
みかんの栽培面積	F	15
農家数	F	15
遊休農地面積	A	15
体験型企画の受入農家数	D	15
施策	評価	ページ
1. 特産品の生産支援を行います	D	15
2. 特産品の販売・加工品開発支援を行います	D	16
3. 遊休農地を活用促進します	C	16
メニュー	評価	ページ
1-①農業法人設立を促進します	1	15
1-②援農隊の利用拡大を促進します	3	15
1-③就農支援に向けた取組みを検討します	2	15
2-①特産品の六次産業化・ブランド化を推進します	2	16
2-②地元食材の学校給食等への利用の充実をめざします	2	16
2-③体験型企画の受入環境の整備を検討します	3	16

3-①遊休農地の利活用を推進します	3	16
3-②市民農園の利用拡大を促進します	3	16

「Ⅲ. 観光まちづくりコンテンツのブラッシュアップ」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
太子町観光まちづくりネットワーク登録団体数	F	18
観光まちづくりのための空き家の利活用数	E	18
施策	評価	ページ
1. 観光まちづくりに関わる人材・組織のネットワークの連携強化を行います	D	18
2. 観光まちづくりに関わる人材を発掘・育成します	D	18
3. 観光まちづくりを牽引する企画力・機動力を備えた組織を形成します	C	18
4. 既存資源を活かした観光まちづくりコンテンツを開発します	C	19
5. “地”を活かした新たな観光まちづくり資源を発掘・活用します	D	19
メニュー	評価	ページ
1-①「竹内街道」等の日本遺産認定をめざします【重点】	5	18
1-②太子町観光まちづくりネットワークの設立に向けた取組みを推進【重点】	1	18
1-③地域連携 DMO について検討します	1	18
2-①観光まちづくりガイド・サポーター養成講座の開講を検討します	3	18
2-②職員対象の観光まちづくり勉強会の開催を検討します	1	18
3-①観光まちづくり団体等への人的支援策を検討します	4	18
3-②観光まちづくり団体等の法人化に向けた取組みの支援策を検討します	3	18
3-③観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します【重点】	3	19
4-①日帰り観光ルート（プラン）の認定に向けた取組みを推進します	4	19
4-②観光まちづくりガイド・サポーターの活動の支援策を検討します	3	19
4-③二上山のブランディングを推進します	1	19
4-④既存イベントのリニューアル等を促進します	3	19
5-①大道旧山本家住宅の利用を促進します	2	19
5-②空き家の利活用を推進します	4	19
5-③フルーツラン・ライドイベントの開催に向けた取組みを推進します	1	19
5-④ワインツーリズムを推進します	1	19

「Ⅳ. 戦略的なコミュニケーションの展開」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
観光まちづくり団体等の HP の年間ユニークユーザー数	C	21
観光まちづくり団体等のコミュニケーション活動件数	C	21

パブリシティ数（総数）	D	21
看板等の多言語対応率	E	21
施策	評価	ページ
1. 観光まちづくりの拠点を整備します	C	21
2. ターゲットを絞った効果的なコミュニケーションを展開します	C	22
3. パブリシティの獲得を狙った戦略的な広報活動を推進します	C	22
メニュー	評価	ページ
1-①古民家の活用を検討します	4	21
1-②竹内街道交流館等の既存施設の活用を検討します	3	21
1-③道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアルを検討します【重点】	3	21
2-①太子町観光まちづくりのロゴ、キャッチコピーの制作に向けた取組みを推進します	1	22
2-②シティプロモーションを推進します	4	22
2-③HP等でターゲット別の観光まちづくり情報を紹介するための取組みを推進します	3	22
2-④定住・セカンドハウス促進プロモーションを推進します	1	22
2-⑤サイン計画の策定を検討します【重点】	3	22
2-⑥訪日外国人旅行者の受入環境整備を推進します	3	22
3-①メディア・リレーションズを推進します	3	22
3-②民間事業者の観光キャンペーンに取り上げてもらえるよう努めます	2	22
3-③ウェブ上で太子町の情報が拡散するよう努めます	4	22

「V. 観光まちづくり事業を誘発・育成する行政支援」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
観光まちづくり関連のデータセット件数	F	24
観光まちづくり関連イベント実施回数	C	24
町外イベントへの参加回数	A	24
施策	評価	ページ
1. 観光まちづくり分野の民間収益事業を誘発するソフト支援を充実します	C	24
2. 広域連携・地域連携を強化します	B	24
3. 観光まちづくり関連データを収集・分析・公開します	D	25
メニュー	評価	ページ
1-①観光まちづくりの推進を支援する女性制度の創設を検討します	4	24
1-②民間事業者の地域連携イベントの支援策を検討します	3	24
2-①広域連携・地域連携イベント・事業の企画・実施を推進します	4	24
2-②広域イベントへの参加・PRを推進します	4	25
3-①定期的なマーケティングリサーチの実施を検討します【重点】	3	25
3-②観光まちづくり関連の調査分析データの公開に努めます	1	25

「重点メニュー1 | 聖徳太子没後 1400 年関連事業を検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連ボランティア数	F	26
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連イベント来場者数	F	26
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連のパブリシティ数	E	26
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」に向けた勉強会の開催を検討します	4	26
(仮称) 聖徳太子没後 1400 年関連事業実行委員会の設置を検討します	5	26
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」事業計画の策定を検討します	3	26
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」のプログラムの公募を検討します	3	26
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」チームプロジェクトの実施を検討します	3	26

「重点メニュー2 | 「竹内街道」等の日本遺産認定をめざします」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
認定された「日本遺産」の件数	C	27
「日本遺産」関連パブリシティ数	A	27
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
認定推進組織の活動を積極的に推進します	4	27
日本遺産を活かした観光まちづくりの取組みを推進します	4	27

「重点メニュー3 | 太子町観光まちづくりネットワークの設立に向けた取組みを推進します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
太子町観光まちづくりネットワーク登録団体数	E	27
コラボレーションプロジェクト実施件数	E	27
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
太子町観光まちづくりネットワークの登録制度の整備を検討します	1	28
観光まちづくり講座の開講を検討します	4	28
コラボレーションプロジェクトを検討します	1	28

「重点メニュー4 | 観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
観光まちづくり団体等の主催イベントの参加者数（総計）	C	28
観光まちづくり団体等のHPの年間ユニークユーザー数	C	28
観光まちづくり団体等の自主事業数	C	28
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
支援する観光まちづくり団体等を選定します	3	28
観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します	3	29

「重点メニュー5 | 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアルを検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の年間販売額	B	29
「竹内街道歴史資料館」の年間来訪者数	B	29
「竹内街道交流館」の年間来訪者数	A	29
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
（仮称）道の駅「近つ飛鳥の里・太子」再整備検討委員会の設置を検討します	2	29
「道の駅『近つ飛鳥の里・太子』再整備計画」の策定を検討します	2	29

「重点メニュー6 | サイン計画の策定を検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
看板の多言語対応率	E	30
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
「太子町サイン計画」の策定を検討します	3	30
統一的なサインを町内の観光スポットを中心に順次設置します	3	30

「重点メニュー7 | 定期的なマーケティングリサーチの実施を検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
観光まちづくり関連のデータセット件数	F	30
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
住民アンケート調査の実施を検討します	1	30
町外在住者を対象とするインターネットアンケート調査等の実施を検討します	1	30
来訪者アンケート調査の実施を検討します	4	30
観光まちづくり関連施設等の実態・実績把握に努めます	4	30

3. 評価結果

(1) 1. 誇りや愛着の醸成

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
太子町に住み続けたい住民の割合 (シビックプライド)	%	71.4	-	-	80.0
達成状況	今後の予定				
F	住民アンケート、あるいはそれに代わるものとして数値の把握を行う。太子町に住み続けたい・住み続けたくない理由を浮き彫りにするような質問を盛り込み、数値の上昇を目指す。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
大阪府アドプト・プログラム参加団体数	団体	4	4	4	5
達成状況	今後の予定				
B	現状の参加団体については、活動の継続を推進していく。 新規参加団体については、地域に対する愛情を醸成し、積極的に募集する。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
太子町アドプト・プログラム参加団体数	団体	3	3	3	5
達成状況	今後の予定				
C	現状の参加団体については、活動の継続を推進していく。 新規参加団体については、地域に対する愛情を醸成し、積極的に募集する。				

【施策／メニューの評価】

施策	1. 地域に対する誇りや愛着を醸成します			評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①小・中学校で近つ飛鳥の里の歴史を知り、地域理解を促進します	4	継続	町内の小学5年生の竹内街道についての認知度：98% 竹内街道が日本遺産であることの認知度：63%		
②広報「太子」にて太子町の観光スポットを紹介するコーナーを設けます	4	継続	平成29年度に竹内街道を紹介する記事を掲載した。		
③アドプト・プログラムを推進します	4	継続	大阪府・太子町アドプト・プログラムを推進している。		

④太子町おもてなし作戦を推進します	2	継続	事業として展開していない。例年クリーンキャンペーンとしての清掃活動の取組はある。
⑤竹内街道の景観保護を推進します	4	継続	竹内街道の景観計画について検討を始めた。
⑥遣使の任命活動を推進します	1	継続	事業として展開していない。
⑦ふるさと納税を活用します	4	継続	聖徳太子の高額紙幣復活への取組みなどを聖徳太子没後1400年実行委員会の事業として検討を始めた。
施策	2. 住民が主体的に連携・協力する観光まちづくりを推進します		評価 D
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果
①住民主体で作成する観光まちづくりガイドブックづくりを推進します	1	その他	観光産業課として、平成31年度、観光パンフレット作成を予算化。
②聖徳太子没後1400年関連事業を検討します【重点】	3	継続	平成31年度より本格的に活動を開始。

【総評】

■ 今年度の成果

- 町内の小学5年生を対象に行った調査で竹内街道についての認知度が98%、竹内街道が日本遺産であることの認知度が63%という結果が出ており、次世代を担う子どもたちに地域理解が図れています。
- 大阪府・太子町アドプト・プログラムやクリーンキャンペーンを継続して展開しており、これらの取組みが住民主体の観光まちづくりの素地となっています。
- 竹内街道の日本遺産認定や聖徳太子没後1400年の節目が近づいていることもあり、竹内街道の景観保護や聖徳太子没後1400年の関連事業に向けた検討が本格的にスタートしました。

■ 今後の課題

- 住民の太子町への定住意向や観光まちづくりへの関心等の基礎データを収集・分析する必要があります。
- 継続的に展開している大阪府・太子町アドプト・プログラムやクリーンキャンペーンを発展させるとともに、参加者・参加団体の拡大を図る必要があります。
- 竹内街道の日本遺産認定や聖徳太子没後1400年の節目が近づいていることを好機とし、これまでできていなかったメニューに着手していく必要があります。

■ 今後の取組み

- 住民意向調査やそれに代わる調査等を実施します。
- 既存の取組みを聖徳太子没後1400年の関連事業として組み込むとともに、新規の住民参加型の取組みの検討を進めます。
- 観光パンフレット（観光まちづくりガイドブック）を制作します。
- 聖徳太子没後1400年関連事業に向けて、具体的な事業進めていくための検討を進めます。

(2) II. 特産品の生産能力低下の抑制

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
ぶどうの栽培面積	ha	40	-	-	42
達成状況	今後の予定				
F	地域の特産品としてのブランド化を強化し、認知度を上げ、価値を向上させる。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
みかんの栽培面積	ha	9	-	-	10
達成状況	今後の予定				
F	地域の特産品としてのブランド化を強化し、認知度を上げ、価値を向上させる。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
農家数	戸	318	-	-	330
達成状況	今後の予定				
F	地域の特産品としてのブランド化を強化し、認知度を上げ、価値を向上させる。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
遊休農地面積	m ²	54,347	47,827	17,273	48,000
達成状況	今後の予定				
A	昨年度と同様に農地パトロールによって、現状の把握を行い、遊休農地の減少に努める。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
体験型企画の受入農家数	戸	-	1	1	3
達成状況	今後の予定				
D	道の駅「近つ飛鳥の里・太子」での観光コンテンツとして、運営協議会に提案していく。				

【施策／メニューの評価】

施策	1. 特産品の生産支援を行います	評価	D
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果
①農業法人設立を促進します	1	継続	取組の促進には至っていない。
②援農隊の利用拡大を促進します	3	継続	NPO 法人ぶどう塾が活動中。
③就農支援に向けた取組みを検討します	2	継続	就農支援についての相談窓口を設けている。

施策	2. 特産品の販売・加工品開発支援を行います			評価	D
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①特産品の六次産業化・ブランド化を推進します	2	継続	特産品のブランド制度に着手できていない。		
②地元食材の学校給食等への利用の充実をめざします	2	継続	取組の促進には至っていない。		
③体験型企画の受入環境の整備を検討します	3	継続	上ノ太子観光みかん園があるものの、その他の体験施設が整備できていない。		
施策	3. 遊休農地を活用促進します			評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①遊休農地の利活用を推進します	3	継続	みどり公社と情報の共有をしながら進めている。		
②市民農園の利用拡大を促進します	3	継続	4カ所の市民農園紹介先があるが、実際の紹介に至っていない。(山山谷やまざき農園、やまざき山山谷ファーム、北尻1号農園、北尻2号農園)		

【総評】

■ 今年度の成果

- 遊休農地面積が昨年度から大きく減少することができました。
- NPO 法人ぶどう塾や就農支援についての相談窓口の設置などの取組みを継続して展開しており、新規就農者の確保に向けた素地となっています。
- 三町交流により、兵庫県太子町と奈良県斑鳩町のイベントに出店し、ぶどうやみかんをはじめとする地元農作物をプロモーションしました。

■ 今後の課題

- ぶどうやみかんの栽培面積、農家数等の基礎データを収集・分析する必要があります。
- NPO 法人ぶどう塾や就農支援についての相談窓口の設置などの取組みを発展させ、市民農園や遊休農地の利活用につなげていく必要があります。
- ぶどうやみかんなどの特産品の流通量の増加（既存農家の収益の確保）に向けて、農業法人の設立や特産品の六次産業化・ブランド化に向けた取組みや、地元食材の学校給食等への利用の充実を進める必要があります。

■ 今後の取組み

- 道の駅への地元農産物の出荷量や道の駅との契約農家数など、「農林業センサス」（農林水産省）によらない基礎データの収集・分析を行います。
- みどり公社と情報共有したり、NPO 法人ぶどう塾や就農支援についての相談窓口に来られた人に対して積極的にプロモーションを行うなどしながら、市民農園や遊休農地の利活用を後押しし、新規就農者の確保に努めます。
- 農業法人の設立や特産品の六次産業化・ブランド化に向けた検討を進めます。

(3) III. 観光まちづくりコンテンツのブラッシュアップ

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
太子町観光まちづくりネットワーク登録団体数	団体	-	-	-	20
達成状況	今後の予定				
F	太子町観光まちづくりネットワークの登録制度の検討				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくりのための空き家の利活用数	戸	-	0	0	3
達成状況	今後の予定				
E	引き続き、民泊や聖徳太子没後1400年関連事業として活用できるか模索。				

【施策／メニューの評価】

施策	1. 観光まちづくりに関わる人材・組織のネットワークの連携強化を行います	評価	D
メニュー		進捗状況	今後の方針
①「竹内街道」等の日本遺産認定をめざします【重点】	5	完了	平成29年に竹内街道が日本遺産に認定。
②太子町観光まちづくりネットワークの設立に向けた取組みを推進【重点】	1	継続	太子町観光まちづくりネットワークが未整備である。
③地域連携DMOについて検討します	1	継続	地域連携DMOの検討に至っていない。
施策	2. 観光まちづくりに関わる人材を発掘・育成します	評価	D
メニュー		進捗状況	今後の方針
①観光まちづくりガイド・サポーター養成講座の開講を検討します	3	継続	来年度町内向けガイドウォークを実施する予定。
②職員対象の観光まちづくり勉強会の開催を検討します	1	継続	観光まちづくり勉強会について、検討に至っていない。
施策	3. 観光まちづくりを牽引する企画力・機動力を備えた組織を形成します	評価	C
メニュー		進捗状況	今後の方針
①観光まちづくり団体等への人的支援策を検討します	4	継続	観光協会に職員を配置し、行政との連携を図る。
②観光まちづくり団体等の法人化に向けた取組みの支援策を検討します	3	継続	太子町観光・まちづくり協会の法人化について検討を始めた。

③観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します【重点】	3	継続	太子町観光・まちづくり協会の経営戦略を強化するため、人員の支援について検討した。
施策	4. 既存資源を活かした観光まちづくりコンテンツを開発します		評価 C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果
①日帰り観光ルート（プラン）の認定に向けた取組みを推進します	4	継続	太子町観光・まちづくり協会にてモデルルートを設定して、HPに掲載している。
②観光まちづくりガイド・サポーターの活動の支援策を検討します	3	継続	来年度町内向けガイドウォークを実施する予定。
③二上山のブランディングを推進します	1	継続	二上山のブランディング検討に至っていない。
④既存イベントのリニューアル等を促進します	3	継続	聖燈会ではLEDライトを採用、灯路祭りでは動くスタンプラリーなど内容の改善を実施している。
施策	5. “地”を活かした新たな観光まちづくり資源を発掘・活用します		評価 D
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果
①大道旧山本家住宅の利用を促進します	2	継続	体験プログラムの検討に至っていない。 灯路祭りでは音楽演奏の会場として利用している。
②空き家の利活用を推進します	4	拡充し、継続	来年度「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」開設
③フルーツラン・ライドイベントの開催に向けた取組みを推進します	1	継続	観光まちづくりネットワークの設立に至っていない。 取組の検討に至っていない。
④ワインツーリズムを推進します	1	継続	観光まちづくりネットワークの設立に至っていない。 取組の検討に至っていない。

【総評】

■ 今年度の成果

- 太子町観光・まちづくり協会に町の職員を配置するなど、行政との連携がこれまで以上にきめ細やかに行えるようになり、加えて、法人化に向けての検討が始まるなど、太子町観光・まちづくり協会の改革が進み始めました。
- 聖燈会でLEDライトを採用したり、灯路祭りでは動くスランプラリーを実施したりと、改善を繰り返しながら、イベントとしてのクオリティの向上が図れています。
- 新たな魅力の創出に向けて、来年度から「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」を創設することになりました。

■ 今後の課題

- 太子町観光まちづくりネットワークや地域連携DMOの設立に向けて、隣接する市町村や町内外の観光まちづくり団体や事業者等と検討を進める必要があります。
- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」の利用を促すよう、制度の認知の拡大を図る必要があります。
- 竹内街道の日本遺産認定や聖徳太子没後1400年の節目が近づいていることを好機とし、これまでできていなかったメニューに着手していく必要があります。

■ 今後の取組み

- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」の利用を促すよう、制度の認知の拡大を図るため、様々な機会を捉えて、制度のプロモーション活動や利用者の確保に向けた活動を推進します。
- 聖徳太子没後1400年関連事業の実行部隊として、太子町観光まちづくりネットワーク機能できるよう、町内の観光まちづくり団体や事業者等と検討を進めます。
- 聖徳太子没後1400年に向けての機運を高めていくため、観光まちづくりに関する講演会や勉強会等、住民や職員を対象とするイベント等の開催に向けて検討します。
- 聖徳太子没後1400年以降も継続して、本町に多くの来訪者に来てもらえるよう、二上山のブランディングやフルーツラン・ライドイベント、ワインツーリズムなどの未着手メニューについて検討します。

(4) IV. 戦略的なコミュニケーションの展開

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等のHPの年間ユーザー数	人	-	37,738	23,364	36,500
達成状況	今後の予定				
C	聖燈会や竹内街道灯路祭りなど、様々な情報を発信し、一人でも多くの人に見てもらえるようにする。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等のコミュニケーション活動件数	件	500	811	745	1,000
達成状況	今後の予定				
C	イベントのお知らせなどにとどまらず、日々の様々な内容を発信し、発信数だけでなく、フォロワー数も確保していく。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
パブリシティ数(総数)	件	3	3	8	30
達成状況	今後の予定				
D	メディアに取り上げてもらえるように、直接働きかけることも検討。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
看板等の多言語対応率	%	0	0	0	50.0
達成状況	今後の予定				
E	サイン計画の策定を進める。				

【施策/メニューの評価】

施策	1. 観光まちづくりの拠点を整備します			評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①古民家の活用を検討します	4	拡充し、継続	古民家を活用した飲食店開業補助金について検討。平成31年度より実施。		
②竹内街道交流館等の既存施設の活用を検討します	3	拡充し、継続	竹内街道交流館のギャラリーとしての利用を広報で周知。		
③道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアルを検討します【重点】	3	拡充し、継続	道の駅の活性化について運営協議会へ提案。		

施策	2. ターゲットを絞った効果的なコミュニケーションを展開します	評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果
①太子町観光まちづくりのロゴ、キャッチコピーの制作に向けた取組みを推進します	1	継続	ロゴ、キャッチコピーの制作に向けた検討に至っていない。
②シティプロモーションを推進します	4	継続	広域で連携している市町村のイベントに参加した。 日本遺産のPRのため、近鉄への広告を出稿した。
③HP等でターゲット別の観光まちづくり情報を紹介するための取組みを推進します	3	継続	太子町観光・まちづくり協会のHPをスマホ対応にし、観光情報を掲載しているが、ターゲットの設定はしていない。
④定住・セカンドハウス促進プロモーションを推進します	1	継続	HPの構築、パンフレット作成の検討に至っていない。
⑤サイン計画の策定を検討します【重点】	3	継続	来年度サイン計画について策定予定。
⑥訪日外国人旅行者の受入環境整備を推進します	3	継続	パンフレットは多言語化しているが、無線LAN環境の整備などは検討に至っていない。
施策	3. パブリシティの獲得を狙った戦略的な広報活動を推進します	評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果
①メディア・リレーションズを推進します	3	継続	日本遺産を中心にメディアへの露出が増加したが、各媒体の関係者との関係構築には至っていない。
②民間事業者の観光キャンペーンに取り上げてもらえるよう努めます	2	継続	広域で連携している市町村のイベントなどには参加しているが、民間事業者との関係構築に至っていない。
③ウェブ上で太子町の情報が拡散するよう努めます	4	継続	観光協会によってFB、ツイッターを配信している。

【総評】

■ 今年度の成果

- 新たな魅力の創出に向けて、来年度から「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」を創設することになりました。
- シティプロモーションの一環として、広域で連携している市町村のイベントに参加しました。
- 太子町観光・まちづくり協会が SNS（Facebook、Instagram、twitter、ブログ）やウェブサイトでの情報発信を継続的に実施しています。

■ 今後の課題

- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」の利用を促すよう、制度の認知の拡大を図る必要があります。
- 太子町観光・まちづくり協会が SNS（Facebook、Instagram、twitter、ブログ）の活動件数の増加を図り、フォロワーやウェブサイトのユニークユーザー数の増加につなげる必要があります。
- 竹内街道の日本遺産認定や聖徳太子没後 1400 年の節目が近づいていることを踏まえ、サインの多言語化や無線 LAN 環境の整備など、訪日外国人の受入環境の整備を図るとともに、メディアに取り上げてもらえるような働きかけをしていく必要があります。

■ 今後の取組み

- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」の利用を促すよう、制度の認知の拡大を図るため、様々な機会を捉えて、制度のプロモーション活動や利用者の確保に向けた活動を推進します
- 聖徳太子没後 1400 年に関連する情報を SNS（Facebook、Instagram、twitter、ブログ）で積極的に発信することでコミュニケーション活動件数を増加させます。
- 聖徳太子没後 1400 年に向けた機運の醸成を図るため、新聞社やテレビ局、雑誌社等に対してリリースを送ったり、プレスツアーを企画したり、メディア・リレーションズを展開します。
- 多言語対応したサインの整備を進めます。

(5) V. 観光まちづくり事業を誘発・育成する行政支援

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり関連のデータセット件数	件	－	－	－	20
達成状況	今後の予定				
F	観光に関するデータを取りまとめ、集約していく。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり関連イベント実施回数	回	6	6	7	10
達成状況	今後の予定				
C	聖徳太子没後 1400 年に向けてのイベントについて計画する。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
町外イベントへの参加回数	回	3	3	10	6
達成状況	今後の予定				
A	聖徳太子没後 1400 年を見据えて、広域的に発信できるイベントには積極的に参加していく。				

【施策／メニューの評価】

施策	1. 観光まちづくり分野の民間収益事業を誘発するソフト支援を充実します			評価	C
メニュー		進捗状況	今後の方針	成果	
①観光まちづくりの推進を支援する助成制度の創設を検討します		4	継続	古民家を活用した飲食店開業補助金について検討。平成 31 年度より実施。	
②民間事業者の地域連携イベントの支援策を検討します		3	継続	三町交流において、道の駅の農産物の出品について、各市町村との連絡調整を担当した。	
施策	2. 広域連携・地域連携を強化します			評価	B
メニュー		進捗状況	今後の方針	成果	
①広域連携・地域連携イベント・事業の企画・実施を推進します		4	継続	華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会、竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会において、関連市町村と連携して事業を実施した。	
②広域イベントへの参加・PR を推進し		4	継続	太子町観光・まちづくり協会と	

ます			連携して、近隣市町村のイベント等に参加した。
施策	3. 観光まちづくり関連データを収集・分析・公開します		評価 D
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果
①定期的なマーケティングリサーチの実施を検討します【重点】	3	継続	平成 29 年度に華やいで大阪でマーケティングリサーチを実施したが、その他に実施の検討に至っていない。
②観光まちづくり関連の調査分析データの公開に努めます	1	継続	調査結果の公開に至っていない。

【総評】

■ 今年度の成果

- 華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会、竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会において、関連市町村と連携して事業を実施したり、太子町観光・まちづくり協会と連携して近隣市町村のイベント等に参加したりと、関連市町村・近隣市町村との関係構築と連携・協働事業の実績をつくりました。

■ 今後の課題

- PDCA サイクルを回しながら観光まちづくりを推進していくため、観光まちづくりに関連するマーケティングリサーチを実施する必要があります。
- 聖徳太子没後 1400 年を見据えて、関連市町村・近隣市町村に対して、連携・協働事業を働きかけていく必要があります。

■ 今後の取組み

- 聖徳太子没後 1400 年に向けて、町内外の人に対するマーケティングリサーチの実施を検討します。
- 聖徳太子没後 1400 年の一環として、町内での関連イベントを開催するため、関連市町村・近隣市町村に対して参加を呼び掛けるとともに、連携・協働を働きかけます。

(6) 重点メニュー

■ 重点メニュー1 | 聖徳太子没後 1400 年

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	R3 年度 (目標値)
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連ボランティア数	人	-	-	-	500
達成状況	今後の予定				
F	平成 31 年度より聖徳太子没後 1400 年の取組を本格的に開始し、ボランティアについても積極的に募集していく。				
評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	R3 年度 (目標値)
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連イベント来場者数 (再掲)	人	200,000	-	-	200,000
達成状況	今後の予定				
F	平成 31 年度より聖徳太子没後 1400 年の取組を本格的に開始し、イベントについても開催を検討していく。				
評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	R3 年度 (目標値)
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連のパブリシティ数	件	-	-	1	20
達成状況	今後の予定				
E	メディアへの情報発信も含めて進めていく。				

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」に向けた勉強会の開催を検討します	4	完了	3/16 聖徳太子没後 1400 年記念講演会を実施
(仮称) 聖徳太子没後 1400 年関連事業実行委員会の設置を検討します	5	完了	聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会設置
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」事業計画の策定を検討します	3	継続	聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会にて検討
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」のプログラムの公募を検討します	3	継続	聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会にて検討
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」チームプロジェクトの実施を検討します	3	継続	庁内ワーキンググループを設置予定

■ 重点メニュー2 | 「竹内街道」等の日本遺産認定をめざします

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
認定された「日本遺産」の件数	件	0	1	1	2
達成状況	今後の予定				
C	竹内街道が日本遺産に認定されたが、ほかの案件についても検討していく。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
「日本遺産」関連パブリシティ数	件	0	1	8	2
達成状況	今後の予定				
A	日本遺産として知名度が上がるように積極的に発信していく。				

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
認定推進組織の活動を積極的に推進します	4	継続	平成29年3月に竹内街道・横大路(大道)が日本遺産に認定された。
日本遺産を活かした観光まちづくりの取組みを推進します	4	継続	竹内街道・横大路(大道)活性化実行委員会の取組を中心に観光まちづくりの取組を推進していく。

■ 重点メニュー3 | 太子町観光まちづくりネットワークの設立に向けた取組みを推進します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
太子町観光まちづくりネットワーク登録団体数(再掲)	団体	-	-	-	20
達成状況	今後の予定				
E	太子町観光まちづくりネットワーク未整備				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
コラボレーションプロジェクト実施件数	件	-	0	0	10
達成状況	今後の予定				
E	太子町観光まちづくりネットワーク未整備				

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
太子町観光まちづくりネットワークの登録制度の整備を検討します	1	継続	太子町観光まちづくりネットワーク未設置。
観光まちづくり講座の開講を検討します	4	継続	空家の利活用について、リノベーションまちづくりセミナーを開催した。
コラボレーションプロジェクトを検討します	1	継続	太子町観光まちづくりネットワーク未設置。

■ 重点メニュー4 | 観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等の主催イベントの参加者数(総計)	人	887	567	755	1400
達成状況	今後の予定				
C	聖徳太子没後1400年に向けて、広くボランティアを募集し、イベントの盛り上げに繋げる。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等のHPの年間ユニークユーザー数(再掲)	人	-	37,738	23,364	36,500
達成状況	今後の予定				
C	聖燈会や竹内街道灯路祭りなど、様々な情報を発信し、一人でも多くの人に見てもらえるようにする。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等の自主事業数	回	4	4	4	8
達成状況	今後の予定				
C	勉強会やワークショップなどを通じて人材育成につなげる取り組みも検討。				

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
支援する観光まちづくり団体等を選定します	3	継続	観光まちづくり団体を支援している。
観光まちづくり団体等の経営戦略づく	3	継続	太子町観光・まちづくり協会の

りの支援策を検討します			経営戦略を強化するため、人員の支援について検討した。
-------------	--	--	----------------------------

■ 重点メニュー5 | 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアルを検討します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の年間販売額	万円	6,967	6,494	6,071	7,700
達成状況	今後の予定				
B	道の駅の活用について運営協議会に提案しながら、販売額が増加するように展開していく。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
「竹内街道歴史資料館」の年間来訪者数	人	5,596	5,015	5,382	6,000
達成状況	今後の予定				
B	日本遺産に認定された竹内街道についての資料館であることをPRし、日本遺産の認知度向上を図る。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
「竹内街道交流館」の年間来訪者数	人	871	1,440	1,640	1,000
達成状況	今後の予定				
A	引き続き通年の土日祝の開館を継続し、竹内街道の魅力について発信していく。				

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
(仮称) 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」再整備検討委員会の設置を検討します	2	継続	道の駅運営協議会と運営方法について意見交換を実施した。
「道の駅『近つ飛鳥の里・太子』再整備計画」の策定を検討します	2	継続	道の駅運営協議会と運営方法について意見交換を実施した。

■ 重点メニュー6 | サイン計画の策定を検討します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
看板の多言語対応率	%	0	0	0	50
達成状況	今後の予定				
E	サイン計画を策定し実施予定				

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
「太子町サイン計画」の策定を検討します	3	継続	平成31年度策定予定
統一的なサインを町内の観光スポットを中心に順次設置します	3	継続	サイン計画を基に設置予定

■ 重点メニュー7 | 定期的なマーケティングリサーチの実施を検討します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり関連のデータセット件数	件	-	-	-	20
達成状況	今後の予定				
F	観光に関するデータを取りまとめ、集約していく。				

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
住民アンケート調査の実施を検討します	1	継続	住民アンケート調査の検討に至っていない。
町外在住者を対象とするインターネットアンケート調査等の実施を検討します	1	継続	アンケート実施の検討に至っていない。
来訪者アンケート調査の実施を検討します	4	継続	竹内街道交流館において来訪者アンケートを実施している。
観光まちづくり関連施設等の実態・実績把握に努めます	4	継続	竹内街道歴史資料館、竹内街道交流館については入館者数や属性を把握している。

【総評】

■ 今年度の成果

- 竹内街道が日本遺産に認定されたことを受け、メディアに取り上げられることが多く、目標値を大きく上回る結果が得られ、竹内街道交流館も土日祝を開館したことにより、目標値を超える来訪者数を獲得できました。

■ 今後の課題

- 聖徳太子没後 1400 年を見据え、太子町観光まちづくりネットワークを設立するとともに、観光まちづくり団体や事業者等の自主事業の支援やコラボレーションプロジェクトの実施に向けた検討を進めていく必要があります。
- 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の営業や既存イベント、竹内街道歴史資料館など、取組みを続けているものの、集客・消費に結びついていない取組み・事業を改善していく必要があります。
- サインの多言語化や無線 LAN 環境の整備など、訪日外国人の受入環境の整備を図る必要があります。
- PDCA サイクルを回しながら観光まちづくりを推進していくため、観光まちづくりに関連するマーケティングリサーチを実施する必要があります。

■ 今後の取組み

- 聖徳太子没後 1400 年関連事業の実行部隊として、太子町観光まちづくりネットワーク機能できるように、町内の観光まちづくり団体や事業者等と検討を進めます。
- 農業法人の設立や特産品の六次産業化・ブランド化に向けた検討を進めます。
- 多言語対応したサインの整備を進めます。
- 聖徳太子没後 1400 年に向けて、町内外の人に対するマーケティングリサーチの実施を検討します。

太子町観光まちづくりビジョン
平成 31 年度 評価について

令和 2 年（2020 年）8 月

太子町

目次 | INEDX

評価委員の意見と助言

京都外国語大学 教授 吉兼 秀夫

- p.01 1. 太子町観光まちづくりビジョンの評価について
- p.01 (1) 評価の目的
- p.01 (2) 評価の概要

- p.04 2. 評価結果の総括
- p.04 (1) 課題の評価結果の総括
- p.04 (2) 施策の評価結果の総括
- p.05 (3) メニューの評価結果の総括
- p.05 (4) 重点メニューの評価結果の総括
- p.06 (5) 重点メニューの主な取組みの評価結果の総括

- p.12 3. 評価結果
- p.12 (1) I. 誇りや愛着の醸成
- p.15 (2) II. 特産品の生産能力低下の抑制
- p.18 (3) III. 観光まちづくりコンテンツのブラッシュアップ
- p.21 (4) IV. 戦略的なコミュニケーションの展開
- p.24 (5) V. 観光まちづくり事業を誘発・育成する行政支援
- p.27 (6) 重点メニュー

1. 太子町観光まちづくりビジョンの評価について

(1) 評価の目的

本町では平成 29 年（2017 年）3 月に「太子町観光まちづくりビジョン」（以下、ビジョン）を策定しましたが、ビジョンでは、学識経験者や観光まちづくりに関する専門家等の第三者を交えて、年 1 回、ビジョンの評価を行い、取り組みの改善を図っていくこととしています。

評価の目的は、次の通りです。

■ ビジョンの適切な進行管理

ビジョンでは将来像を「近つ飛鳥の里の魅力を伝える聖徳太子のまち“たいし”～我が宝は和が宝～」と定め、その実現に向けて、5 つの課題に対し、16 の施策とそれに紐づく 51 のメニューを掲げています。それらの施策やメニューを適切に進行しているかどうかを管理します。

■ 現状把握と課題の整理

ビジョンを推進するには、町のみならず、住民や事業者、住民団体等をはじめ、太子町に関心のある人などとの連携や協働が欠かせません。評価を行うことによって、ビジョンの推進状況を把握するとともに推進に関する課題を整理し、その結果をビジョンの推進に関わる利害関係者にフィードバックすることで、次年度以降の事業や取り組み内容の改善に役立てます。

(2) 評価の概要

評価の概要は次の通りです。

■ 評価の対象

評価の対象は、ビジョンに掲げられている全ての課題、施策、メニュー（重点メニュー、重点メニューの主な取り組みを含む）です。

■ 評価の対象年度

評価の対象年度は、平成 31 年度（2019 年度）です。

■ 評価の手法

【メニュー／重点メニューの主な取組みの評価】

ビジョンの 51 メニューと重点メニューにおいて「主な取組み」として設定されている取組みについては同じ手法で評価を行います。

まず [進捗状況] を 5 (順調に進んでいる) ～1 (まったくできていない) の 5 段階で評価者が主観的に評価します。そして、それぞれのメニューについて、完了～その他の 6 つの中から [今後の方針] を選択した上で、「成果」を自由記述します。

[進捗状況]

評価区分	評価基準
5	順調に進んでいる
4	概ね順調に進んでいる
3	やや進捗が遅れている
2	進捗が遅れている
1	まったくできていない

[今後の方針]

今後の方針	評価基準
完了	取組みが完了
継続	現状の取組みを継続的に行う
拡充し、継続	現状の取組みを拡充した上で、継続的に行う
縮小し、継続	現状の取組みを縮小した上で、継続的に行う
廃止・凍結	取組みを廃止・凍結する
その他	上記以外の方針

【課題／重点メニューの評価】

ビジョンでは、施策の柱として「課題」が定められており、51 メニュー中 7 つを「重点メニュー」として設定しています。「課題」と「重点メニュー」には、評価指標をそれぞれ設けてあるため、同じ手法で評価を行います。

評価は、評価指標に基づき、目標値 (令和 3 年度) に対する [達成状況] に応じて、A (目標値に対して、90%以上の達成状況) ～F (調査等が未実施のため、達成状況が不明) の 6 段階で客観的に評価を行います。加えて、「今後の予定」を自由記述します。

[達成状況]

評価区分	評価基準
A	目標値に対して、90%以上の達成状況
B	目標値に対して、75%以上の達成状況
C	目標値に対して、50%以上の達成状況
D	目標値に対して、25%以上の達成状況
E	目標値に対して、25%以下の達成状況
F	調査等が未実施のため、達成状況が不明

【施策の評価】

施策の評価は、施策に紐づくメニューの「進捗状況」から平均値を算定し、平均値に応じて A（平均値が 4.5 以上）～E（平均値が 1.25 以下）の 5 段階で評価します。

【評価】

評価区分	評価基準
A	紐づくメニューの平均値が 4.5 以上
B	紐づくメニュー平均値が 3.75 以上
C	紐づくメニュー平均値が 2.5 以上
D	紐づくメニュー平均値が 1.25 以上
E	紐づくメニュー平均値が 1.25 以下

【総評】

「課題の評価」「施策／メニューの評価」を踏まえ、総評として課題ごとに「今年度の課題に対する成果」「今後の課題」「今後の取組み」について、自由記述します。

同様に、「重点メニューの評価」「重点メニューの主な取組みの評価」を踏まえ、総評として重点メニューに関する「今年度の課題に対する成果」「今後の課題」「今後の取組み」について、まとめて自由記述します。

【太子町観光まちづくりビジョン評価会議】

第三者を交えた「太子町観光まちづくりビジョン評価会議」を開催し、評価・改善についての検討を行い、「太子町観光まちづくりビジョン 平成 31 年度 評価について」を取りまとめます。

2. 評価結果の総括

(1) 課題の評価結果の総括

A	B	C	D	E	F	計
2 (11.7%)	1 (5.9%)	5 (29.4%)	1 (5.9%)	3 (17.6%)	5 (29.4%)	17

ビジョンの5つの課題に対して設定されている17の評価指標の評価(達成状況)は、A(目標値に対して、90%以上の達成状況)が2つ(11.7%)、B(目標値に対して、75%以上の達成状況)が1つ(5.9%)で、75%以上の達成状況となっているものは合わせて3つ(17.6%)という状況でした。

F(調査等が未実施のため、達成状況が不明)が5つ(29.4%)と多いため、次年度以降、調査を実施するなど、達成状況の把握に努める必要があります。また、平成31年度はビジョンの4年目ですが、目標年度の令和3年(2021年)に向けて、すでに目標を達成したのものについてはその状況を堅持しつつ、未達のものについては達成に向けて、具体的な施策やメニュー等に取り組んでいきます。

(2) 施策の評価結果の総括

A	B	C	D	E	計
2 (12.5%)	3 (18.8%)	7 (43.8%)	4 (25.0%)	0 (0.0%)	16

ビジョンの16施策の評価は、A(紐づくメニューの評価の平均値が4.5以上)が2施策(12.5%)、B(紐づくメニューの平均値が3.75以上)が3施策(18.8%)、C(紐づくメニューの平均値が2.5以上)が7施策(43.8%)、D(紐づくメニューの平均値が1.25以上)が4施策(25.0%)で、CとDが合わせて16施策全体の68.8%を占めています。E(紐づくメニューの平均値が1.25以下)もありませんでした。

AとBがまだまだ少ない状況ではあるので、各施策に紐づくメニューを計画的に取り組んでいくことで、目標年度の令和3年(2021年)に向けて着実に施策の評価を高めていく必要があります。

(3) メニューの評価結果の総括

5	4	3	2	1	計
11 (21.6%)	15 (29.4%)	12 (23.5%)	6 (11.8%)	7 (13.7%)	51

ビジョンの51メニューの評価は、5（順調に進んでいる）が11メニュー（21.6%）、4（概ね順調に進んでいる）が15メニュー（29.4%）で、合わせて26メニュー（51.0%）は順調に進めることができます。

一方、3（やや進捗が遅れている）が12メニュー（23.5%）、2（進捗が遅れている）が6メニュー（11.8%）と進捗が遅れてしまっているメニューが合わせて18メニュー（35.3%）あり、加えて、1（まったくできていない）も7メニュー（13.7%）あります。目標年度の令和3年（2021年）に向けて早急に着手する必要があります。

目標年度の令和3年（2021年）は、聖徳太子没後1400年という節目を間近に控えていることを後押しとしながら、町内外の観光まちづくり団体や事業者等とも連携・協働を図りつつ、順調に進めることができているものについては、このままの調子で引き続き取組みながら、進捗が遅れているもの、また着手できていないものについては、優先順位をつけながら、計画的に達成できるよう着実に取り組んでいきます。

(4) 重点メニューの評価結果の総括

A	B	C	D	E	F	計
4 (26.7%)	2 (13.3%)	5 (33.3%)	0 (0.0%)	3 (20.0%)	1 (6.7%)	15

ビジョンの7つの重点メニューに対して設定されている15の評価指標の評価（達成状況）は、A（目標値に対して、90%以上の達成状況）とB（目標値に対して、75%以上の達成状況）を合わせると6つ（40.0%）という状況でした。

一方でE（目標値に対して、25%以下の達成状況）も3つ（20.0%）あり、また、F（調査等が未実施のため、達成状況が不明）が1つ（6.7%）あったため、次年度以降、調査を実施するなど、達成状況の把握に努める必要があります。

目標年度の令和3年（2021年）に向けては、達成状況が低いものに優先順位をつけながら、計画的に達成できるよう着実に取り組んでいきます。

(5) 重点メニューの主な取組みの評価結果の総括

5	4	3	2	1	計
10 (50.0%)	5 (25.0%)	1 (5.0%)	2 (10.0%)	2 (10.0%)	20

ビジョンの20の重点メニューの主な取組みの進捗状況（評価）は、5（順調に進んでいる）が10個（50.0%）で、4（概ね順調に進んでいる）が5つ（25.0%）で、合わせて15の重点メニュー（75.0%）は順調に進めることができます。

一方、3（やや進捗が遅れている）が1つ（5.0%）、2（進捗が遅れている）が2つ（10.0%）と進捗が遅れているメニューが合わせて3つ（15.0%）です。加えて、1（まったくできていない）も2つ（10.0%）あり、早急に着手する必要があります。

目標年度の令和3年（2021年）に向けては、聖徳太子没後1400年という節目を間近に控えていることを後押しとしながら、町内外の観光まちづくり団体や事業者等とも連携・協働を図りつつ、順調に進めることができているものについては、このままの調子で引き続き取組みながら、進捗が遅れているもの、また着手できていないものについては、優先順位をつけながら、計画的に達成できるよう着実に取り組んでいきます。

「Ⅰ. 誇りや愛着の醸成」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
太子町に住み続けたい住民の割合（シビックプライド）	F	12
大阪府アドプト・プログラム参加団体数	B	12
太子町アドプト・プログラム参加団体数	C	12
施策	評価	ページ
1. 地域に対する誇りや愛着を醸成します	C	13
2. 住民が主体的に連携・協力する観光まちづくりを推進します	A	13
メニュー	評価	ページ
1-①小・中学校で近つ飛鳥の里の歴史を知り、地域理解を促進します	4	13
1-②広報「太子」にて太子町の観光スポットを紹介するコーナーを設けます	4	13
1-③アドプト・プログラムを推進します	4	13
1-④太子町おもてなし作戦を推進します	2	13
1-⑤竹内街道の景観保護を推進します	4	13
1-⑥遣使の任命活動を推進します	1	13
1-⑦ふるさと納税を活用します	4	13
2-①住民主体で作成する観光まちづくりガイドブックづくりを推進します	5	13
2-②聖徳太子没後 1400 年関連事業を検討します【重点】	5	13

「Ⅱ. 特産品の生産能力低下の抑制」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
ぶどうの栽培面積	F	15
みかんの栽培面積	F	15
農家数	F	15
遊休農地面積	E	15
体験型企画の受入農家数	D	15
施策	評価	ページ
1. 特産品の生産支援を行います	D	16
2. 特産品の販売・加工品開発支援を行います	D	16
3. 遊休農地を活用促進します	C	16
メニュー	評価	ページ
1-①農業法人設立を促進します	1	16
1-②援農隊の利用拡大を促進します	3	16
1-③就農支援に向けた取組みを検討します	2	16
2-①特産品の六次産業化・ブランド化を推進します	2	16
2-②地元食材の学校給食等への利用の充実をめざします	2	16
2-③体験型企画の受入環境の整備を検討します	3	16

3-①遊休農地の利活用を推進します	3	16
3-②市民農園の利用拡大を促進します	3	16

「Ⅲ. 観光まちづくりコンテンツのブラッシュアップ」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
太子町観光まちづくりネットワーク登録団体数	C	18
観光まちづくりのための空き家の利活用数	E	18
施策	評価	ページ
1. 観光まちづくりに関わる人材・組織のネットワークの連携強化を行います	C	18
2. 観光まちづくりに関わる人材を発掘・育成します	A	18
3. 観光まちづくりを牽引する企画力・機動力を備えた組織を形成します	C	18
4. 既存資源を活かした観光まちづくりコンテンツを開発します	B	19
5. “地”を活かした新たな観光まちづくり資源を発掘・活用します	D	19
メニュー	評価	ページ
1-①「竹内街道」等の日本遺産認定をめざします【重点】	5	18
1-②太子町観光まちづくりネットワークの設立に向けた取組みを推進【重点】	5	18
1-③地域連携 DMO について検討します	1	18
2-①観光まちづくりガイド・サポーター養成講座の開講を検討します	5	18
2-②職員対象の観光まちづくり勉強会の開催を検討します	5	18
3-①観光まちづくり団体等への人的支援策を検討します	5	18
3-②観光まちづくり団体等の法人化に向けた取組みの支援策を検討します	3	19
3-③観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します【重点】	3	19
4-①日帰り観光ルート（プラン）の認定に向けた取組みを推進します	4	19
4-②観光まちづくりガイド・サポーターの活動の支援策を検討します	5	19
4-③二上山のブランディングを推進します	3	19
4-④既存イベントのリニューアル等を促進します	4	19
5-①大道旧山本家住宅の利用を促進します	2	19
5-②空き家の利活用を推進します	4	19
5-③フルーツラン・ライドイベントの開催に向けた取組みを推進します	1	19
5-④ワインツーリズムを推進します	1	19

「Ⅳ. 戦略的なコミュニケーションの展開」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
観光まちづくり団体等の HP の年間ユニークユーザー数	A	21
観光まちづくり団体等のコミュニケーション活動件数	C	21

パブリシティ数（総数）	C	21
看板等の多言語対応率	E	21
施策	評価	ページ
1. 観光まちづくりの拠点を整備します	C	21
2. ターゲットを絞った効果的なコミュニケーションを展開します	C	22
3. パブリシティの獲得を狙った戦略的な広報活動を推進します	C	22
メニュー	評価	ページ
1-①古民家の活用を検討します	4	21
1-②竹内街道交流館等の既存施設の活用を検討します	4	21
1-③道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアルを検討します【重点】	3	21
2-①太子町観光まちづくりのロゴ、キャッチコピーの制作に向けた取組みを推進します	5	22
2-②シティプロモーションを推進します	4	22
2-③HP等でターゲット別の観光まちづくり情報を紹介するための取組みを推進します	3	22
2-④定住・セカンドハウス促進プロモーションを推進します	1	22
2-⑤サイン計画の策定を検討します【重点】	5	22
2-⑥訪日外国人旅行者の受入環境整備を推進します	4	22
3-①メディア・リレーションズを推進します	3	22
3-②民間事業者の観光キャンペーンに取り上げてもらえるよう努めます	2	22
3-③ウェブ上で太子町の情報が拡散するよう努めます	4	22

「V. 観光まちづくり事業を誘発・育成する行政支援」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
観光まちづくり関連のデータセット件数	F	24
観光まちづくり関連イベント実施回数	C	24
町外イベントへの参加回数	A	24
施策	評価	ページ
1. 観光まちづくり分野の民間収益事業を誘発するソフト支援を充実します	B	25
2. 広域連携・地域連携を強化します	B	25
3. 観光まちづくり関連データを収集・分析・公開します	D	25
メニュー	評価	ページ
1-①観光まちづくりの推進を支援する女性制度の創設を検討します	5	25
1-②民間事業者の地域連携イベントの支援策を検討します	3	25
2-①広域連携・地域連携イベント・事業の企画・実施を推進します	4	25
2-②広域イベントへの参加・PRを推進します	4	25
3-①定期的なマーケティングリサーチの実施を検討します【重点】	3	25
3-②観光まちづくり関連の調査分析データの公開に努めます	1	25

「重点メニュー1 | 聖徳太子没後 1400 年関連事業を検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連ボランティア数	A	27
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連イベント来場者数	E	27
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連のパブリシティ数	E	27
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」に向けた勉強会の開催を検討します	5	27
(仮称) 聖徳太子没後 1400 年関連事業実行委員会の設置を検討します	5	27
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」事業計画の策定を検討します	4	27
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」のプログラムの公募を検討します	4	28
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」チームプロジェクトの実施を検討します	5	28

「重点メニュー2 | 「竹内街道」等の日本遺産認定をめざします」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
認定された「日本遺産」の件数	C	28
「日本遺産」関連パブリシティ数	A	28
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
認定推進組織の活動を積極的に推進します	5	28
日本遺産を活かした観光まちづくりの取組みを推進します	4	28

「重点メニュー3 | 太子町観光まちづくりネットワークの設立に向けた取組みを推進します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
太子町観光まちづくりネットワーク登録団体数	C	29
コラボレーションプロジェクト実施件数	C	29
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
太子町観光まちづくりネットワークの登録制度の整備を検討します	5	29
観光まちづくり講座の開講を検討します	5	29
コラボレーションプロジェクトを検討します	4	29

「重点メニュー4 | 観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
観光まちづくり団体等の主催イベントの参加者数（総計）	C	30
観光まちづくり団体等のHPの年間ユニークユーザー数	A	30
観光まちづくり団体等の自主事業数	C	30
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
支援する観光まちづくり団体等を選定します	5	30
観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します	5	30

「重点メニュー5 | 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアルを検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の年間販売額	B	31
「竹内街道歴史資料館」の年間来訪者数	B	31
「竹内街道交流館」の年間来訪者数	A	31
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
（仮称）道の駅「近つ飛鳥の里・太子」再整備検討委員会の設置を検討します	2	31
「道の駅『近つ飛鳥の里・太子』再整備計画」の策定を検討します	2	31

「重点メニュー6 | サイン計画の策定を検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
看板の多言語対応率	E	32
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
「太子町サイン計画」の策定を検討します	5	32
統一的なサインを町内の観光スポットを中心に順次設置します	3	32

「重点メニュー7 | 定期的なマーケティングリサーチの実施を検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
観光まちづくり関連のデータセット件数	F	32
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
住民アンケート調査の実施を検討します	1	32
町外在住者を対象とするインターネットアンケート調査等の実施を検討します	1	32
来訪者アンケート調査の実施を検討します	5	32
観光まちづくり関連施設等の実態・実績把握に努めます	4	32

3. 評価結果

(1) 1. 誇りや愛着の醸成

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
太子町に住み続けたい住民の割合(シビックプライド)	%	71.4	-	-	-	80.0
達成状況		今後の予定				
F		住民アンケート、あるいはそれに代わるものとして数値の把握を行う。太子町に住み続けたい・住み続けたくない理由を浮き彫りにするような質問を盛り込み、数値の上昇を目指す。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
大阪府アドプト・プログラム参加団体数	団体	4	4	4	4	5
達成状況		今後の予定				
B		現状の参加団体については、活動の継続を推進していく。 新規参加団体については、地域に対する愛情を醸成し、積極的に募集する。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
太子町アドプト・プログラム参加団体数	団体	3	3	3	3	5
達成状況		今後の予定				
C		現状の参加団体については、活動の継続を推進していく。 新規参加団体については、地域に対する愛情を醸成し、積極的に募集する。				

【施策／メニューの評価】

施策	1. 地域に対する誇りや愛着を醸成します			評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①小・中学校で近つ飛鳥の里の歴史を知り、地域理解を促進します	4	継続	町内の小学5年生の竹内街道についての認知度：93% 竹内街道が日本遺産であることの認知度：68%		
②広報「太子」にて太子町の観光スポットを紹介するコーナーを設けます	4	継続	平成29年度に竹内街道を紹介する記事を掲載した。令和2年度から聖徳太子没後1400年に関する記事を連載予定。		
③アドプト・プログラムを推進します	4	継続	大阪府・太子町アドプト・プログラムを推進している。		
④太子町おもてなし作戦を推進します	2	継続	事業として展開していない。例年クリーンキャンペーンとしての清掃活動の取組はある。		
⑤竹内街道の景観保護を推進します	4	継続	竹内街道の景観計画について策定の取組みを進めている。		
⑥遣使の任命活動を推進します	1	継続	事業として展開していない。		
⑦ふるさと納税を活用します	4	継続	聖徳太子没後1400年実行委員会の事業として、聖徳太子像の制作についてクラウドファンディングの検討を始めた。		
施策	2. 住民が主体的に連携・協力する観光まちづくりを推進します			評価	A
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①住民主体で作成する観光まちづくりガイドブックづくりを推進します	5	継続	地元の観光事業を掲載してのパンフレットを作成した。町内で取得できるだけでなく、大阪市内の宿泊施設などにも配架していく。		
②聖徳太子没後1400年関連事業を検討します【重点】	5	継続	聖徳太子没後1400年事業について活動を開始した。実行委員会でメニューを出しながら実施していく。		

【総評】

■ 今年度の成果

- 町内の小学 5 年生を対象に行った調査で竹内街道についての認知度が 93%、竹内街道が日本遺産であることの認知度が 68%という結果が出ており、次世代を担う子どもたちに地域理解が図れています。
- 大阪府・太子町アドプト・プログラムやクリーンキャンペーンを継続して展開しており、これらの取組みが住民主体の観光まちづくりの素地となっています。
- 聖徳太子没後 1400 年についての取組みが本格的に始動しました。「聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会」を組織し、地元団体と一緒に取組みが進んでいます。
- 太子町観光パンフレットを作成しました。今後、太子町内の関連施設、関係市町村の施設、大阪市内の宿泊施設などに配架し、PR を実施していく予定です。

■ 今後の課題

- 住民の太子町への定住意向や観光まちづくりへの関心等の基礎データを収集・分析する必要があります。
- 継続的に展開している大阪府・太子町アドプト・プログラムやクリーンキャンペーンを発展させるとともに、参加者・参加団体の拡大を図る必要があります。
- 日本遺産に認定された竹内街道について、竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会が主体となって実施してきた文化庁の補助金が終了したので、町としても事業の継続について、今後の取組みの整理が必要です。
- 聖徳太子没後 1400 年の年を目前に控え、実施する事業を整理し、当該年度に向けての準備が必要です。
- 町外の人に知ってもらうために、観光パンフレットをできるだけ町外に配架できるように関係各所に働きかける必要があります。

■ 今後の取組み

- 住民意向調査やそれに代わる調査等を実施します。
- 聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会を事務局として推進していきます。
- 聖徳太子没後 1400 年関連事業に向けて、具体的な事業を進めていきます。

(2) II. 特産品の生産能力低下の抑制

【課題の評価】

評価指標		単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
ぶどうの栽培面積		ha	40	-	-	-	42
達成状況		今後の予定					
F		地域の特産品としてのブランド化を強化し、認知度を上げ、価値を向上させる。					
評価指標		単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
みかんの栽培面積		ha	9	-	-	-	10
達成状況		今後の予定					
F		地域の特産品としてのブランド化を強化し、認知度を上げ、価値を向上させる。					
評価指標		単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
農家数		戸	318	-	-	-	330
達成状況		今後の予定					
F		地域の特産品としてのブランド化を強化し、認知度を上げ、価値を向上させる。					
評価指標		単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
遊休農地面積		m ²	54,347	47,827	17,273	100,659	48,000
達成状況		今後の予定					
E		昨年度と同様に農地パトロールによって、現状の把握を行い、遊休農地の減少に努める。					
評価指標		単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
体験型企画の受入農家数		戸	-	1	1	1	3
達成状況		今後の予定					
D		道の駅「近つ飛鳥の里・太子」での観光コンテンツとして、運営協議会に提案していく。					

【施策／メニューの評価】

施策	1. 特産品の生産支援を行います			評価	D
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①農業法人設立を促進します	1	継続	取組の促進には至っていない。		
②援農隊の利用拡大を促進します	3	継続	NPO 法人ぶどう塾が活動中。		
③就農支援に向けた取組みを検討します	3	継続	就農支援についての相談窓口を設けている。		

施策	2. 特産品の販売・加工品開発支援を行います			評価	D
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①特産品の六次産業化・ブランド化を推進します	2	継続	ぶどう、みかんを取り上げてPRしているが、特産品のブランド制度に着手できていない。		
②地元食材の学校給食等への利用の充実をめざします	2	継続	取組の促進には至っていない。		
③体験型企画の受入環境の整備を検討します	3	継続	上ノ太子観光みかん園があるものの、その他の体験施設が整備できていない。		

施策	3. 遊休農地を活用促進します			評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①遊休農地の利活用を推進します	3	継続	みどり公社と情報の共有をしながら進めている。		
②市民農園の利用拡大を促進します	3	継続	4カ所の市民農園紹介先があるが、実際の紹介に至っていない。(山山谷やまざき農園、やまざき山山谷ファーム、北尻1号農園、北尻2号農園)		

【総評】

■ 今年度の成果

- NPO 法人ぶどう塾や就農支援についての相談窓口の設置などの取組みを継続して展開しており、新規就農者の確保に向けた素地となっています。
- 三町交流により、兵庫県太子町と奈良県斑鳩町のイベントに出店し、ぶどうやみかんをはじめとする地元農作物をプロモーションしました。

■ 今後の課題

- ぶどうやみかんの栽培面積、農家数等の基礎データを収集・分析する必要があります。
- NPO 法人ぶどう塾や就農支援についての相談窓口の設置などの取組みを発展させ、市民農園や遊休農地の利活用につなげていく必要があります。
- ぶどうやみかんなどの特産品の流通量の増加（既存農家の収益の確保）に向けて、農業法人の設立や特産品の六次産業化・ブランド化に向けた取組みや、地元食材の学校給食等への利用の充実を進める必要があります。

■ 今後の取組み

- 道の駅への地元農産物の出荷量や道の駅との契約農家数など、「農林業センサス」（農林水産省）によらない基礎データの収集・分析を行います。
- みどり公社と情報共有したり、NPO 法人ぶどう塾や就農支援についての相談窓口に来られた人に対して積極的にプロモーションを行うなどしながら、市民農園や遊休農地の利活用を後押しし、新規就農者の確保に努めます。
- 農業法人の設立や特産品の六次産業化・ブランド化に向けた検討を進めます。

(3) III. 観光まちづくりコンテンツのブラッシュアップ

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
太子町観光まちづくりネットワーク登録団体数	団体	-	-	-	13	20
達成状況		今後の予定				
C		太子町観光まちづくりネットワークの登録制度の検討				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくりのための空き家の利活用数	戸	-	0	0	0	3
達成状況		今後の予定				
E		引き続き、民泊や聖徳太子没後1400年関連事業として活用できるか模索。				

【施策／メニューの評価】

施策	1. 観光まちづくりに関わる人材・組織のネットワークの連携強化を行います	評価	C
メニュー		進捗状況	今後の方針
①「竹内街道」等の日本遺産認定をめざします【重点】	5	完了	平成29年に竹内街道が日本遺産に認定。
②太子町観光まちづくりネットワークの設立に向けた取組みを推進【重点】	5	継続	聖徳太子没後1400年記念実行委員会を発足させ、事業についての検討が始まった。
③地域連携DMOについて検討します	1	継続	地域連携DMOの検討に至っていない。
施策	2. 観光まちづくりに関わる人材を発掘・育成します	評価	A
メニュー		進捗状況	今後の方針
①観光まちづくりガイド・サポーター養成講座の開講を検討します	5	継続	町内向けガイドウォークを実施。(全5回)
②職員対象の観光まちづくり勉強会の開催を検討します	5	継続	聖徳太子没後1400年事業についてのワーキンググループを立ち上げ、事業の検討を行った。
施策	3. 観光まちづくりを牽引する企画力・機動力を備えた組織を形成します	評価	C
メニュー		進捗状況	今後の方針
①観光まちづくり団体等への人的支援策を検討します	5	継続	観光協会に職員を配置し、行政との連携を図る。

②観光まちづくり団体等の法人化に向けた取組みの支援策を検討します	3	継続	太子町観光・まちづくり協会の法人化について検討を始めた。
③観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します【重点】	3	継続	太子町観光・まちづくり協会の経営戦略を強化するため、人員の支援について検討した。
施策	4. 既存資源を活かした観光まちづくりコンテンツを開発します		評価 B
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果
①日帰り観光ルート（プラン）の認定に向けた取組みを推進します	4	継続	太子町観光・まちづくり協会にてモデルルートを設定して、HPに掲載している。
②観光まちづくりガイド・サポーターの活動の支援策を検討します	5	継続	町内向けガイドウォークを実施（全5回）。
③二上山のブランディングを推進します	3	継続	ダイヤモンドトレイルを中心に活用している。
④既存イベントのリニューアル等を促進します	4	継続	聖燈会ではプロジェクションマッピングを導入するなど内容の改善を実施している。
施策	5. “地”を活かした新たな観光まちづくり資源を発掘・活用します		評価 D
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果
①大道旧山本家住宅の利用を促進します	2	継続	体験プログラムの検討に至っていない。 灯路祭りでは音楽演奏の会場として利用している。
②空き家の利活用を推進します	4	継続	空き家を活用した飲食店舗開業補助制度を開設した。
③フルーツラン・ライドイベントの開催に向けた取組みを推進します	1	継続	取組の検討に至っていない。
④ワインツーリズムを推進します	1	継続	取組の検討に至っていない。

【総評】

■ 今年度の成果

- 太子町観光・まちづくり協会に町の職員を配置するなど、行政との連携がこれまで以上にきめ細やかに行えるようになり、加えて、法人化に向けての検討が始まるなど、太子町観光・まちづくり協会の改革が進み始めました。
- 聖燈会で LED ライトを採用したり、灯路祭りでは動くスランプラリーを実施したりと、改善を繰り返しながら、イベントとしてのクオリティの向上が図れています。
- 新たな魅力の創出に向けて、今年度「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」を創設しました。

■ 今後の課題

- 太子町観光まちづくりネットワークや地域連携 DMO の設立に向けて、隣接する市町村や町内外の観光まちづくり団体や事業者等と検討を進める必要があります。
- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」の利用を促すよう、制度の認知の拡大を図る必要があります。
- 竹内街道の日本遺産認定や聖徳太子没後 1400 年の節目が近づいていることを好機とし、これまでできていなかったメニューに着手していく必要があります。

■ 今後の取組み

- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」の利用を促すよう、制度の認知の拡大を図るため、様々な機会を捉えて、制度のプロモーション活動や利用者の確保に向けた活動を推進します。
- 聖徳太子没後 1400 年関連事業の実行部隊として、太子町観光まちづくりネットワーク機能できるように、町内の観光まちづくり団体や事業者等と検討を進めます。
- 聖徳太子没後 1400 年に向けての機運を高めていくため、観光まちづくりに関する講演会や勉強会等、住民や職員を対象とするイベント等の開催に向けて検討します。
- 聖徳太子没後 1400 年以降も継続して、本町に多くの来訪者に来てもらえるよう、二上山のブランディングやフルーツラン・ライドイベント、ワインツーリズムなどの未着手メニューについて検討します。

(4) IV. 戦略的なコミュニケーションの展開

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等のHPの年間ユニークユーザー数	人	—	37,738	23,364	38,646	36,500
達成状況		今後の予定				
A		聖燈会や竹内街道灯路祭りなど、様々な情報を発信し、一人でも多くの人に見てもらえるようにする。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等のコミュニケーション活動件数	件	500	811	745	533	1,000
達成状況		今後の予定				
C		イベントのお知らせなどにとどまらず、日々の様々な内容を発信し、発信数だけでなく、フォロワー数も確保していく。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
パブリシティ数(総数)	件	3	6	14	17	30
達成状況		今後の予定				
C		メディアに取り上げてもらえるように、直接働きかけることも検討。				
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
看板等の多言語対応率	%	0	0	0	0	50.0
達成状況		今後の予定				
E		太子町観光ランドデザインのなかでサイン計画を策定した。				

【施策/メニューの評価】

施策	1. 観光まちづくりの拠点を整備します	評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果
①古民家の活用を検討します	4	継続	古民家を活用した飲食店開業補助金について検討。平成31年度より実施。
②竹内街道交流館等の既存施設の活用を検討します	4	継続	竹内街道交流館のギャラリーとしての利用を広報で周知。古代衣装の展示を実施。
③道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアルを検討します【重点】	3	継続	道の駅の活性化について運営協議会へ提案。

施策	2. ターゲットを絞った効果的なコミュニケーションを展開します	評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果
①太子町観光まちづくりのロゴ、キャッチコピーの制作に向けた取組みを推進します	5	継続	聖徳太子没後 1400 年事業として、ロゴ、キャッチコピーを設定し、太子町で使用する封筒など各所で使用している。
②シティプロモーションを推進します	4	継続	広域で連携している市町村のイベントに参加した。 日本遺産の PR のため、近鉄への広告を出稿した。
③HP 等でターゲット別の観光まちづくり情報を紹介するための取組みを推進します	3	継続	太子町観光・まちづくり協会の HP をスマホ対応にし、観光情報を掲載しているが、ターゲットの設定はしていない。
④定住・セカンドハウス促進プロモーションを推進します	1	継続	HP の構築、パンフレット作成の検討に至っていない。
⑤サイン計画の策定を検討します【重点】	5	継続	太子町観光グランドデザインを作成し、特に叡福寺周辺への誘導サインについてまとめた。
⑥訪日外国人旅行者の受入環境整備を推進します	4	継続	パンフレットを刷新し、日本語版の他に英語版を作成した。グランドデザインにおけるサイン計画において、看板の多言語化を含めており、実施予定。
施策	3. パブリシティの獲得を狙った戦略的な広報活動を推進します	評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果
①メディア・リレーションズを推進します	3	継続	日本遺産を中心にメディアへの露出が増加したが、各媒体の関係者との関係構築には至っていない。
②民間事業者の観光キャンペーンに取り上げてもらえるよう努めます	2	継続	広域で連携している市町村のイベントなどには参加しているが、民間事業者との関係構築に至っていない。
③ウェブ上で太子町の情報が拡散するよう努めます	4	継続	観光協会によって FB、ツイッターを配信している。

【総評】

■ 今年度の成果

- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」を創設し、1件の申請受付に至りました。結果としては、残念ながら、物件所有者の自己都合により、申請取り下げとなりましたが、来年度以降も継続して申請を受け付ける方針です。
- シティプロモーションの一環として、広域で連携している市町村のイベントに参加しました。
- 太子町観光・まちづくり協会が SNS (Facebook、Instagram、twitter、ブログ) やウェブサイトでの情報発信を継続的に実施しています。
- 太子町観光・まちづくり協会ホームページのユニークユーザー数が目標値を超えました。
- 聖徳太子没後 1400 年事業の中で、ロゴやキャッチコピーを作成しました。

■ 今後の課題

- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」の利用を促すよう、制度の認知の拡大を図る必要があります。
- 太子町観光・まちづくり協会が SNS (Facebook、Instagram、twitter、ブログ) の活動件数の増加を図り、太子町の情報拡散していく必要があります。
- 竹内街道の日本遺産認定や聖徳太子没後 1400 年の節目が近づいていることを踏まえ、サインの多言語化や無線 LAN 環境の整備など、訪日外国人の受入環境の整備を図るとともに、メディアに取り上げてもらえるような働きかけをしていく必要があります。

■ 今後の取組み

- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」の利用を促すよう、制度の認知の拡大を図るため、様々な機会を捉えて、制度のプロモーション活動や利用者の確保に向けた活動を推進します
- 聖徳太子没後 1400 年に関連する情報を SNS (Facebook、Instagram、twitter、ブログ) で積極的に発信することでコミュニケーション活動件数を増加させます。
- 聖徳太子没後 1400 年に向けた機運の醸成を図るため、新聞社やテレビ局、雑誌社等に対してリリースを送ったり、プレスツアーを企画したり、メディア・リレーションズを展開します。
- 多言語対応したサインの整備を進めます。

(5) V. 観光まちづくり事業を誘発・育成する行政支援

【課題の評価】

評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R3 年度 (目標値)
観光まちづくり関連のデータセット件数	件	—	—	—	—	20
達成状況		今後の予定				
F		観光に関するデータを取りまとめ、集約していく。				
評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R3 年度 (目標値)
観光まちづくり関連イベント実施回数	回	6	6	7	7	10
達成状況		今後の予定				
C		聖徳太子没後 1400 年に向けてのイベントについて計画する。				
評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R3 年度 (目標値)
町外イベントへの参加回数	回	3	3	10	22	6
達成状況		今後の予定				
A		聖徳太子没後 1400 年を見据えて、広域的に発信できるイベントには積極的に参加していく。				

【施策／メニューの評価】

施策	1. 観光まちづくり分野の民間収益事業を誘発するソフト支援を充実します	評価	B	
メニュー		進捗状況	今後の方針	成果
①観光まちづくりの推進を支援する助成制度の創設を検討します		5	継続	空き家を活用した飲食店舗開業補助制度を創設した。
②民間事業者の地域連携イベントの支援策を検討します		3	継続	三町交流において、道の駅の農産物の出品について、各市町村との連絡調整を担当した。
施策	2. 広域連携・地域連携を強化します	評価	B	
メニュー		進捗状況	今後の方針	成果
①広域連携・地域連携イベント・事業の企画・実施を推進します		4	継続	華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会、竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会において、関連市町村と連携して事業を実施した。また、奈良県の聖徳太子没後 1400 年プロジェクトに参画し、事業の広がりを計画している。
②広域イベントへの参加・PR を推進します		4	継続	太子町観光・まちづくり協会と連携して、近隣市町村のイベント等に参加した。
施策	3. 観光まちづくり関連データを収集・分析・公開します	評価	D	
メニュー		進捗状況	今後の方針	成果
①定期的なマーケティングリサーチの実施を検討します【重点】		3	継続	平成 29 年度に華やいで大阪でマーケティングリサーチを実施したが、その他に実施の検討に至っていない。
②観光まちづくり関連の調査分析データの公開に努めます		1	継続	調査結果の公開に至っていない。

【総評】

■ 今年度の成果

- 華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会、竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会において、関連市町村と連携して事業を実施したり、太子町観光・まちづくり協会と連携して近隣市町村のイベント等に参加したりと、関連市町村・近隣市町村との関係構築と連携・協働事業の実績をつくりました。
- 聖徳太子没後 1400 年に関連して、奈良県が主体となっている聖徳太子没後 1400 年プロジェクトに参加し、シンポジウムにおいて町の取組みを PR しました。
- 空き家を活用した飲食店舗開業補助制度を創設しました。

■ 今後の課題

- PDCA サイクルを回しながら観光まちづくりを推進していくため、観光まちづくりに関連するマーケティングリサーチを実施する必要があります。
- 聖徳太子没後 1400 年を見据えて、関連市町村・近隣市町村に対して、連携・協働事業を働きかけていく必要があります。

■ 今後の取組み

- 聖徳太子没後 1400 年に向けて、町内外の人に対するマーケティングリサーチの実施を検討します。
- 聖徳太子没後 1400 年の一環として、町内での関連イベントを開催するため、関連市町村・近隣市町村に対して参加を呼び掛けるとともに、連携・協働を働きかけます。

(6) 重点メニュー

■ 重点メニュー1 | 聖徳太子没後 1400 年関連事業を検討します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R3 年度 (目標値)
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連ボランティア数	人	-	-	-	807	500
達成状況		今後の予定				
A		平成 31 年度より聖徳太子没後 1400 年の取組を本格的に開始し、ボランティアについても積極的に募集していく。				
評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R3 年度 (目標値)
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連イベント来場者数 (再掲)	人	200,000	-	-	15,346	200,000
達成状況		今後の予定				
E		平成 31 年度より聖徳太子没後 1400 年の取組を本格的に開始し、イベントについても開催を検討していく。				
評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R3 年度 (目標値)
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連のパブリシティ数	件	-	-	1	1	20
達成状況		今後の予定				
E		メディアへの情報発信も含めて進めていく。				

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」に向けた勉強会の開催を検討します	5	完了	平成 31 年 3 月 16 日に 聖徳太子没後 1400 年記念講演会を実施。 平成 31 年度は町内向けガイドウォークを実施 (全 5 回)
(仮称) 聖徳太子没後 1400 年関連事業実行委員会の設置を検討します	5	完了	聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会設置
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」事業計画の策定を検討します	4	継続	聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会にて検討した

「聖徳太子没後 1400 年関連事業」のプログラムの公募を検討します	4	継続	聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会にて検討した。
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」チームプロジェクトの実施を検討します	5	継続	庁内ワーキンググループを設置し、事業案を町長に提出した。

■ 重点メニュー 2 | 「竹内街道」等の日本遺産認定をめざします

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R3 年度 (目標値)
認定された「日本遺産」の件数	件	0	1	1	1	2
達成状況		今後の予定				
C		竹内街道が日本遺産に認定されたが、ほかの案件についても検討していく。				
評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R3 年度 (目標値)
「日本遺産」関連パブリシティ数	件	0	1	8	3	2
達成状況		今後の予定				
A		日本遺産として知名度が上がるように積極的に発信していく。				

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
認定推進組織の活動を積極的に推進します	5	継続	平成 29 年 3 月に竹内街道・横大路（大道）が日本遺産に認定され、本町は日本遺産事業事務局として事業を推進した。
日本遺産を活かした観光まちづくりの取組みを推進します	4	継続	竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会の取組を中心に観光まちづくりの取組を推進していく。

■ 重点メニュー3 | 太子町観光まちづくりネットワークの設立に向けた取組みを推進します

[重点メニューの評価]

評価指標		単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
太子町観光まちづくりネットワーク登録団体数(再掲)		団体	-	-	-	13	20
達成状況		今後の予定					
C		聖徳太子没後1400年記念実行委員会の取組みを推進する。					
評価指標		単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
コラボレーションプロジェクト実施件数		件	-	0	0	6	10
達成状況		今後の予定					
C		聖徳太子没後1400年事業として実施していく。					

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
太子町観光まちづくりネットワークの登録制度の整備を検討します	5	継続	聖徳太子没後1400年記念実行委員会を創設し、事業を進めている。
観光まちづくり講座の開講を検討します	5	継続	平成29年度には空家の利活用について、リノベーションまちづくりセミナーを開催した。 平成31年3月16日に聖徳太子没後1400年記念講演会を実施。 平成31年度は町内向けガイドウォークを実施(全5回)
コラボレーションプロジェクトを検討します	4	継続	聖徳太子没後1400年記念実行委員会を創設し、事業を進めている。

■ 重点メニュー4 | 観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します

[重点メニューの評価]

評価指標		単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等の主催イベントの参加者数(総計)		人	887	567	755	807	1400
達成状況		今後の予定					
C		聖徳太子没後1400年に向けて、広くボランティアを募集し、イベントの盛り上げに繋げる。					
評価指標		単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等のHPの年間ユニークユーザー数(再掲)		人	-	37,738	23,364	38,646	36,500
達成状況		今後の予定					
A		聖燈会や竹内街道灯路祭りなど、様々な情報を発信し、一人でも多くの人に見てもらえるようにする。					
評価指標		単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等の自主事業数		回	4	4	4	4	8
達成状況		今後の予定					
C		勉強会やワークショップなどを通じて人材育成につなげる取り組みも検討。					

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
支援する観光まちづくり団体等を選定します	5	継続	観光まちづくり団体を支援している。
観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します	5	継続	太子町観光・まちづくり協会の経営戦略を強化するため、人員の支援について検討した。

■ 重点メニュー5 | 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアルを検討します

[重点メニューの評価]

評価指標		単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の年間販売額		万円	6,967	6,494	6,071	5,895	7,700
達成状況		今後の予定					
B		道の駅の活用について運営協議会に提案しながら、販売額が増加するように展開していく。					
評価指標		単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
「竹内街道歴史資料館」の年間来訪者数		人	5,596	5,015	5,382	4,551	6,000
達成状況		今後の予定					
B		日本遺産に認定された竹内街道についての資料館であることをPRし、日本遺産の認知度向上を図る。					
評価指標		単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
「竹内街道交流館」の年間来訪者数		人	871	1,440	1,640	1,686	1,000
達成状況		今後の予定					
A		引き続き通年の土日祝の開館を継続し、竹内街道の魅力について発信していく。					

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
(仮称) 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」再整備検討委員会の設置を検討します	2	継続	道の駅運営協議会と運営方法について意見交換を実施した。
「道の駅『近つ飛鳥の里・太子』再整備計画」の策定を検討します	2	継続	道の駅運営協議会と運営方法について意見交換を実施した。

■ 重点メニュー6 | サイン計画の策定を検討します

[重点メニューの評価]

評価指標		単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
看板等の多言語対応率		%	0	0	0	0	50
達成状況		今後の予定					
E		サイン計画を策定し実施予定					

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
「太子町サイン計画」の策定を検討します	5	継続	太子町観光グランドデザインを作成し、その中でサインについて検討した。
統一的なサインを町内の観光スポットを中心に順次設置します	3	継続	サイン計画を基に設置予定

■ 重点メニュー7 | 定期的なマーケティングリサーチの実施を検討します

[重点メニューの評価]

評価指標		単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり関連のデータセット件数		件	-	-	-	-	20
達成状況		今後の予定					
F		観光に関するデータを取りまとめ、集約していく。					

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
住民アンケート調査の実施を検討します	1	継続	住民アンケート調査の検討に至っていない。
町外在住者を対象とするインターネットアンケート調査等の実施を検討します	1	継続	アンケート実施の検討に至っていない。
来訪者アンケート調査の実施を検討します	5	継続	竹内街道交流館において来訪者アンケートを実施している。
観光まちづくり関連施設等の実態・実績把握に努めます	4	継続	竹内街道歴史資料館、竹内街道交流館については入館者数や属性を把握している。

【総評】

■ 今年度の成果

- 竹内街道が日本遺産に認定され、竹内街道交流館を土日祝に開館したことにより、目標値を超える来訪者数を獲得できました。
- 聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会が創設され、講演会や町内向けガイドウォークなど機運醸成に向けた取組みをはじめ、様々な事業が進行しています。
- 太子町観光・まちづくり協会のホームページのユニークユーザー数が目標値を超えました。
- 太子町観光ランドデザインを作成し、多言語化した看板について検討しました。今後、これに基づいて設置を検討していきます。

■ 今後の課題

- 聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会で実施する事業のほか、観光まちづくり団体や事業者等の自主事業の支援やコラボレーションプロジェクトの実施に向けた検討を進めていく必要があります。
- 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の営業や既存イベント、竹内街道歴史資料館など、取組みを続けているものの、集客・消費に結びついていない取組み・事業を改善していく必要があります。
- サインの多言語化や無線 LAN 環境の整備など、訪日外国人の受入環境の整備を図る必要があります。
- PDCA サイクルを回しながら観光まちづくりを推進していくため、観光まちづくりに関連するマーケティングリサーチを実施する必要があります。

■ 今後の取組み

- 聖徳太子没後 1400 年事業を推進します。
- 農業法人の設立や特産品の六次産業化・ブランド化に向けた検討を進めます。
- 多言語対応したサインの整備を進めます。
- 聖徳太子没後 1400 年に向けて、町内外の人に対するマーケティングリサーチの実施を検討します。

太子町観光まちづくりビジョン
令和2年度 評価について

令和3年（2021年）7月

太子町

目次 | INEDX

評価委員の意見と助言

京都外国語大学 教授 吉兼 秀夫

- p.01 1. 太子町観光まちづくりビジョンの評価について
- p.01 (1) 評価の目的
- p.01 (2) 評価の概要

- p.04 2. 評価結果の総括
- p.04 (1) 課題の評価結果の総括
- p.04 (2) 施策の評価結果の総括
- p.05 (3) メニューの評価結果の総括
- p.05 (4) 重点メニューの評価結果の総括
- p.06 (5) 重点メニューの主な取組みの評価結果の総括

- p.12 3. 評価結果
- p.12 (1) I. 誇りや愛着の醸成
- p.15 (2) II. 特産品の生産能力低下の抑制
- p.18 (3) III. 観光まちづくりコンテンツのブラッシュアップ
- p.21 (4) IV. 戦略的なコミュニケーションの展開
- p.25 (5) V. 観光まちづくり事業を誘発・育成する行政支援
- p.28 (6) 重点メニュー

1. 太子町観光まちづくりビジョンの評価について

(1) 評価の目的

本町では平成 29 年（2017 年）3 月に「太子町観光まちづくりビジョン」（以下、ビジョン）を策定しましたが、ビジョンでは、学識経験者や観光まちづくりに関する専門家等の第三者を交えて、年 1 回、ビジョンの評価を行い、取組みの改善を図っていくこととしています。

評価の目的は、次の通りです。

■ ビジョンの適切な進行管理

ビジョンでは将来像を「近つ飛鳥の里の魅力を伝える聖徳太子のまち“たいし”～我が宝は和が宝～」と定め、その実現に向けて、5 つの課題に対し、16 の施策とそれに紐づく 51 のメニューを掲げています。それらの施策やメニューを適切に進行しているかどうかを管理します。

■ 現状把握と課題の整理

ビジョンを推進するには、町のみならず、住民や事業者、住民団体等をはじめ、太子町に関心のある人などとの連携や協働が欠かせません。評価を行うことによって、ビジョンの推進状況を把握するとともに推進に関する課題を整理し、その結果をビジョンの推進に関わる利害関係者にフィードバックすることで、次年度以降の事業や取組み内容の改善に役立てます。

(2) 評価の概要

評価の概要は次の通りです。

■ 評価の対象

評価の対象は、ビジョンに掲げられている全ての課題、施策、メニュー（重点メニュー、重点メニューの主な取組みを含む）です。

■ 評価の対象年度

評価の対象年度は、令和 2 年度（2020 年度）です。

■ 評価の手法

【メニュー／重点メニューの主な取組みの評価】

ビジョンの 51 メニューと重点メニューにおいて「主な取組み」として設定されている取組みについては同じ手法で評価を行います。

まず [進捗状況] を 5 (順調に進んでいる) ～1 (まったくできていない) の 5 段階で評価者が主観的に評価します。そして、それぞれのメニューについて、完了～その他の 6 つの中から [今後の方針] を選択した上で、「成果」を自由記述します。

[進捗状況]

評価区分	評価基準
5	順調に進んでいる
4	概ね順調に進んでいる
3	やや進捗が遅れている
2	進捗が遅れている
1	まったくできていない

[今後の方針]

今後の方針	評価基準
完了	取組みが完了
継続	現状の取組みを継続的に行う
拡充し、継続	現状の取組みを拡充した上で、継続的に行う
縮小し、継続	現状の取組みを縮小した上で、継続的に行う
廃止・凍結	取組みを廃止・凍結する
その他	上記以外の方針

【課題／重点メニューの評価】

ビジョンでは、施策の柱として「課題」が定められており、51 メニュー中 7 つを「重点メニュー」として設定しています。「課題」と「重点メニュー」には、評価指標をそれぞれ設けてあるため、同じ手法で評価を行います。

評価は、評価指標に基づき、目標値 (令和 3 年度) に対する [達成状況] に応じて、A (目標値に対して、90%以上の達成状況) ～F (調査等が未実施のため、達成状況が不明) の 6 段階で客観的に評価を行います。加えて、「今後の予定」を自由記述します。

[達成状況]

評価区分	評価基準
A	目標値に対して、90%以上の達成状況
B	目標値に対して、75%以上の達成状況
C	目標値に対して、50%以上の達成状況
D	目標値に対して、25%以上の達成状況
E	目標値に対して、25%以下の達成状況
F	調査等が未実施のため、達成状況が不明

【施策の評価】

施策の評価は、施策に紐づくメニューの「進捗状況」から平均値を算定し、平均値に応じて A（平均値が 4.5 以上）～E（平均値が 1.25 以下）の 5 段階で評価します。

【評価】

評価区分	評価基準
A	紐づくメニューの平均値が 4.5 以上
B	紐づくメニュー平均値が 3.75 以上
C	紐づくメニュー平均値が 2.5 以上
D	紐づくメニュー平均値が 1.25 以上
E	紐づくメニュー平均値が 1.25 以下

【総評】

「課題の評価」「施策／メニューの評価」を踏まえ、総評として課題ごとに「今年度の課題に対する成果」「今後の課題」「今後の取組み」について、自由記述します。

同様に、「重点メニューの評価」「重点メニューの主な取組みの評価」を踏まえ、総評として重点メニューに関する「今年度の課題に対する成果」「今後の課題」「今後の取組み」について、まとめて自由記述します。

【太子町観光まちづくりビジョン評価会議】

第三者を交えた「太子町観光まちづくりビジョン評価会議」を開催し、評価・改善についての検討を行い、「太子町観光まちづくりビジョン 令和 2 年度 評価について」を取りまとめます。

2. 評価結果の総括

(1) 課題の評価結果の総括

A	B	C	D	E	F	計
1 (5.9%)	3 (17.6%)	3 (17.6%)	1 (5.9%)	5 (29.5%)	4 (23.5%)	17

ビジョンの5つの課題に対して設定されている17の評価指標の評価(達成状況)は、A(目標値に対して、90%以上の達成状況)が1つ(5.9%)、B(目標値に対して、75%以上の達成状況)が3つ(17.6%)で、75%以上の達成状況となっているものは合わせて3つ(17.6%)という状況でした。

F(調査等が未実施のため、達成状況が不明)が4つ(23.5%)と多いため、次年度以降、調査を実施するなど、達成状況の把握に努める必要があります。また、令和2年度はビジョンの4年目ですが、目標年度の令和3年(2021年)に向けて、すでに目標を達成したのものについてはその状況を堅持しつつ、未達のものについては達成に向けて、具体的な施策やメニュー等に取り組んでいきます。

(2) 施策の評価結果の総括

A	B	C	D	E	計
3 (18.8%)	2 (12.4%)	8 (50.0%)	3 (18.8%)	0 (0.0%)	16

ビジョンの16施策の評価は、A(紐づくメニューの評価の平均値が4.5以上)が3施策(18.8%)、B(紐づくメニューの平均値が3.75以上)が2施策(12.4%)、C(紐づくメニューの平均値が2.5以上)が8施策(50%)、D(紐づくメニューの平均値が1.25以上)が3施策(18.8%)で、CとDが合わせて11施策全体の68.8%を占めています。E(紐づくメニューの平均値が1.25以下)もありませんでした。

AとBがまだまだ少ない状況ではあるので、各施策に紐づくメニューを計画的に取り組んでいくことで、目標年度の令和3年(2021年)に向けて着実に施策の評価を高めていく必要があります。

(3) メニューの評価結果の総括

5	4	3	2	1	計
15 (29.4%)	11 (21.6%)	14 (27.5%)	4 (7.8%)	7 (13.7%)	51

ビジョンの51メニューの評価は、5（順調に進んでいる）が15メニュー（29.4%）、4（概ね順調に進んでいる）が11メニュー（21.6%）で、合わせて26メニュー（51.0%）は順調に進めることができます。

一方、3（やや進捗が遅れている）が14メニュー（27.5%）、2（進捗が遅れている）が4メニュー（7.8%）と進捗が遅れてしまっているメニューが合わせて18メニュー（35.3%）あり、加えて、1（まったくできていない）も7メニュー（13.7%）あります。目標年度の令和3年（2021年）に向けて早急に着手する必要があります。

目標年度の令和3年（2021年）は、聖徳太子没後1400年という節目を間近に控えていることを後押しとしながら、町内外の観光まちづくり団体や事業者等とも連携・協働を図りつつ、順調に進めることができるものについては、このままの調子で引き続き取組みながら、進捗が遅れているもの、また着手できていないものについては、優先順位をつけながら、計画的に達成できるよう着実に取り組んでいきます。

(4) 重点メニューの評価結果の総括

A	B	C	D	E	F	計
2 (13.3%)	1 (6.7%)	4 (26.6%)	1 (6.7%)	6 (40.0%)	1 (6.7%)	15

ビジョンの7つの重点メニューに対して設定されている15の評価指標の評価（達成状況）は、A（目標値に対して、90%以上の達成状況）とB（目標値に対して、75%以上の達成状況）を合わせると3つ（20.0%）という状況でした。

一方でE（目標値に対して、25%以下の達成状況）は6つ（40.0%）あり、また、F（調査等が未実施のため、達成状況が不明）が1つ（6.7%）あったため、次年度以降、調査を実施するなど、達成状況の把握に努める必要があります。

目標年度の令和3年（2021年）に向けては、達成状況が低いものに優先順位をつけながら、計画的に達成できるよう着実に取り組んでいきます。

(5) 重点メニューの主な取組みの評価結果の総括

5	4	3	2	1	計
14 (70.0%)	3 (15.0%)	0 (0%)	2 (10.0%)	1 (5.0%)	20

ビジョンの20の重点メニューの主な取組みの進捗状況（評価）は、5（順調に進んでいる）が14個（70.0%）で、4（概ね順調に進んでいる）が3つ（15.0%）で、合わせて17の重点メニュー（85.0%）は順調に進めることができます。

一方、3（やや進捗が遅れている）が0（0%）、2（進捗が遅れている）が2つ（10.0%）と進捗が遅れているメニューが合わせて2つ（10.0%）です。加えて、1（まったくできていない）は1つ（5.0%）あり、早急に着手する必要があります。

目標年度の令和3年（2021年）に向けては、聖徳太子没後1400年という節目を間近に控えていることを後押しとしながら、町内外の観光まちづくり団体や事業者等とも連携・協働を図りつつ、順調に進めることができているものについては、このままの調子で引き続き取組みながら、進捗が遅れているもの、また着手できていないものについては、優先順位をつけながら、計画的に達成できるよう着実に取り組んでいきます。

「Ⅰ. 誇りや愛着の醸成」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
太子町に住み続けたい住民の割合（シビックプライド）	C	12
大阪府アドプト・プログラム参加団体数	B	12
太子町アドプト・プログラム参加団体数	C	12
施策	評価	ページ
1. 地域に対する誇りや愛着を醸成します	C	13
2. 住民が主体的に連携・協力する観光まちづくりを推進します	A	13
メニュー	評価	ページ
1-①小・中学校で近つ飛鳥の里の歴史を知り、地域理解を促進します	4	13
1-②広報「太子」にて太子町の観光スポットを紹介するコーナーを設けます	5	13
1-③アドプト・プログラムを推進します	4	13
1-④太子町おもてなし作戦を推進します	2	13
1-⑤竹内街道の景観保護を推進します	4	13
1-⑥遣使の任命活動を推進します	1	13
1-⑦ふるさと納税を活用します	5	13
2-①住民主体で作成する観光まちづくりガイドブックづくりを推進します	5	13
2-②聖徳太子没後 1400 年関連事業を検討します【重点】	5	13

「Ⅱ. 特産品の生産能力低下の抑制」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
ぶどうの栽培面積	F	15
みかんの栽培面積	F	15
農家数	F	15
遊休農地面積	E	15
体験型企画の受入農家数	D	15
施策	評価	ページ
1. 特産品の生産支援を行います	D	16
2. 特産品の販売・加工品開発支援を行います	C	16
3. 遊休農地を活用促進します	C	16
メニュー	評価	ページ
1-①農業法人設立を促進します	1	16
1-②援農隊の利用拡大を促進します	3	16
1-③就農支援に向けた取組みを検討します	3	16
2-①特産品の六次産業化・ブランド化を推進します	3	16
2-②地元食材の学校給食等への利用の充実をめざします	2	16
2-③体験型企画の受入環境の整備を検討します	3	16

3-①遊休農地の利活用を推進します	3	16
3-②市民農園の利用拡大を促進します	3	16

「Ⅲ. 観光まちづくりコンテンツのブラッシュアップ」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
太子町観光まちづくりネットワーク登録団体数	C	18
観光まちづくりのための空き家の利活用数	E	18
施策	評価	ページ
1. 観光まちづくりに関わる人材・組織のネットワークの連携強化を行います	C	18
2. 観光まちづくりに関わる人材を発掘・育成します	A	18
3. 観光まちづくりを牽引する企画力・機動力を備えた組織を形成します	C	19
4. 既存資源を活かした観光まちづくりコンテンツを開発します	B	19
5. “地”を活かした新たな観光まちづくり資源を発掘・活用します	D	19
メニュー	評価	ページ
1-①「竹内街道」等の日本遺産認定をめざします【重点】	5	18
1-②太子町観光まちづくりネットワークの設立に向けた取組みを推進【重点】	5	18
1-③地域連携 DMO について検討します	1	18
2-①観光まちづくりガイド・サポーター養成講座の開講を検討します	5	18
2-②職員対象の観光まちづくり勉強会の開催を検討します	5	18
3-①観光まちづくり団体等への人的支援策を検討します	5	19
3-②観光まちづくり団体等の法人化に向けた取組みの支援策を検討します	3	19
3-③観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します【重点】	3	19
4-①日帰り観光ルート（プラン）の認定に向けた取組みを推進します	4	19
4-②観光まちづくりガイド・サポーターの活動の支援策を検討します	5	19
4-③二上山のブランディングを推進します	3	19
4-④既存イベントのリニューアル等を促進します	4	19
5-①大道旧山本家住宅の利用を促進します	2	19
5-②空き家の利活用を推進します	4	19
5-③フルーツラン・ライドイベントの開催に向けた取組みを推進します	1	19
5-④ワインツーリズムを推進します	1	19

「Ⅳ. 戦略的なコミュニケーションの展開」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
観光まちづくり団体等の HP の年間ユニークユーザー数	A	21
観光まちづくり団体等のコミュニケーション活動件数	E	21

パブリシティ数（総数）	B	21
看板等の多言語対応率	B	21
施策	評価	ページ
1. 観光まちづくりの拠点を整備します	B	22
2. ターゲットを絞った効果的なコミュニケーションを展開します	C	22
3. パブリシティの獲得を狙った戦略的な広報活動を推進します	C	23
メニュー	評価	ページ
1-①古民家の活用を検討します	4	22
1-②竹内街道交流館等の既存施設の活用を検討します	5	22
1-③道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアルを検討します【重点】	3	22
2-①太子町観光まちづくりのロゴ、キャッチコピーの制作に向けた取組みを推進します	5	22
2-②シティプロモーションを推進します	4	22
2-③HP 等でターゲット別の観光まちづくり情報を紹介するための取組みを推進します	3	22
2-④定住・セカンドハウス促進プロモーションを推進します	1	22
2-⑤サイン計画の策定を検討します【重点】	5	22
2-⑥訪日外国人旅行者の受入環境整備を推進します	4	22
3-①メディア・リレーションズを推進します	3	23
3-②民間事業者の観光キャンペーンに取り上げてもらえるよう努めます	2	23
3-③ウェブ上で太子町の情報が拡散するよう努めます	4	23

「V. 観光まちづくり事業を誘発・育成する行政支援」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
観光まちづくり関連のデータセット件数	F	25
観光まちづくり関連イベント実施回数	E	25
町外イベントへの参加回数	E	25
施策	評価	ページ
1. 観光まちづくり分野の民間収益事業を誘発するソフト支援を充実します	A	26
2. 広域連携・地域連携を強化します	C	26
3. 観光まちづくり関連データを収集・分析・公開します	D	26
メニュー	評価	ページ
1-①観光まちづくりの推進を支援する女性制度の創設を検討します	5	26
1-②民間事業者の地域連携イベントの支援策を検討します	5	26
2-①広域連携・地域連携イベント・事業の企画・実施を推進します	4	26
2-②広域イベントへの参加・PR を推進します	3	26
3-①定期的なマーケティングリサーチの実施を検討します【重点】	3	26
3-②観光まちづくり関連の調査分析データの公開に努めます	1	26

「重点メニュー1 | 聖徳太子没後 1400 年関連事業を検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連ボランティア数	E	28
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連イベント来場者数	E	28
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連のパブリシティ数	E	28
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」に向けた勉強会の開催を検討します	5	28
(仮称) 聖徳太子没後 1400 年関連事業実行委員会の設置を検討します	5	28
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」事業計画の策定を検討します	5	29
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」のプログラムの公募を検討します	5	29
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」チームプロジェクトの実施を検討します	5	29

「重点メニュー2 | 「竹内街道」等の日本遺産認定をめざします」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
認定された「日本遺産」の件数	C	29
「日本遺産」関連パブリシティ数	E	29
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
認定推進組織の活動を積極的に推進します	5	29
日本遺産を活かした観光まちづくりの取組みを推進します	4	29

「重点メニュー3 | 太子町観光まちづくりネットワークの設立に向けた取組みを推進します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
太子町観光まちづくりネットワーク登録団体数	C	30
コラボレーションプロジェクト実施件数	E	30
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
太子町観光まちづくりネットワークの登録制度の整備を検討します	5	30
観光まちづくり講座の開講を検討します	5	30
コラボレーションプロジェクトを検討します	4	30

「重点メニュー4 | 観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
観光まちづくり団体等の主催イベントの参加者数（総計）	E	31
観光まちづくり団体等のHPの年間ユニークユーザー数	A	31
観光まちづくり団体等の自主事業数	C	31
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
支援する観光まちづくり団体等を選定します	5	31
観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します	5	31

「重点メニュー5 | 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアルを検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の年間販売額	C	32
「竹内街道歴史資料館」の年間来訪者数	D	32
「竹内街道交流館」の年間来訪者数	A	32
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
（仮称）道の駅「近つ飛鳥の里・太子」再整備検討委員会の設置を検討します	2	32
「道の駅『近つ飛鳥の里・太子』再整備計画」の策定を検討します	2	32

「重点メニュー6 | サイン計画の策定を検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
看板の多言語対応率	B	33
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
「太子町サイン計画」の策定を検討します	5	33
統一的なサインを町内の観光スポットを中心に順次設置します	5	33

「重点メニュー7 | 定期的なマーケティングリサーチの実施を検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
観光まちづくり関連のデータセット件数	F	33
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
住民アンケート調査の実施を検討します	5	33
町外在住者を対象とするインターネットアンケート調査等の実施を検討します	1	33
来訪者アンケート調査の実施を検討します	5	34
観光まちづくり関連施設等の実態・実績把握に努めます	4	34

3. 評価結果

(1) 1. 誇りや愛着の醸成

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
太子町に住み続けたい住民の割合 (シビックプライド)	%	71.4	-	-	-	58.4	80.0
達成状況		今後の予定					
C		住民アンケート、あるいはそれに代わるものとして数値の把握を行う。 太子町に住み続けたい・住み続けたくない理由を浮き彫りにするような質問を盛り込み、数値の上昇を目指す。					
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
大阪府アドプト・プログラム参加団体数	団体	4	4	4	4	4	5
達成状況		今後の予定					
B		現状の参加団体については、活動の継続を推進していく。 新規参加団体については、地域に対する愛情を醸成し、積極的に募集する。					
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
太子町アドプト・プログラム参加団体数	団体	3	3	3	3	3	5
達成状況		今後の予定					
C		現状の参加団体については、活動の継続を推進していく。 新規参加団体については、地域に対する愛情を醸成し、積極的に募集する。					

【施策／メニューの評価】

施策	1. 地域に対する誇りや愛着を醸成します			評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①小・中学校で近つ飛鳥の里の歴史を知り、地域理解を促進します	4	継続	町内の小学5年生の竹内街道についての認知度：75% 竹内街道が日本遺産であることの認知度：40%		
②広報「太子」にて太子町の観光スポットを紹介するコーナーを設けます	5	継続	平成29年度に竹内街道を紹介する記事を掲載した。令和2年度から聖徳太子没後1400年に関する記事を連載した。		
③アドプト・プログラムを推進します	4	継続	大阪府・太子町アドプト・プログラムを推進している。		
④太子町おもてなし作戦を推進します	2	継続	事業として展開していない。例年クリーンキャンペーンとしての清掃活動の取組はある。		
⑤竹内街道の景観保護を推進します	4	継続	竹内街道の景観計画について策定の取組みを進めている。		
⑥遣使の任命活動を推進します	1	継続	事業として展開していない。		
⑦ふるさと納税を活用します	5	継続	聖徳太子没後1400年実行委員会の事業として、聖徳太子像の制作についてクラウドファンディングを実施した。		
施策	2. 住民が主体的に連携・協力する観光まちづくりを推進します			評価	A
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①住民主体で作成する観光まちづくりガイドブックづくりを推進します	5	完了	地元の観光事業を掲載してのパンフレットを作成した。町内で取得できるだけでなく、大阪市内の宿泊施設などにも配架している。		
②聖徳太子没後1400年関連事業を検討します【重点】	5	継続	聖徳太子没後1400年事業について活動を開始した。聖徳太子モニュメント制作など、実行委員会がメニューを出しながら実施している。		

【総評】

■ 今年度の成果

- 町内の小学 5 年生を対象に行った調査で竹内街道についての認知度が 75%、竹内街道が日本遺産であることの認知度が 40%という結果が出ており、次世代を担う子どもたちに地域理解が図れています。
- アドプト・プログラムやクリーンキャンペーン、これらの取組みが住民主体の観光まちづくりの素地となっています。
- 聖徳太子没後 1400 年についての取組みが本格的に始動しました。「聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会」を組織し、地元団体と一緒に取組みが進んでいます。

■ 今後の課題

- 住民の太子町への定住意向や観光まちづくりへの関心等の基礎データを収集・分析する必要があります。
- 継続的に展開している大阪府・太子町アドプト・プログラムやクリーンキャンペーンを発展させるとともに、参加者・参加団体の拡大を図る必要があります。
- 日本遺産に認定された竹内街道について、竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会が主体となって実施してきた文化庁の補助金が終了したので、町としても事業の継続について、今後の取組みの整理が必要です。
- 聖徳太子没後 1400 年の年を目前に控え、実施する事業を整理し、当該年度に向けての準備が必要です。
- 町外の人に知ってもらうために、観光パンフレットをできるだけ町外に配架できるように関係各所に働きかける必要があります。

■ 今後の取組み

- 住民意向調査やそれに代わる調査等を実施します。
- 聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会を事務局として推進していきます。
- 聖徳太子没後 1400 年関連事業に向けて、その集大成となる事業を進めていきます。

(2) II. 特産品の生産能力低下の抑制

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
ぶどうの栽培面積	ha	40	—	—	—	—	42
達成状況		今後の予定					
F		地域の特産品としてのブランド化を強化し、認知度を上げ、価値を向上させる。					
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
みかんの栽培面積	ha	9	—	—	—	—	10
達成状況		今後の予定					
F		地域の特産品としてのブランド化を強化し、認知度を上げ、価値を向上させる。					
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
農家数	戸	318	—	—	—	—	330
達成状況		今後の予定					
F		地域の特産品としてのブランド化を強化し、認知度を上げ、価値を向上させる。					
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
遊休農地面積	m ²	54,347	47,827	17,273	100,659	93,441	48,000
達成状況		今後の予定					
E		昨年度と同様に農地パトロールによって、現状の把握を行い、遊休農地の減少に努める。					
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
体験型企画の受入農家数	戸	—	1	1	1	1	3
達成状況		今後の予定					
D		道の駅「近つ飛鳥の里・太子」での観光コンテンツとして、運営協議会に提案していく。					

【施策／メニューの評価】

施策	1. 特産品の生産支援を行います			評価	D
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①農業法人設立を促進します	1	継続	取組の促進には至っていない。		
②援農隊の利用拡大を促進します	3	継続	NPO 法人ぶどう塾が活動中。		
③就農支援に向けた取組みを検討します	3	継続	就農支援についての相談窓口を設けている。		

施策	2. 特産品の販売・加工品開発支援を行います			評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①特産品の六次産業化・ブランド化を推進します	3	継続	みかんを取り上げてPRを実施した。特産品のブランド制度に着手できていない。		
②地元食材の学校給食等への利用の充実をめざします	2	継続	取組の促進には至っていない。		
③体験型企画の受入環境の整備を検討します	3	継続	上ノ太子観光みかん園があるものの、その他の体験施設が整備できていない。		

施策	3. 遊休農地を活用促進します			評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①遊休農地の利活用を推進します	3	継続	みどり公社と情報の共有をしながら進めている。		
②市民農園の利用拡大を促進します	3	継続	4カ所の市民農園紹介先があるが、実際の紹介に至っていない。(山山谷やまざき農園、やまざき山山谷ファーム、北尻1号農園、北尻2号農園)		

【総評】

■ 今年度の成果

- NPO 法人ぶどう塾や就農支援についての相談窓口の設置などの取組みを継続して展開しており、新規就農者の確保に向けた素地となっています。
- 近鉄大阪阿部野橋駅や大津SAなど町外に出て、特産品であるみかんについてのPRを実施しました。

■ 今後の課題

- ぶどうやみかんの栽培面積、農家数等の基礎データを収集・分析する必要があります。
- NPO 法人ぶどう塾や就農支援についての相談窓口の設置などの取組みを発展させ、市民農園や遊休農地の利活用につなげていく必要があります。
- ぶどうやみかんなどの特産品の流通量の増加（既存農家の収益の確保）に向けて、農業法人の設立や特産品の六次産業化・ブランド化に向けた取組みや、地元食材の学校給食等への利用の充実を進める必要があります。

■ 今後の取組み

- 道の駅への地元農産物の出荷量や道の駅との契約農家数など、「農林業センサス」（農林水産省）によらない基礎データの収集・分析を行います。
- みどり公社と情報共有したり、NPO 法人ぶどう塾や就農支援についての相談窓口に来られた人に対して積極的にプロモーションを行うなどしながら、市民農園や遊休農地の利活用を後押しし、新規就農者の確保に努めます。
- 農業法人の設立や特産品の六次産業化・ブランド化に向けた検討を進めます。

(3) III. 観光まちづくりコンテンツのブラッシュアップ

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
太子町観光まちづくりネットワーク登録団体数	団体	-	-	-	13	13	20
達成状況		今後の予定					
C		太子町観光まちづくりネットワークの登録制度を検討する。					
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくりのための空き家の利活用数	戸	-	0	0	0	0	3
達成状況		今後の予定					
E		引き続き、民泊や聖徳太子没後1400年関連事業として活用できるか模索する。					

【施策／メニューの評価】

施策	1. 観光まちづくりに関わる人材・組織のネットワークの連携強化を行います	評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果
①「竹内街道」等の日本遺産認定をめざします【重点】	5	完了	平成29年に竹内街道が日本遺産に認定。
②太子町観光まちづくりネットワークの設立に向けた取組みを推進【重点】	5	継続	聖徳太子没後1400年記念実行委員会を発足させ、事業を実施している。
③地域連携DMOについて検討します	1	継続	地域連携DMOの検討に至っていない。
施策	2. 観光まちづくりに関わる人材を発掘・育成します	評価	A
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果
①観光まちづくりガイド・サポーター養成講座の開講を検討します	5	継続	【H30年度】町内向けガイドウォークを実施。(全5回)
②職員対象の観光まちづくり勉強会の開催を検討します	5	継続	【H30年度】聖徳太子没後1400年事業についてのワーキンググループを立ち上げ、事業の検討を行った。

施策	3. 観光まちづくりを牽引する企画力・機動力を備えた組織を形成します		評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果	
①観光まちづくり団体等への人的支援策を検討します	5	継続	観光協会に職員を配置し、行政との連携を図る。	
②観光まちづくり団体等の法人化に向けた取組みの支援策を検討します	3	継続	太子町観光・まちづくり協会の法人化について検討を始めた。	
③観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します【重点】	3	継続	太子町観光・まちづくり協会の経営戦略を強化するため、人員の支援について検討した。	
施策	4. 既存資源を活かした観光まちづくりコンテンツを開発します		評価	B
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果	
①日帰り観光ルート（プラン）の認定に向けた取組みを推進します	4	継続	太子町観光・まちづくり協会にてモデルルートを設定して、HPに掲載している。	
②観光まちづくりガイド・サポーターの活動の支援策を検討します	5	継続	【H30年度】町内向けガイドウォークを実施。（全5回）	
③二上山のブランディングを推進します	3	継続	ダイヤモンドトレイルを中心に活用している。	
④既存イベントのリニューアル等を促進します	4	継続	聖燈会ではプロジェクションマッピングを導入するなど内容の改善を実施している。	
施策	5. “地”を活かした新たな観光まちづくり資源を発掘・活用します		評価	D
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果	
①大道旧山本家住宅の利用を促進します	2	継続	体験プログラムの検討に至っていない。 コロナ禍で中止となったが、灯路祭りでは音楽演奏の会場として利用を予定していた。	
②空き家の利活用を推進します	4	継続	空き家を活用した飲食店舗開業補助制度を推進している。	
③フルーツラン・ライドイベントの開催に向けた取組みを推進します	1	継続	取組の検討に至っていない。	
④ワインツーリズムを推進します	1	継続	取組の検討に至っていない。	

【総評】

■ 今年度の成果

- 太子町観光・まちづくり協会に町の職員を配置するなど、行政との連携がこれまで以上にきめ細やかに行えるようになり、加えて、法人化に向けての検討が始まるなど、太子町観光・まちづくり協会の改革が進み始めました。
- 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できませんでしたが、聖燈会で LED ライトを採用したり、灯路祭りでは動くスランプラリーを実施したりと、改善を繰り返しながら、イベントとしてのクオリティの向上が図れています。
- 新たな魅力の創出に向けて、「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」を継続しています。

■ 今後の課題

- 太子町観光まちづくりネットワークや地域連携 DMO の設立に向けて、隣接する市町村や町内外の観光まちづくり団体や事業者等と検討を進める必要があります。
- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」の利用を促すよう、制度の認知の拡大を図る必要があります。
- 竹内街道の日本遺産認定や聖徳太子没後 1400 年の節目の年を迎え、これまでできていなかったメニューに着手していく必要があります。

■ 今後の取組み

- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」の利用を促すよう、制度の認知の拡大を図るため、様々な機会を捉えて、制度のプロモーション活動や利用者の確保に向けた活動を推進します。
- 聖徳太子没後 1400 年関連事業を実施します。
- 聖徳太子没後 1400 年に来訪する観光客に対して、新型コロナウイルス感染症対策を実施します。
- 聖徳太子没後 1400 年以降も継続して、本町に多くの来訪者に来てもらえるよう、二上山のブランディングやフルーツラン・ライドイベント、ワインツーリズムなどの未着手メニューについて検討します。

(4) IV. 戦略的なコミュニケーションの展開

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等のHPの年間ユニークユーザー数	人	-	37,738	23,364	38,646	38,059	36,500
達成状況		今後の予定					
A		聖燈会や竹内街道灯路祭りなど、様々な情報を発信し、一人でも多くの人に見てもらえるようにする。					
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等のコミュニケーション活動件数	件	500	811	745	533	202	1,000
達成状況		今後の予定					
E		イベントのお知らせなどにとどまらず、日々の様々な内容を発信し、発信数だけでなく、フォロワー数も確保していく。					
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
パブリシティ数 (総数)	件	3	6	14	17	26	30
達成状況		今後の予定					
B		メディアに取り上げてもらえるように、直接働きかけることも検討。					
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
看板等の多言語対応率	%	0	0	0	0	42	50.0
達成状況		今後の予定					
B		多言語対応看板の設置を進めていく。					

【施策／メニューの評価】

施策	1. 観光まちづくりの拠点を整備します			評価	B
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①古民家の活用を検討します	4	継続	古民家を活用した飲食店開業補助金を平成 31 年度より実施している。		
②竹内街道交流館等の既存施設の活用を検討します	5	継続	令和 3 年 1 月より太子町観光・まちづくり協会の事務所として活用している。		
③道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアルを検討します【重点】	3	継続	道の駅の活性化について運営協議会へ提案。		
施策	2. ターゲットを絞った効果的なコミュニケーションを展開します			評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①太子町観光まちづくりのロゴ、キャッチコピーの制作に向けた取組みを推進します	5	継続	聖徳太子没後 1400 年事業として、ロゴ、キャッチコピーを設定し、太子町で使用する封筒など各所で使用している。		
②シティプロモーションを推進します	4	継続	特産品であるみかんを使って町外に向けてのプロモーションを行った。		
③HP 等でターゲット別の観光まちづくり情報を紹介するための取組みを推進します	3	継続	太子町観光・まちづくり協会の HP をスマホ対応にし、観光情報を掲載しているが、ターゲットの設定はしていない。		
④定住・セカンドハウス促進プロモーションを推進します	1	継続	HP の構築、パンフレット作成の検討に至っていない。		
⑤サイン計画の策定を検討します【重点】	5	継続	サインの位置や多言語化について検討し、叡福寺を中心としたエリアを整備した。		
⑥訪日外国人旅行者の受入環境整備を推進します	4	継続	パンフレットを刷新し、日本語版の他に英語版を作成した。サインの多言語化を実施した。		

施策	3. パブリシティの獲得を狙った戦略的な広報活動を推進します		評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果	
①メディア・リレーションズを推進します	3	継続	日本遺産を中心にメディアへの露出が増加したが、各媒体の関係者との関係構築には至っていない。	
②民間事業者の観光キャンペーンに取り上げてもらえるよう努めます	2	継続	新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントの実施がなかった。	
③ウェブ上で太子町の情報が拡散するよう努めます	4	継続	観光協会によって FB、ツイッターを配信している。	

【総評】

■ 今年度の成果

- 申請はありませんでしたが、「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」を継続して受け付けました。来年度以降も申請を受け付ける方針です。
- シティプロモーションの一環として、特産品であるみかんを使って町のPRをしました。
- 太子町観光・まちづくり協会が SNS (Facebook、Instagram、twitter、ブログ) やウェブサイトでの情報発信を継続的に実施しています。
- 太子町観光・まちづくり協会ホームページのユニークユーザー数が目標値を超えました。
- 聖徳太子没後 1400 年事業の中で、ロゴやキャッチコピーを使い PR に努めました。
- 町内の観光案内板の整備をしました。デザインの統一と多言語化を進めました。

■ 今後の課題

- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」の利用を促すよう、制度の認知の拡大を図る必要があります。
- 太子町観光・まちづくり協会が SNS (Facebook、Instagram、twitter、ブログ) の活動件数の増加を図り、太子町の情報拡散していく必要があります。
- 竹内街道の日本遺産認定や聖徳太子没後 1400 年の節目の年を迎え、サインの多言語化や無線 LAN 環境の整備など、訪日外国人の受入環境の整備を図るとともに、メディアに取り上げてもらえるような働きかけをしていく必要があります。

■ 今後の取組み

- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」の利用を促すよう、制度の認知の拡大を図るため、様々な機会を捉えて、制度のプロモーション活動や利用者の確保に向けた活動を推進します
- 聖徳太子没後 1400 年に関連する情報を SNS (Facebook、Instagram、twitter、ブログ) で積極的に発信することでコミュニケーション活動件数を増加させます。
- 聖徳太子没後 1400 年に向けた機運の醸成を図るため、新聞社やテレビ局、雑誌社等に対してリリースを送ったり、プレスツアーを企画したり、メディア・リレーションズを展開します。
- 多言語対応したサインの整備を進めます。

(5) V. 観光まちづくり事業を誘発・育成する行政支援

【課題の評価】

評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度 (目標値)
観光まちづくり関連 のデータセット件数	件	—	—	—	—	—	20
達成状況		今後の予定					
F		観光に関するデータを取りまとめ、集約していく。					
評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度 (目標値)
観光まちづくり関連 イベント実施回数	回	6	6	7	7	0	10
達成状況		今後の予定					
E		聖徳太子没後 1400 年に向けてのイベントについて計画する。					
評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度 (目標値)
町外イベントへの参 加回数	回	3	3	10	22	0	6
達成状況		今後の予定					
E		聖徳太子没後 1400 年を見据えて、広域的に発信できるイベントには積極的に参加していく。					

【施策／メニューの評価】

施策	1. 観光まちづくり分野の民間収益事業を誘発するソフト支援を充実します			評価	A
メニュー		進捗状況	今後の方針	成果	
①観光まちづくりの推進を支援する助成制度の創設を検討します		5	継続	空き家を活用した飲食店舗開業補助制度を創設した。	
②民間事業者の地域連携イベントの支援策を検討します		5	継続	上ノ太子観光みかん園と協働し、町外で観光PRを実施した。	
施策	2. 広域連携・地域連携を強化します			評価	C
メニュー		進捗状況	今後の方針	成果	
①広域連携・地域連携イベント・事業の企画・実施を推進します		4	継続	新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントの実施はできなかったが、華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会、竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会において、関連市町村と連携している。また、奈良県の聖徳太子没後1400年プロジェクトに参画し、事業の周知をしている。	
②広域イベントへの参加・PRを推進します		3	継続	新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントの実施がなかった。	
施策	3. 観光まちづくり関連データを収集・分析・公開します			評価	D
メニュー		進捗状況	今後の方針	成果	
①定期的なマーケティングリサーチの実施を検討します【重点】		3	継続	平成29年度に華やいで大阪でマーケティングリサーチを実施したが、その他に実施の検討に至っていない。	
②観光まちづくり関連の調査分析データの公開に努めます		1	継続	調査結果の公開に至っていない。	

【総評】

■ 今年度の成果

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、例年のように、華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会、竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会において、関連市町村と連携して事業を実施したり、太子町観光・まちづくり協会と連携して近隣市町村のイベント等に参加したりすることができませんでした。
- 民間事業者（上ノ太子観光みかん園）と協働して、特産品であるみかんを活用したシティプロモーションを実施しました。
- 空き家を活用した飲食店舗開業補助制度を継続して実施しました。

■ 今後の課題

- PDCA サイクルを回しながら観光まちづくりを推進していくため、観光まちづくりに関連するマーケティングリサーチを実施する必要があります。
- 聖徳太子没後 1400 年事業の実施について、関連市町村・近隣市町村に対して、連携・協働事業を働きかけていく必要があります。

■ 今後の取組み

- 町内外の人に対するマーケティングリサーチの実施を検討します。
- 聖徳太子没後 1400 年の一環として、町内での関連イベントを開催するため、関連市町村・近隣市町村に対して参加を呼び掛けるとともに、連携・協働を働きかけます。

(6) 重点メニュー

■ 重点メニュー1 | 聖徳太子没後 1400 年関連事業を検討します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度 (目標値)
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」 関連ボランティア数	人	-	-	-	807	0	500
達成状況		今後の予定					
E		聖徳太子没後 1400 年の節目の年として、事業に関心をもってもらえるよう働きかける。					
評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度 (目標値)
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」 関連イベント来場者 数(再掲)	人	200,000	-	-	15,346	0	200,000
達成状況		今後の予定					
E		聖徳太子没後 1400 年の節目の年として、事業に関心をもってもらえるよう働きかける。					
評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度 (目標値)
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」 関連のパブリシティ 数	件	-	-	1	1	4	20
達成状況		今後の予定					
E		メディアへの情報発信も含めて進めていく。					

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」に向けた勉強会の開催を検討します	5	完了	平成 31 年 3 月 16 日に 聖徳太子没後 1400 年記念講演会を実施。 令和 2 年度は町内で連続歴史講座を実施。(全 5 回)
(仮称) 聖徳太子没後 1400 年関連事業実行委員会の設置を検討します	5	完了	聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会設置

「聖徳太子没後 1400 年関連事業」事業計画の策定を検討します	5	完了	聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会にて検討した
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」のプログラムの公募を検討します	5	完了	聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会にて検討した。
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」チームプロジェクトの実施を検討します	5	完了	庁内ワーキンググループを設置し、事業案を町長に提出した。

■ 重点メニュー 2 | 「竹内街道」等の日本遺産認定をめざします

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度 (目標値)
認定された「日本遺産」の件数	件	0	1	1	1	1	2
達成状況	今後の予定						
C	竹内街道が日本遺産に認定されたが、ほかの案件についても検討していく。「葛城修験」が令和 2 年度に認定されたことについて、追加参加できないか検討する。						
評価指標	単位	H28 年度 (基準値)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度 (目標値)
「日本遺産」関連パブリシティ数	件	0	1	8	3	0	2
達成状況	今後の予定						
E	日本遺産として知名度が上がるように積極的に発信していく。						

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
認定推進組織の活動を積極的に推進します	5	継続	平成 29 年 3 月に竹内街道・横大路（大道）が日本遺産に認定され、本町は日本遺産事業事務局として事業を推進した。
日本遺産を活かした観光まちづくりの取組みを推進します	4	継続	竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会の取組を中心に観光まちづくりの取組を推進していく。

■ 重点メニュー3 | 太子町観光まちづくりネットワークの設立に向けた取組みを推進します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
太子町観光まちづくりネットワーク登録団体数(再掲)	団体	-	-	-	13	13	20
達成状況		今後の予定					
C		聖徳太子没後1400年記念実行委員会の取組みを推進する。					
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
コラボレーションプロジェクト実施件数	件	-	0	0	6	0	10
達成状況		今後の予定					
E		ポストコロナを見据えた、新たなイベント展開を検討する。					

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
太子町観光まちづくりネットワークの登録制度の整備を検討します	5	継続	聖徳太子没後1400年記念実行委員会を創設し、事業を進めている。
観光まちづくり講座の開講を検討します	5	継続	平成29年度には空家の利活用について、リノベーションまちづくりセミナーを開催した。 平成31年3月16日に聖徳太子没後1400年記念講演会を実施。 平成31年度は町内向けガイドウォークを実施(全5回) 令和2年度は町内で連続歴史講座を実施。(全5回)
コラボレーションプロジェクトを検討します	4	継続	聖徳太子没後1400年記念実行委員会を創設し、事業を進めている。

■ 重点メニュー4 | 観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等の主催イベントの参加者数(総計)	人	887	567	755	807	0	1400
達成状況		今後の予定					
E		聖徳太子没後1400年の節目の年として、広くボランティアを募集し、イベントの盛り上げに繋げる。					
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等のHPの年間ユニークユーザー数(再掲)	人	-	37,738	23,364	38,646	38,059	36,500
達成状況		今後の予定					
A		聖徳太子没後1400年事業など、様々な情報を発信し、一人でも多くの人に見てもらえるようにする。					
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等の自主事業数	回	4	4	4	4	4	8
達成状況		今後の予定					
C		勉強会やワークショップなどを通じて人材育成につなげる取り組みも検討。					

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
支援する観光まちづくり団体等を選定します	5	継続	観光まちづくり団体を支援している。
観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します	5	継続	太子町観光・まちづくり協会の経営戦略を強化するため、人員の支援について検討した。

■ 重点メニュー5 | 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアルを検討します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の年間販売額	万円	6,967	6,494	6,071	5,895	5,763	7,700
達成状況		今後の予定					
C		道の駅の活用について運営協議会に提案しながら、販売額が増加するように展開していく。					
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
「竹内街道歴史資料館」の年間来訪者数	人	5,596	5,015	5,382	4,551	2,775	6,000
達成状況		今後の予定					
D		日本遺産に認定された竹内街道についての資料館であることをPRし、日本遺産の認知度向上を図る。					
評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
「竹内街道交流館」の年間来訪者数	人	871	1,440	1,640	1,686	1,258	1,000
達成状況		今後の予定					
A		引き続き通年の土日祝の開館を継続し、竹内街道の魅力について発信していく。					

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
(仮称) 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」再整備検討委員会の設置を検討します	2	継続	道の駅運営協議会と運営方法について意見交換を実施した。
「道の駅『近つ飛鳥の里・太子』再整備計画」の策定を検討します	2	継続	道の駅運営協議会と運営方法について意見交換を実施した。

■ 重点メニュー6 | サイン計画の策定を検討します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
看板等の多言語対応率	%	0	0	0	0	42	50
達成状況		今後の予定					
B		サインの多言語化を進めていく。					

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
「太子町サイン計画」の策定を検討します	5	継続	サインについて検討し、叡福寺を中心としたエリアを整備した。
統一的なサインを町内の観光スポットを中心に順次設置します	5	継続	サインのデザインを統一した。

■ 重点メニュー7 | 定期的なマーケティングリサーチの実施を検討します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28年度 (基準値)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (目標値)
観光まちづくり関連のデータセット件数	件	—	—	—	—	—	20
達成状況		今後の予定					
F		観光に関するデータを取りまとめ、集約していく。					

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
住民アンケート調査の実施を検討します	5	継続	第五次総合計画の後期基本計画に向けてのアンケート調査を実施した。
町外在住者を対象とするインターネット	1	継続	アンケート実施の検討に至っ

トアンケート調査等の実施を検討します			ていない。
来訪者アンケート調査の実施を検討します	5	継続	竹内街道交流館において来訪者アンケートを実施している。
観光まちづくり関連施設等の実態・実績把握に努めます	4	継続	竹内街道歴史資料館、竹内街道交流館については入館者数や属性を把握している。

【総評】

■ 今年度の成果

- 聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会事業として、全 5 回の連続歴史講座を実施し、機運醸成に向けた取組みを着実に積み上げました。
- 太子町観光・まちづくり協会のホームページのユニークユーザー数が目標値を超えました。
- 統一したデザインの多言語化サインを設置しました。

■ 今後の課題

- 聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会で実施する事業のほか、観光まちづくり団体や事業者等の自主事業の支援やコラボレーションプロジェクトの実施に向けた検討を進めていく必要があります。
- 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の営業や既存イベント、竹内街道歴史資料館など、取組みを続けているものの、集客・消費に結びついていない取組み・事業を改善していく必要があります。
- サインの多言語化をさらに重質させるとともに、無線 LAN 環境の整備など、訪日外国人の受入環境の整備を図る必要があります。
- PDCA サイクルを回しながら観光まちづくりを推進していくため、観光まちづくりに関連するマーケティングリサーチを実施する必要があります。

■ 今後の取組み

- 聖徳太子没後 1400 年事業を実施します。
- 農業法人の設立や特産品の六次産業化・ブランド化に向けた検討を進めます。
- 多言語対応したサインの整備を進めます。
- 聖徳太子没後 1400 年の節目の年として、町内外の人に対するマーケティングリサーチの実施を検討します。

太子町観光まちづくりビジョン
令和3年度 評価について

令和5年（2023年）3月

太子町

目次 | INEDX

評価委員の意見と助言

京都外国語大学 教授 吉兼 秀夫

p.01 1. 太子町観光まちづくりビジョンの評価について

p.01 (1) 評価の目的

p.01 (2) 評価の概要

p.04 2. 評価結果の総括

p.04 (1) 課題の評価結果の総括

p.04 (2) 施策の評価結果の総括

p.05 (3) メニューの評価結果の総括

p.05 (4) 重点メニューの評価結果の総括

p.06 (5) 重点メニューの主な取組みの評価結果の総括

p.12 3. 評価結果

p.12 (1) I. 誇りや愛着の醸成

p.15 (2) II. 特産品の生産能力低下の抑制

p.18 (3) III. 観光まちづくりコンテンツのブラッシュアップ

p.22 (4) IV. 戦略的なコミュニケーションの展開

p.26 (5) V. 観光まちづくり事業を誘発・育成する行政支援

p.29 (6) 重点メニュー

1. 太子町観光まちづくりビジョンの評価について

(1) 評価の目的

本町では平成 29 年（2017 年）3 月に「太子町観光まちづくりビジョン」（以下、ビジョン）を策定しましたが、ビジョンでは、学識経験者や観光まちづくりに関する専門家等の第三者を交えて、年 1 回、ビジョンの評価を行い、取組みの改善を図っていくこととしています。

評価の目的は、次の通りです。

■ ビジョンの適切な進行管理

ビジョンでは将来像を「近つ飛鳥の里の魅力を伝える聖徳太子のまち“たいし”～我が宝は和が宝～」と定め、その実現に向けて、5 つの課題に対し、16 の施策とそれに紐づく 51 のメニューを掲げています。それらの施策やメニューを適切に進行しているかどうかを管理します。

■ 現状把握と課題の整理

ビジョンを推進するには、町のみならず、住民や事業者、住民団体等をはじめ、太子町に関心のある人などとの連携や協働が欠かせません。評価を行うことによって、ビジョンの推進状況を把握するとともに推進に関する課題を整理し、その結果をビジョンの推進に関わる利害関係者にフィードバックすることで、次年度以降の事業や取組み内容の改善に役立てます。

(2) 評価の概要

評価の概要は次の通りです。

■ 評価の対象

評価の対象は、ビジョンに掲げられている全ての課題、施策、メニュー（重点メニュー、重点メニューの主な取組みを含む）です。

■ 評価の対象年度

評価の対象年度は、令和 3 年度（2021 年度）です。

■ 評価の手法

【メニュー／重点メニューの主な取組みの評価】

ビジョンの51メニューと重点メニューにおいて「主な取組み」として設定されている取組みについては同じ手法で評価を行います。

まず「進捗状況」を5（順調に進んでいる）～1（まったくできていない）の5段階で評価者が主観的に評価します。そして、それぞれのメニューについて、完了～その他の6つの中から「今後の方針」を選択した上で、「成果」を自由記述します。

「進捗状況」

評価区分	評価基準
5	順調に進んでいる
4	概ね順調に進んでいる
3	やや進捗が遅れている
2	進捗が遅れている
1	まったくできていない

「今後の方針」

今後の方針	評価基準
完了	取組みが完了
継続	現状の取組みを継続的に行う
拡充し、継続	現状の取組みを拡充した上で、継続的に行う
縮小し、継続	現状の取組みを縮小した上で、継続的に行う
廃止・凍結	取組みを廃止・凍結する
その他	上記以外の方針

【課題／重点メニューの評価】

ビジョンでは、施策の柱として「課題」が定められており、51メニュー中7つを「重点メニュー」として設定しています。「課題」と「重点メニュー」には、評価指標をそれぞれ設けてあるため、同じ手法で評価を行います。

評価は、評価指標に基づき、目標値（令和3年度）に対する「達成状況」に応じて、A（目標値に対して、90%以上の達成状況）～F（調査等が未実施のため、達成状況が不明）の6段階で客観的に評価を行います。加えて、「今後の予定」を自由記述します。

「達成状況」

評価区分	評価基準
A	目標値に対して、90%以上の達成状況
B	目標値に対して、75%以上の達成状況
C	目標値に対して、50%以上の達成状況
D	目標値に対して、25%以上の達成状況
E	目標値に対して、25%以下の達成状況
F	調査等が未実施のため、達成状況が不明

【施策の評価】

施策の評価は、施策に紐づくメニューの「進捗状況」から平均値を算定し、平均値に応じて A（平均値が 4.5 以上）～E（平均値が 1.25 以下）の 5 段階で評価します。

【評価】

評価区分	評価基準
A	紐づくメニューの平均値が 4.5 以上
B	紐づくメニュー平均値が 3.75 以上
C	紐づくメニュー平均値が 2.5 以上
D	紐づくメニュー平均値が 1.25 以上
E	紐づくメニュー平均値が 1.25 以下

【総評】

「課題の評価」「施策／メニューの評価」を踏まえ、総評として課題ごとに「今年度の課題に対する成果」「今後の課題」「今後の取組み」について、自由記述します。

同様に、「重点メニューの評価」「重点メニューの主な取組みの評価」を踏まえ、総評として重点メニューに関する「今年度の課題に対する成果」「今後の課題」「今後の取組み」について、まとめて自由記述します。

【太子町観光まちづくりビジョン評価会議】

第三者を交えた「太子町観光まちづくりビジョン評価会議」を開催し、評価・改善についての検討を行い、「太子町観光まちづくりビジョン 令和 3 年度 評価について」を取りまとめます。

2. 評価結果の総括

(1) 課題の評価結果の総括

A	B	C	D	E	F	計
3 (17.6%)	2 (11.8%)	4 (23.5%)	1 (5.9%)	5 (29.4%)	2 (11.8%)	17

ビジョンの5つの課題に対して設定されている17の評価指標の評価(達成状況)は、A(目標値に対して、90%以上の達成状況)が3つ(17.6%)、B(目標値に対して、75%以上の達成状況)が2つ(11.8%)で、75%以上の達成状況となっているものは合わせて5つ(29.4%)という状況でした。

F(調査等が未実施のため、達成状況が不明)が2つ(11.8%)あり、次年度以降は調査を実施するなど、観光まちづくりビジョン後期に引き継ぎます。また、令和3年度はビジョン(前期)の最終年度にあたり、今回の結果を参考にしながら、既に策定したビジョン(後期)の達成に向けて取組んでいきます。

(2) 施策の評価結果の総括

A	B	C	D	E	計
8 (50.0%)	2 (12.5%)	4 (25.0%)	2 (12.5%)	0 (0.0%)	16

ビジョンの16施策の評価は、A(紐づくメニューの評価の平均値が4.5以上)が8施策(50.0%)、B(紐づくメニューの平均値が3.75以上)が2施策(12.5%)、C(紐づくメニューの平均値が2.5以上)が4施策(25.0%)、D(紐づくメニューの平均値が1.25以上)が2施策(12.5%)でした。E(紐づくメニューの平均値が1.25以下)はありませんでした。

目標年度の令和3年(2021年)となり、AとBを合わせて10(62.5%)となり、取組みが進んだことが分かります。しかしながら、CとDを合わせて6(37.5%)については達成することができませんでした。

(3) メニューの評価結果の総括

5	4	3	2	1	計
30 (58.9%)	7 (13.7%)	9 (17.6%)	1 (2.0%)	4 (7.8%)	51

ビジョンの51メニューの評価は、5（順調に進んでいる）が30メニュー（58.9%）、4（概ね順調に進んでいる）が7メニュー（13.7%）で、合わせて37メニュー（72.5%）は順調に進めることができました。

一方、3（やや進捗が遅れている）が9メニュー（17.6%）、2（進捗が遅れている）が1メニュー（2.0%）と進捗が遅れてしまっているメニューが合わせて10メニュー（19.6%）あり、加えて、1（まったくできていない）も4メニュー（7.8%）ありました。

目標年度の令和3年（2021年）は、聖徳太子没後1400年という節目にあたり、メニューを実施することができました。町内外の観光まちづくり団体や事業者等とも連携・協働を図りつつ、順調に進めることができたものについては、今後もビジョン（後期）を基に継続して取組みを進めます。

(4) 重点メニューの評価結果の総括

A	B	C	D	E	F	計
5 (33.4%)	1 (6.7%)	4 (26.6%)	0 (0%)	4 (26.6%)	1 (6.7%)	15

ビジョンの7つの重点メニューに対して設定されている15の評価指標の評価（達成状況）は、A（目標値に対して、90%以上の達成状況）とB（目標値に対して、75%以上の達成状況）とC（目標値に対して、50%以上の達成状況）を合わせると10（66.6%）という状況でした。

一方でE（目標値に対して、25%以下の達成状況）は4つ（26.6%）あり、また、F（調査等が未実施のため、達成状況が不明）が1つ（6.7%）ありました。

(5) 重点メニューの主な取組みの評価結果の総括

5	4	3	2	1	計
18 (90.0%)	1 (5.0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (5.0%)	20

ビジョンの20の重点メニューの主な取組みの進捗状況（評価）は、5（順調に進んでいる）が18個（90.0%）で、1（概ね順調に進んでいる）が1つ（5.0%）で、合わせて19の重点メニュー（95.0%）は順調に進めることができました。一方、1（まったくできていない）は1つ（5.0%）でした。

目標年度の令和3年（2021年）は、聖徳太子没後1400年という節目であり、町内外の観光まちづくり団体や事業者等とも連携・協働を図りつつ、順調に進めることができました。

「Ⅰ. 誇りや愛着の醸成」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
太子町に住み続けたい住民の割合（シビックプライド）	C	12
大阪府アドプト・プログラム参加団体数	B	12
太子町アドプト・プログラム参加団体数	C	12
施策	評価	ページ
1. 地域に対する誇りや愛着を醸成します	B	13
2. 住民が主体的に連携・協力する観光まちづくりを推進します	A	13
メニュー	評価	ページ
1-①小・中学校で近つ飛鳥の里の歴史を知り、地域理解を促進します	4	13
1-②広報「太子」にて太子町の観光スポットを紹介するコーナーを設けます	5	13
1-③アドプト・プログラムを推進します	4	13
1-④太子町おもてなし作戦を推進します	2	13
1-⑤竹内街道の景観保護を推進します	5	13
1-⑥遣使の任命活動を推進します	5	13
1-⑦ふるさと納税を活用します	5	13
2-①住民主体で作成する観光まちづくりガイドブックづくりを推進します	5	13
2-②聖徳太子没後 1400 年関連事業を検討します【重点】	5	13

「Ⅱ. 特産品の生産能力低下の抑制」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
ぶどうの栽培面積	C	15
みかんの栽培面積	F	15
農家数	B	15
遊休農地面積	E	15
体験型企画の受入農家数	D	15
施策	評価	ページ
1. 特産品の生産支援を行います	D	16
2. 特産品の販売・加工品開発支援を行います	C	16
3. 遊休農地を活用促進します	C	16
メニュー	評価	ページ
1-①農業法人設立を促進します	1	16
1-②援農隊の利用拡大を促進します	3	16
1-③就農支援に向けた取組みを検討します	3	16
2-①特産品の六次産業化・ブランド化を推進します	5	16
2-②地元食材の学校給食等への利用の充実をめざします	3	16
2-③体験型企画の受入環境の整備を検討します	3	16

3-①遊休農地の利活用を推進します	3	16
3-②市民農園の利用拡大を促進します	3	16

「Ⅲ. 観光まちづくりコンテンツのブラッシュアップ」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
太子町観光まちづくりネットワーク登録団体数	C	18
観光まちづくりのための空き家の利活用数	E	18
施策	評価	ページ
1. 観光まちづくりに関わる人材・組織のネットワークの連携強化を行います	C	18
2. 観光まちづくりに関わる人材を発掘・育成します	A	19
3. 観光まちづくりを牽引する企画力・機動力を備えた組織を形成します	C	19
4. 既存資源を活かした観光まちづくりコンテンツを開発します	A	19
5. “地”を活かした新たな観光まちづくり資源を発掘・活用します	B	20
メニュー	評価	ページ
1-①「竹内街道」等の日本遺産認定をめざします【重点】	5	18
1-②太子町観光まちづくりネットワークの設立に向けた取組みを推進【重点】	5	18
1-③地域連携 DMO について検討します	1	18
2-①観光まちづくりガイド・サポーター養成講座の開講を検討します	5	19
2-②職員対象の観光まちづくり勉強会の開催を検討します	5	19
3-①観光まちづくり団体等への人的支援策を検討します	5	19
3-②観光まちづくり団体等の法人化に向けた取組みの支援策を検討します	3	19
3-③観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します【重点】	3	19
4-①日帰り観光ルート（プラン）の認定に向けた取組みを推進します	5	19
4-②観光まちづくりガイド・サポーターの活動の支援策を検討します	5	19
4-③二上山のブランディングを推進します	4	19
4-④既存イベントのリニューアル等を促進します	4	19
5-①大道旧山本家住宅の利用を促進します	5	20
5-②空き家の利活用を推進します	4	20
5-③フルーツラン・ライドイベントの開催に向けた取組みを推進します	5	20
5-④ワインツーリズムを推進します	1	20

「Ⅳ. 戦略的なコミュニケーションの展開」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
観光まちづくり団体等の HP の年間ユニークユーザー数	A	22
観光まちづくり団体等のコミュニケーション活動件数	E	22

パブリシティ数（総数）	A	22
看板等の多言語対応率	A	22
施策	評価	ページ
1. 観光まちづくりの拠点を整備します	A	23
2. ターゲットを絞った効果的なコミュニケーションを展開します	A	23
3. パブリシティの獲得を狙った戦略的な広報活動を推進します	A	24
メニュー	評価	ページ
1-①古民家の活用を検討します	4	23
1-②竹内街道交流館等の既存施設の活用を検討します	5	23
1-③道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアルを検討します【重点】	5	23
2-①太子町観光まちづくりのロゴ、キャッチコピーの制作に向けた取組みを推進します	5	23
2-②シティプロモーションを推進します	5	23
2-③HP等でターゲット別の観光まちづくり情報を紹介するための取組みを推進します	5	23
2-④定住・セカンドハウス促進プロモーションを推進します	4	23
2-⑤サイン計画の策定を検討します【重点】	5	24
2-⑥訪日外国人旅行者の受入環境整備を推進します	5	24
3-①メディア・リレーションズを推進します	5	24
3-②民間事業者の観光キャンペーンに取り上げてもらえるよう努めます	5	24
3-③ウェブ上で太子町の情報が拡散するよう努めます	5	24

「V. 観光まちづくり事業を誘発・育成する行政支援」の評価結果一覧

課題の評価指標	達成状況	ページ
観光まちづくり関連のデータセット件数	F	26
観光まちづくり関連イベント実施回数	E	26
町外イベントへの参加回数	E	26
施策	評価	ページ
1. 観光まちづくり分野の民間収益事業を誘発するソフト支援を充実します	A	27
2. 広域連携・地域連携を強化します	A	27
3. 観光まちづくり関連データを収集・分析・公開します	D	27
メニュー	評価	ページ
1-①観光まちづくりの推進を支援する女性制度の創設を検討します	5	27
1-②民間事業者の地域連携イベントの支援策を検討します	5	27
2-①広域連携・地域連携イベント・事業の企画・実施を推進します	5	27
2-②広域イベントへの参加・PRを推進します	5	27
3-①定期的なマーケティングリサーチの実施を検討します【重点】	3	27
3-②観光まちづくり関連の調査分析データの公開に努めます	1	27

「重点メニュー1 | 聖徳太子没後 1400 年関連事業を検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連ボランティア数	E	29
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連イベント来場者数	E	29
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連のパブリシティ数	C	29
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」に向けた勉強会の開催を検討します	5	30
(仮称) 聖徳太子没後 1400 年関連事業実行委員会の設置を検討します	5	30
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」事業計画の策定を検討します	5	30
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」のプログラムの公募を検討します	5	30
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」チームプロジェクトの実施を検討します	5	30

「重点メニュー2 | 「竹内街道」等の日本遺産認定をめざします」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
認定された「日本遺産」の件数	A	30
「日本遺産」関連パブリシティ数	A	30
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
認定推進組織の活動を積極的に推進します	5	31
日本遺産を活かした観光まちづくりの取組みを推進します	5	31

「重点メニュー3 | 太子町観光まちづくりネットワークの設立に向けた取組みを推進します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
太子町観光まちづくりネットワーク登録団体数	C	31
コラボレーションプロジェクト実施件数	E	31
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
太子町観光まちづくりネットワークの登録制度の整備を検討します	5	32
観光まちづくり講座の開講を検討します	5	32
コラボレーションプロジェクトを検討します	5	32

「重点メニュー4 | 観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
観光まちづくり団体等の主催イベントの参加者数（総計）	E	33
観光まちづくり団体等のHPの年間ユニークユーザー数	A	33
観光まちづくり団体等の自主事業数	C	33
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
支援する観光まちづくり団体等を選定します	5	33
観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します	5	33

「重点メニュー5 | 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアルを検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の年間販売額	B	33
「竹内街道歴史資料館」の年間来訪者数	C	34
「竹内街道交流館」の年間来訪者数	A	34
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
（仮称）道の駅「近つ飛鳥の里・太子」再整備検討委員会の設置を検討します	5	34
「道の駅『近つ飛鳥の里・太子』再整備計画」の策定を検討します	5	34

「重点メニュー6 | サイン計画の策定を検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
看板の多言語対応率	A	34
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
「太子町サイン計画」の策定を検討します	5	35
統一的なサインを町内の観光スポットを中心に順次設置します	5	35

「重点メニュー7 | 定期的なマーケティングリサーチの実施を検討します」の評価結果一覧

重点メニューの評価指標	達成状況	ページ
観光まちづくり関連のデータセット件数	F	35
重点メニューの主な取組み	評価	ページ
住民アンケート調査の実施を検討します	5	35
町外在住者を対象とするインターネットアンケート調査等の実施を検討します	1	35
来訪者アンケート調査の実施を検討します	5	35
観光まちづくり関連施設等の実態・実績把握に努めます	4	35

3. 評価結果

(1) 1. 誇りや愛着の醸成

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年 (目標値)
太子町に住み続けたい住民の割合(シビックプライド)	%	71.4	-	-	-	58.4	-	80.0
達成状況	今後の予定							
C	今後、住民アンケート、あるいはそれに代わるものとして数値の把握を行う。太子町に住み続けたい・住み続けたくない理由を浮き彫りにするような質問を盛り込み、数値の上昇を目指す。							
評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年 (目標値)
大阪府アドプト・プログラム参加団体数	団体	4	4	4	4	4	4	5
達成状況	今後の予定							
B	現状の参加団体については、活動の継続を推進していく。 新規参加団体については、地域に対する愛情を醸成し、積極的に募集する。							
評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年 (目標値)
太子町アドプト・プログラム参加団体数	団体	3	3	3	3	3	3	5
達成状況	今後の予定							
C	現状の参加団体については、活動の継続を推進していく。 新規参加団体については、地域に対する愛情を醸成し、積極的に募集する。							

【施策／メニューの評価】

施策	1. 地域に対する誇りや愛着を醸成します		評価	B
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果	
①小・中学校で近つ飛鳥の里の歴史を知り、地域理解を促進します	4	継続	町内の小学5年生の竹内街道についての認知度：68% 竹内街道が日本遺産であることの認知度：60%	
②広報「太子」にて太子町の観光スポットを紹介するコーナーを設けます	5	継続	平成29年度に竹内街道を紹介する記事を掲載した。令和2年度から聖徳太子没後1400年に関する記事を連載した。 令和3年度には「太子TV」にて、周遊に関するコーナーを放送している。	
③アドプト・プログラムを推進します	4	継続	大阪府・太子町アドプト・プログラムを推進している。	
④太子町おもてなし作戦を推進します	2	継続	事業として展開していない。例年クリーンキャンペーンとしての清掃活動の取組はある。	
⑤竹内街道の景観保護を推進します	5	継続	景観計画について竹内街道沿道の区域を追加した。	
⑥遣使の任命活動を推進します	5	継続	聖徳太子没後1400年に関する名刺デザインを作成し、町のPRを実施した。	
⑦ふるさと納税を活用します	5	継続	聖徳太子没後1400年実行委員会の事業として、聖徳太子像の制作についてクラウドファンディングを実施した。	
施策	2. 住民が主体的に連携・協力する観光まちづくりを推進します		評価	A
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果	
①住民主体で作成する観光まちづくりガイドブックづくりを推進します	5	完了	地元の観光事業を掲載してのパンフレットを作成した。町内で取得できるだけでなく、大阪市内の宿泊施設などにも配架した。	
②聖徳太子没後1400年関連事業を検討します【重点】	5	完了	聖徳太子没後1400年事業を実施した。聖徳太子像を建立するなど、実行委員会が中心となり事業を実施した。	

【総評】

■ 今年度の成果

- 町内の小学5年生を対象に行った調査で竹内街道についての認知度が68%、竹内街道が日本遺産であることの認知度が60%という結果が出ており、次世代を担う子どもたちに地域理解が図れています。
- アドプト・プログラムやクリーンキャンペーン、これらの取組みが住民主体の観光まちづくりの素地となっています。
- 聖徳太子没後1400年についての取組みを実施しました。「聖徳太子没後1400年記念実行委員会」を組織し、寄附とクラウドファンディングを活用した聖徳太子像の建立事業をはじめ、シンポジウム、郷土カルタの作成とカルタ大会の開催、ウォークイベントの開催など、様々な事業を実施するとともに町の情報を発信しました。
- 竹内街道沿道の地域を景観区域に追加指定しました。

■ 今後の課題

- 住民の太子町への定住意向や観光まちづくりへの関心等の基礎データを収集・分析する必要があります。
- 継続的に展開している大阪府・太子町アドプト・プログラムやクリーンキャンペーンを発展させるとともに、参加者・参加団体の拡大を図る必要があります。
- 日本遺産に認定された竹内街道について、竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会が主体となって実施してきた文化庁の補助金が終了したので、町としても事業の継続について、今後の取組みの整理が必要です。
- 町外の人に知ってもらうために、観光パンフレットをできるだけ町外に配架できるように関係各所に働きかける必要があります。

■ 今後の取組み

- 住民意向調査やそれに代わる調査等を実施します。
- 聖徳太子没後1400年事業の終了後も取組みが収束しないよう、持続可能な観光PRの方法について検討します。

(2) II. 特産品の生産能力低下の抑制

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年度 (目標値)
ぶどうの栽培面積	ha	40	—	—	—	—	26	42
達成状況	今後の予定							
C	地域の特産品としてのブランド化を強化し、認知度を上げ、価値を向上させる。							
評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年度 (目標値)
みかんの栽培面積	ha	9	—	—	—	—	—	10
達成状況	今後の予定							
F	地域の特産品としてのブランド化を強化し、認知度を上げ、価値を向上させる。							
評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年度 (目標値)
農家数	戸	318	—	—	—	—	286	330
達成状況	今後の予定							
B	地域の特産品としてのブランド化を強化し、認知度を上げ、価値を向上させる。							
評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年度 (目標値)
遊休農地面積	m ²	54,347	47,827	17,273	100,659	93,441	87,900	48,000
達成状況	今後の予定							
E	昨年度と同様に農地パトロールによって、現状の把握を行い、遊休農地の減少に努める。							
評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年度 (目標値)
体験型企画の受入農家数	戸	—	1	1	1	1	1	3
達成状況	今後の予定							
D	道の駅「近つ飛鳥の里・太子」での観光コンテンツとして、運営事業者に提案していく。							

【施策／メニューの評価】

施策	1. 特産品の生産支援を行います			評価	D
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①農業法人設立を促進します	1	継続	取組の促進には至っていない。		
②援農隊の利用拡大を促進します	3	継続	NPO 法人ぶどう塾が活動中。		
③就農支援に向けた取組みを検討します	3	継続	就農支援についての相談窓口を設けている。		

施策	2. 特産品の販売・加工品開発支援を行います			評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①特産品の六次産業化・ブランド化を推進します	5	継続	みかんを取り上げてPRを実施した。 企業と連携して太子町みかんを使ったドリンク開発を行い、令和4年発売予定。		
②地元食材の学校給食等への利用の充実をめざします	3	継続	給食に使用する野菜の一部を道の駅から納入している。		
③体験型企画の受入環境の整備を検討します	3	継続	上ノ太子観光みかん園があるものの、その他の体験施設が整備できていない。		

施策	3. 遊休農地を活用促進します			評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①遊休農地の利活用を推進します	3	継続	みどり公社と情報の共有をしながら進めている。		
②市民農園の利用拡大を促進します	3	継続	4カ所の市民農園紹介先があるが、実際の紹介に至っていない。(山山谷やまざき農園、やまざき山山谷ファーム、北尻1号農園、北尻2号農園)		

【総評】

■ 今年度の成果

- NPO 法人ぶどう塾や就農支援についての相談窓口の設置などの取組みを継続して展開しており、新規就農者の確保に向けた素地となっています。
- 飲料メーカーと協力し、太子町産みかんを使用したドリンク開発を行いました。太子町産みかんについての周知を引き続き実施していきます。

■ 今後の課題

- ぶどうやみかんの栽培面積、農家数等の基礎データを収集・分析する必要があります。
- NPO 法人ぶどう塾や就農支援についての相談窓口の設置などの取組みを発展させ、市民農園や遊休農地の利活用につなげていく必要があります。
- ぶどうやみかんなどの特産品の流通量の増加（既存農家の収益の確保）に向けて、農業法人の設立や特産品の六次産業化・ブランド化に向けた取組みや、地元食材の学校給食等への利用の充実を進める必要があります。

■ 今後の取組み

- 道の駅への地元農産物の出荷量や道の駅との契約農家数など、「農林業センサス」（農林水産省）によらない基礎データの収集・分析を行います。
- みどり公社と情報共有したり、NPO 法人ぶどう塾や就農支援についての相談窓口に来られた人に対して積極的にプロモーションを行うなどしながら、市民農園や遊休農地の利活用を後押しし、新規就農者の確保に努めます。
- 農業法人の設立や特産品の六次産業化・ブランド化に向けた検討を進めます。

(3) III. 観光まちづくりコンテンツのブラッシュアップ

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年度 (目標値)
太子町観光まちづくりネットワーク登録団体数	団体	-	-	-	13	13	13	20
達成状況	今後の予定							
C	太子町観光・まちづくり協会を中心に各団体間の連携を推進する。							
評価指標	単位	H28度 (基準)	H29度	H30度	H31度	R2度	R3年	R3年度 (目標値)
観光まちづくりのための空き家の利活用数	戸	-	0	0	0	0	0	3
達成状況	今後の予定							
E	空家を活用した飲食店補助金制度を実施するなど、空家の利活用を推進する。							

【施策／メニューの評価】

施策	1. 観光まちづくりに関わる人材・組織のネットワークの連携強化を行います	評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果
①「竹内街道」等の日本遺産認定をめざします【重点】	5	完了	平成29年に竹内街道が日本遺産に認定。令和2年に葛城修験が日本遺産に認定され、令和3年に岩屋が構成文化財に追加認定された。
②太子町観光まちづくりネットワークの設立に向けた取組みを推進【重点】	5	完了	聖徳太子没後1400年記念実行委員会を発足させ、事業を実施した。
③地域連携DMOについて検討します	1	継続	地域連携DMOの検討に至っていない。

施策	2. 観光まちづくりに関わる人材を発掘・育成します			評価	A
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①観光まちづくりガイド・サポーター養成講座の開講を検討します	5	継続	【H30年度】町内向けガイドウォークを実施。(全5回)		
②職員対象の観光まちづくり勉強会の開催を検討します	5	完了	【H30年度】聖徳太子没後1400年事業についてのワーキンググループを立ち上げ、事業の検討を行った。		
施策	3. 観光まちづくりを牽引する企画力・機動力を備えた組織を形成します			評価	C
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①観光まちづくり団体等への人的支援策を検討します	5	継続	観光協会に職員を配置し、行政との連携を図る。		
②観光まちづくり団体等の法人化に向けた取組みの支援策を検討します	3	継続	太子町観光・まちづくり協会の法人化について検討している。		
③観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します【重点】	3	継続	太子町観光・まちづくり協会の経営戦略を強化するため、人員の支援について検討した。		
施策	4. 既存資源を活かした観光まちづくりコンテンツを開発します			評価	A
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①日帰り観光ルート(プラン)の認定に向けた取組みを推進します	5	継続	太子町観光・まちづくり協会にてモデルルートを設定して、HPに掲載している。株式会社DIIGと連携協定を締結し、サイクリングコースを設定し、取組みを開始した。		
②観光まちづくりガイド・サポーターの活動の支援策を検討します	5	継続	【H30年度】町内向けガイドウォークを実施。(全5回)		
③二上山のブランディングを推進します	4	継続	ダイヤモンドトレイルを中心に活用している。 令和2年度に葛城修験が日本遺産に認定され、令和3年度に太子町域の岩屋が構成文化財として追加認定された。		
④既存イベントのリニューアル等を促進します	4	継続	聖燈会ではプロジェクションマッピングを導入するなど内容の改善を実施している。		

施策	5.“地”を活かした新たな観光まちづくり資源を発掘・活用します		評価	B
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果	
①大道旧山本家住宅の利用を促進します	5	継続	町内の使われなくなった雛人形を集め、大道旧山本家住宅で雛人形展を開催した。	
②空き家の利活用を推進します	4	継続	空き家を活用した飲食店舗開業補助制度を推進している。	
③フルーツラン・ライドイベントの開催に向けた取組みを推進します	5	継続	大阪府が実施した南河内フルーツロードを活用した取組みに参加した。 株式会社 DIIG と連携協定を締結し、サイクリングコースを設定し、取組みを開始した。	
④ワインツーリズムを推進します	1	継続	取組の検討に至っていない。	

【総評】

■ 今年度の成果

- 太子町観光・まちづくり協会に町の職員を配置するなど、行政との連携がこれまで以上にきめ細やかに行えるようになり、加えて、法人化に向けての検討が始まるなど、取組みが進んでいます。
- 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で「太子聖燈会」や「竹内街道灯路祭り」といった町を代表するイベントが中止となりましたが、平成31年度に太子聖燈会を開催した際にはでプロジェクションマッピングの実施や灯ろうのLED化や、平成30年度には竹内街道灯路祭りで動くスランプラリーを実施したりと、改善を繰り返しながら、イベントとしてのクオリティの向上が図れています。
- 民間との連携を意識し、サイクリングを活用した周遊ルートを設定しました。
- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」を継続し、飲食店の誘致するなど来訪者の満足度向上に向けて取り組んでいます。

■ 今後の課題

- 地域連携 DMO については、設立を検討する場合、隣接する市町村や町内外の観光まちづくり団体や事業者等と検討を進める必要があります。
- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」の利用を促すよう、制度の認知の拡大を図る必要があります。
- 持続可能な観光 PR について検討していく必要があります。

■ 今後の取組み

- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」の利用を促すよう、制度の認知の拡大を図るため、様々な機会を捉えて、制度のプロモーション活動や利用者の確保に向けた活動を推進します。
- 来訪者に対して、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、安心安全に周遊いただけるよう努めます。
- 聖徳太子没後1400年以降も継続して、本町に多くの来訪者に来てもらえるよう、太子町観光まちづくりビジョン（後期）を基に取組みを進めます。

(4) IV. 戦略的なコミュニケーションの展開

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等のHPの年間ユーザー数	人	-	37,738	23,364	38,646	38,059	49,400	36,500
達成状況	今後の予定							
A	聖燈会や竹内街道灯路祭りなど、様々な情報を発信し、一人でも多くの人に見てもらえるようにする。							
評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年度 (目標値)
観光まちづくり団体等のコミュニケーション活動件数	件	500	811	745	533	202	180	1,000
達成状況	今後の予定							
E	イベントのお知らせなどにとどまらず、日々の様々な内容を発信し、発信数だけでなく、フォロワー数も確保していく。							
評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年度 (目標値)
パブリシティ数(総数)	件	3	6	14	17	26	42	30
達成状況	今後の予定							
A	メディアに取り上げてもらえるように、直接働きかけることも検討。							
評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年度 (目標値)
看板等の多言語対応率	%	0	0	0	0	42	79	50.0
達成状況	今後の予定							
A	多言語対応看板の設置を進めていく。							

【施策／メニューの評価】

施策	1. 観光まちづくりの拠点を整備します			評価	A
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①古民家の活用を検討します	4	継続	空き家を活用した飲食店開業補助金を平成31年度より実施している。		
②竹内街道交流館等の既存施設の活用を検討します	5	継続	令和3年1月より太子町観光・まちづくり協会の事務所として活用している。		
③道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアルを検討します【重点】	5	継続	大阪府と協議し、トイレを一部洋式化した。また、大阪府の制度を活用し、猛暑対策事業を実施し、ミスト設備を設置した。道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の運営事業者を次年度以降公募することが決定した。		
施策	2. ターゲットを絞った効果的なコミュニケーションを展開します			評価	A
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①太子町観光まちづくりのロゴ、キャッチコピーの制作に向けた取組みを推進します	5	完了	聖徳太子没後1400年事業として、ロゴ、キャッチコピーを設定し、太子町で使用する封筒など各所で使用した。		
②シティプロモーションを推進します	5	継続	特産品であるみかんを使って町外に向けてのプロモーションを行った。		
③HP等でターゲット別の観光まちづくり情報を紹介するための取組みを推進します	5	継続	太子町観光・まちづくり協会のHPをスマホ対応にし、観光情報を掲載している。また、来訪者の利便性向上のため、観光アプリを作成した。		
④定住・セカンドハウス促進プロモーションを推進します	4	継続	三世同居・近居支援補助について、ホームページにて周知した。		

⑤サイン計画の策定を検討します【重点】	5	継続	サインの位置や多言語化について検討し、整備した。
⑥訪日外国人旅行者の受入環境整備を推進します	5	継続	パンフレットを刷新し、日本語版の他に英語版を作成した。サインの多言語化を実施した。
施策	3. パブリシティの獲得を狙った戦略的な広報活動を推進します		評価 A
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果
①メディア・リレーションズを推進します	5	継続	聖徳太子没後 1400 年事業を中心に記者クラブへ積極的に記事を提供し、新聞記事への掲載数が増加した。
②民間事業者の観光キャンペーンに取り上げてもらえるよう努めます	5	継続	聖徳太子没後 1400 年関係のイベントに参加した。
③ウェブ上で太子町の情報が拡散するよう努めます	5	継続	観光協会によって FB、ツイッターを配信している。 観光アプリを作成し、運用を開始した。

【総評】

■ 今年度の成果

- 申請はありませんでしたが、「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」を継続して受け付けました。来年度以降も申請を受け付ける方針です。
- 太子町観光・まちづくり協会が SNS（Facebook、Instagram、twitter、ブログ）やウェブサイトでの情報発信を継続的に実施しています。
- 太子町観光・まちづくり協会ホームページのユニークユーザー数が目標値を超えました。
- 聖徳太子没後 1400 年事業の中で、ロゴやキャッチコピーを使い PR に努めました。
- 町内の観光案内板の整備をしました。デザインの統一と多言語化を進めました。
- 聖徳太子没後 1400 年事業を中心にメディアへの記事投稿等も実施し、太子町が新聞などに取り上げられる機会が増えました。

■ 今後の課題

- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」の利用を促すよう、制度の認知の拡大を図る必要があります。
- 太子町観光・まちづくり協会が SNS（Facebook、Instagram、twitter、ブログ）の活動件数の増加を図り、太子町の情報を拡散していく必要があります。
- 聖徳太子没後 1400 年記念事業を実施し、サインを多言語化するなど取組みを進めましたが、コロナ収束後に訪日外国人の受入環境の整備を図るとともに、メディアに取り上げてもらえるような働きかけをしていく必要があります。

■ 今後の取組み

- 「空き家を活用した飲食店舗開業補助制度」の利用を促すよう、制度の認知の拡大を図るため、様々な機会を捉えて、制度のプロモーション活動や利用者の確保に向けた活動を推進します
- 聖徳太子没後 1400 年に関連する情報を SNS（Facebook、Instagram、twitter、ブログ）で積極的に発信することでコミュニケーション活動件数を増加させます。
- 聖徳太子没後 1400 年に向けた機運の醸成を図るため、新聞社やテレビ局、雑誌社等に対してリリースを送ったり、プレスツアーを企画したり、メディア・リレーションズを展開します。
- 多言語対応したサインの整備を進めます。

(5) V. 観光まちづくり事業を誘発・育成する行政支援

【課題の評価】

評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年度 (目標値)
観光まちづくり 関連のデータセ ット件数	件	-	-	-	-	-	-	20
達成状況	今後の予定							
F	観光に関するデータを取りまとめ、集約していく。							
評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年度 (目標値)
観光まちづくり 関連イベント実 施回数	回	6	6	7	7	0	3	10
達成状況	今後の予定							
E	聖徳太子没後 1400 年の取組みが収束せず、継続するよう検討する。							
評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年度 (目標値)
町外イベントへ の参加回数	回	3	3	10	22	0	2	6
達成状況	今後の予定							
E	聖徳太子没後 1400 年を見据えて、広域的に発信できるイベントには積極的に参加していく。							

【施策／メニューの評価】

施策	1. 観光まちづくり分野の民間収益事業を誘発するソフト支援を充実します			評価	A
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①観光まちづくりの推進を支援する助成制度の創設を検討します	5	継続	空き家を活用した飲食店舗開業補助制度を創設した。		
②民間事業者の地域連携イベントの支援策を検討します	5	継続	令和2年度に、上の太子観光みかん園と協働し、町外で観光PRを実施した。 令和3年度に近畿日本鉄道株式会社、地元ボランティアガイドと連携し、ウォークイベントを実施した。		
施策	2. 広域連携・地域連携を強化します			評価	A
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①広域連携・地域連携イベント・事業の企画・実施を推進します	5	継続	新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントの実施はできなかったが、華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会、竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会において、関連市町村と連携している。また、奈良県の聖徳太子没後1400年プロジェクトに参画し、事業の周知をしている。		
②広域イベントへの参加・PRを推進します	5	継続	新型コロナウイルス感染症の影響が収束していない中ではあるが、聖徳太子没後1400年関連のイベントに積極的に参加した。		
施策	3. 観光まちづくり関連データを収集・分析・公開します			評価	D
メニュー	進捗状況	今後の方針	成果		
①定期的なマーケティングリサーチの実施を検討します【重点】	3	継続	平成29年度に華やいで大阪でマーケティングリサーチを実施したが、その他に実施の検討に至っていない。		
②観光まちづくり関連の調査分析データの公開に努めます	1	継続	調査結果の公開に至っていない。		

【総評】

■ 今年度の成果

- 華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会、竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会において、関連市町村と連携して事業を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、オンラインによる取組みを実施するなど、工夫しました。
- 近畿日本鉄道株式会社、地元ボランティアガイドと協働して、ウォークイベントを2回実施しました。2回目のウォークでは、松原市、羽曳野市及び各市のボランティアガイドとも連携し、日本遺産竹内街道をPRしながら広域的に取組みました。
- 空き家を活用した飲食店舗開業補助制度を継続して実施しました。

■ 今後の課題

- PDCA サイクルを回しながら観光まちづくりを推進していくため、観光まちづくりに関連するマーケティングリサーチを実施する必要があります。
- 聖徳太子没後 1400 年事業終了後も、関連市町村・近隣市町村に対して、連携・協働事業を働きかけていく必要があります。

■ 今後の取組み

- 町内外の人に対するマーケティングリサーチの実施を検討します。
- 聖徳太子没後 1400 年事業終了後も、関連市町村・近隣市町村に対して参加を呼び掛けるとともに、民間事業者などとも連携しながら、持続可能な取組みを実施します。

(6) 重点メニュー

■ 重点メニュー1 | 聖徳太子没後 1400 年関連事業を検討します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28 年 (基準)	H29 年	H30 年	H31 年	R2 年	R3 年	R3 年 (目標)
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連ボランティア数	人	-	-	-	807	0	0	500
達成状況	今後の予定							
E	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施していたイベントが中止となるなど、ボランティア募集の機会がなかったが、今後イベント等が再開されれば、積極的に募集し、機運を高めていきたい。							
評価指標	単位	H28 年 (基準)	H29 年	H30 年	H31 年	R2 年	R3 年	R3 年 (目標)
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連イベント来場者数（再掲）	人	200,000	-	-	15,346	0	1,147	200,000
達成状況	今後の予定							
E	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等を開催するには制限が必要な状況であり、中止となったものも少なくない状況であった。なんとか開催したイベントについては、感染症まん延防止対策を実施しながら開催した。今後もしっかり対策して、安心安全に参加できるイベントを開催したい。							
評価指標	単位	H28 年度 (基準)	H29 年	H30 年	H31 年	R2 年	R3 年	R3 年 (目標)
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」関連のパブリシティ数	件	-	-	1	1	4	14	20
達成状況	今後の予定							
C	コロナ禍でイベント関係の実施が難しい中、実施できたものは積極的にメディア発信し、一定取り上げてもらうことができた。今後も積極的にメディアに対して発信していきたい。							

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」に向けた勉強会の開催を検討します	5	完了	平成 31 年 3 月 16 日に 聖徳太子没後 1400 年記念講演会を実施。 令和 2 年度は町内で連続歴史講座を実施。(全 5 回)
(仮称) 聖徳太子没後 1400 年関連事業実行委員会の設置を検討します	5	完了	聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会を設立した。
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」事業計画の策定を検討します	5	完了	聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会にて計画し、実施した。
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」のプログラムの公募を検討します	5	完了	聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会にて検討した。
「聖徳太子没後 1400 年関連事業」チームプロジェクトの実施を検討します	5	完了	庁内ワーキンググループを設置し、事業案を町長に提出した。 提案のあった、トリックアート、郷土カルタ、観光アプリを事業として実施した。

■ 重点メニュー 2 | 「竹内街道」等の日本遺産認定をめざします

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28 年 (基準)	H29 年	H30 年	H31 年	R2 年	R 3 年	R3 年 (目標)
認定された「日本遺産」の件数	件	0	1	1	1	1	2	2
達成状況	今後の予定							
A	平成 29 年度に竹内街道が日本遺産に認定され、令和 2 年度に認定された「葛城修験」に令和 3 年度に追加認定された。							
評価指標	単位	H28 年 (基準)	H29 年	H30 年	H31 年	R2 年	R 3 年	R3 年 (目標)
「日本遺産」関連パブリシティ数	件	0	1	8	3	0	2	2
達成状況	今後の予定							
A	引き続き日本遺産としてメディアに取り上げられるよう、取組みを進める。							

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
認定推進組織の活動を積極的に推進します	5	継続	平成 29 年 3 月に竹内街道・横大路（大道）が日本遺産に認定され、本町は日本遺産事業事務局として事業を推進した。
日本遺産を活かした観光まちづくりの取組みを推進します	5	継続	竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会の取組を中心に観光まちづくりの取組を推進していく。 株式会社 DIIIG と連携協定を締結し、サイクリングを活用した取組みを開始し、羽曳野市も含めた日本遺産竹内街道を通るコースを設定し、運用した。

■ 重点メニュー 3 | 太子町観光まちづくりネットワークの設立に向けた取組みを推進します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28 年 (基準)	H29 年	H30 年	H31 年	R2 年	R3 年	R3 年度 (目標値)
太子町観光まちづくりネットワーク登録団体数 (再掲)	団体	—	—	—	13	13	13	20
達成状況	今後の予定							
C	聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会の取組みを推進する。							
評価指標	単位	H28 年 (基準)	H29 年	H30 年	H31 年	R2 年	R3 年	R3 年度 (目標値)
コラボレーションプロジェクト 実施件数	件	—	0	0	6	0	3	10
達成状況	今後の予定							
E	郷土カルタ大会、ウォークイベント、株式会社 DIIIG とのサイクリングの取組みなど、今後もコロナ禍における実施方法に注意しながら実施を検討する。							

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
太子町観光まちづくりネットワークの登録制度の整備を検討します	5	継続	聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会を創設し、事業を進めている。
観光まちづくり講座の開講を検討します	5	継続	平成 29 年度には空家の利活用について、リノベーションまちづくりセミナーを開催した。 平成 31 年 3 月 16 日に 聖徳太子没後 1400 年記念講演会を実施。 平成 31 年度は町内向けガイドウォークを実施（全 5 回） 令和 2 年度は町内で連続歴史講座を実施。（全 5 回）
コラボレーションプロジェクトを検討します	5	継続	聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会として、郷土カルタ大会やウォークイベントを実施した。 株式会社 DIIG と連携協定を締結し、サイクリングを活用した取組みを実施した。

■ 重点メニュー 4 | 観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28 年 (基準)	H29 年	H30 年	H31 年	R 2 年	R3 年	R3 年 (目標)
観光まちづくり団体等の主催イベントの参加者数 (総計)	人	887	567	755	807	0	0	1400
達成状況	今後の予定							
E	広くボランティアを募集し、イベントの盛り上げに繋げる。							

評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年 (目標)
観光まちづくり団体等のHPの年間ユニークユーザー数(再掲)	人	-	37,738	23,364	38,646	38,059	49,400	36,500
達成状況	今後の予定							
A	聖徳太子没後1400年事業など、様々な情報を発信し、一人でも多くの人に見てもらえるようにする。							
評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年 (目標)
観光まちづくり団体等の自主事業数	回	4	4	4	4	4	4	8
達成状況	今後の予定							
C	勉強会やワークショップなどを通じて人材育成につなげる取り組みも検討。							

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
支援する観光まちづくり団体等を選定します	5	継続	観光まちづくり団体を支援している。
観光まちづくり団体等の経営戦略づくりの支援策を検討します	5	継続	太子町観光・まちづくり協会の経営戦略を強化するため、人員の支援について検討した。

■ 重点メニュー5 | 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」のリニューアルを検討します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年 (目標)
道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の年間販売額	万円	6,967	6,494	6,071	5,895	5,763	5,842	7,700
達成状況	今後の予定							
B	道の駅の活用について運営協議会に提案しながら、販売額が増加するように展開していく。							

評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年 (目標)
「竹内街道歴史資料館」の年間来訪者数	人	5,596	5,015	5,382	4,551	2,775	3,435	6,000
達成状況	今後の予定							
C	日本遺産に認定された竹内街道についての資料館であることをPRし、日本遺産の認知度向上を図る。							
評価指標	単位	H28年 (基準 値)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年 (目標)
「竹内街道交流館」の年間来訪者数	人	871	1,440	1,640	1,686	1,258	1,724	1,000
達成状況	今後の予定							
A	引き続き通年の土日祝の開館を継続し、竹内街道の魅力について発信していく。							

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
(仮称)道の駅「近つ飛鳥の里・太子」再整備検討委員会の設置を検討します	5	継続	道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の運営者を公募し、令和4年度より運営を開始する。
「道の駅『近つ飛鳥の里・太子』再整備計画」の策定を検討します	5	継続	道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の運営者を公募し、令和4年度より運営を開始する。

■ 重点メニュー6 | サイン計画の策定を検討します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年 (目標)
看板等の多言語対応率	%	0	0	0	0	42	77	50
達成状況	今後の予定							
A	引き続きサインの多言語化を進めていく。							

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
「太子町サイン計画」の策定を検討します	5	継続	新設、既設を含め更新した。
統一的なサインを町内の観光スポットを中心に順次設置します	5	継続	サインのデザインを統一し、設置した。

■ 重点メニュー7 | 定期的なマーケティングリサーチの実施を検討します

[重点メニューの評価]

評価指標	単位	H28年 (基準)	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R3年 (目標)
観光まちづくり関連のデータセット件数	件	-	-	-	-	-	-	20
達成状況	今後の予定							
F	観光に関するデータを取りまとめ、集約していく。							

[重点メニューの主な取組みの評価]

主な取組み	進捗状況	今後の方針	成果
住民アンケート調査の実施を検討します	5	継続	第五次総合計画の後期基本計画に向けてのアンケート調査を実施した。
町外在住者を対象とするインターネットアンケート調査等の実施を検討します	1	継続	アンケート実施の検討に至っていない。
来訪者アンケート調査の実施を検討します	5	継続	竹内街道交流館において来訪者アンケートを実施している。
観光まちづくり関連施設等の実態・実績把握に努めます	4	継続	竹内街道歴史資料館、竹内街道交流館については入館者数や属性を把握している。

【総評】

■ 今年度の成果

- 聖徳太子没後 1400 年記念実行委員会事業として、聖徳太子像の建立や郷土カルタの作成、カルタ大会の実施、シンポジウムの開催、歴史ウォークイベントの開催など聖徳太子没後 1400 年に関する取組みを実施しました。
- 太子町観光・まちづくり協会のホームページのユニークユーザー数が目標値を超えました。
- 統一したデザインの多言語化サインを既存サインの改修も含め、整備しました。

■ 今後の課題

- 観光まちづくり団体や事業者等の自主事業の支援やコラボレーションプロジェクトの実施を継続的に実施を検討していく必要があります。
- 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の営業や既存イベント、竹内街道歴史資料館など、取組みを続けているものの、集客・消費に結びついていない取組み・事業を改善していく必要があります。
- サインの多言語化をさらに充実させるとともに、無線 LAN 環境の整備など、訪日外国人の受入環境の整備の検討が必要です。
- PDCA サイクルを回しながら観光まちづくりを推進していくため、観光まちづくりに関連するマーケティングリサーチを実施する必要があります。

■ 今後の取組み

- 聖徳太子没後 1400 年事業による機運が収束しないよう、継続的に取組みます。
- 農業法人の設立や特産品の六次産業化・ブランド化に向けた検討を進めます。
- 多言語対応したサインの整備を進めます。
- 町内外の人に対するマーケティングリサーチの実施を検討します。

令和4年度 太子町観光まちづくりビジョン後期

進捗状況について

■成果指標

後期ビジョンの目標達成状況を確認するために設定

①観光消費額 … 地域経済に関する指標

道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の純売上額

<当初計画>

(単位:万円)

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
5,895	6,200	6,500	6,800	7,100	7,400	7,700	8,000

実績値

第5次 太子町総合計画 後期基本計画の目標値

【基本目標】3.活力と魅力あふれる、個性豊かなまちづくり

【政策】(1) 地域経済を支える産業の振興

【施策】①都市農業の振興を図ります

<実績値>

(単位:万円)

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
5,895	5,763	5,843	7,818				

道の駅「近つ飛鳥の里・太子」は、これまで運営してきた「道の駅近つ飛鳥の里・太子運営協議会」から「太子町観光・まちづくり協会」が運営を引き継ぎ、4月にリニューアルオープンした。これまで課題とされてきた道の駅を活用した太子町の魅力発信については、主力商品である「ぶどう」や「みかん」の販売強化や「ぶどう祭り」や「感謝祭」などのイベントの開催、「みかンドレッシング」や「TAISHI Rich jelato」といった新商品開発を実施し、運営改善に努めてきた。結果として、昨年対比134%の売上増を達成した。

②太子町ファン人数 … 関係人口の増大に関する指標

太子町観光・まちづくり協会 HP のユニークユーザー数

<当初計画>

(単位:人)

令和2年度	令和3年度	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
38,059	38,059	39,000	40,000	41,000	42,000	43,000

実績値

<実績値>

(単位:人)

令和2年度	令和3年度	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
38,059	49,400	57,826				

太子町観光・まちづくり協会では、まちの情報をホームページにて発信している。観光協会は令和4年度より道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の運営を開始しており、その情報を積極的に発信し始めたこともあり、ユニークユーザー数の増加に繋がったと推測する。結果として、昨年対比117%の増加となり、令和8年度に想定していた本ビジョンの計画値を大幅に達成した。



道の駅「近つ飛鳥の里・太子」リニューアル状況

課題対応1 誇りや愛着の醸成から発展する主体的活動の促進

<重点メニュー>

施策1-1 地域に対する誇りや愛着の醸成

①学校と連携したふるさとの魅力発信の取組推進

<当初計画>

指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新しく学校と連携した事業数(累計)	事業	0	0	1	2	3

(例)

脱穀体験、子ども用ガイドの実施、子ども登山、近つ飛鳥博物館体験ツアー、フルーツ大福作り体験

※太子町キャリア教育全体指導計画は前年度に作成するため、授業との連携を考える場合は前年度の10月ごろから教育総務課へ相談・協議が必要。

<実績値>

指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新しく学校と連携した事業数(累計)	事業	0				

令和4年度としては、学校と連携した事業には結びつかなかった。しかしながら、四天王寺大学、四天王寺大学短期大学部及び阪南大学と包括連携協定を締結しており、次年度以降協働で事業を実施する予定である。



包括連携協定(四天王寺大学、四天王寺大学短期大学部)



包括連携協定(阪南大学)

課題対応2 地域経済の活性化につなげる仕組みと実践

<重点メニュー>

施策2-1 特産品等農産物の生産支援

①新規認定就農者増加に関する支援

<当初計画>

指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
新規認定就農者数 (累計)	人	4	6	8	10	12	14	16

※環境農林課に確認

<実績値>

指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
新規認定就農者数 (累計)	人	4	9	11				

令和4年度時点では、当初計画指標を3人多く達成している。

新規認定就農者に対する支援については、耕作可能な農地の紹介や斡旋などで新規認定就農者と農地のマッチングを実施することにより、町内で就農できる環境づくりを支援し、また、就農に必要な設備購入のための補助金制度などにより、新規認定就農者の定着を図っている。新規認定就農者の営農類型については果樹の割合が大きく、特に太子町の特産品である“ぶどう”の栽培を始める就農者が増加している。



課題対応3 何度も楽しめるストーリー性のあるコンテンツの充実

<重点メニュー>

施策3-1 資源を活用したコンテンツの充実

④二上山を何度も深く楽しむ仕掛けの充実

<当初計画>

指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
二上山関連商品の数(累計)	個	0	0	1	2	3

(例)

二上山もなか、力餅、ストラップ、Tシャツ、二上山ランチ

<実績値>

指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
二上山関連商品の数(累計)	個	0				

二上山関連商品については作製に至らなかったが、特産品(ぶどう・みかん)を活用した観光PRに関して、地元和菓子店と協働で新商品開発に取組み、新商品「ミカンシェ」を開発した。主張観光PRや道の駅などで販売し、特産品をきっかけとした観光PRを実施している。消費者の反応はよく、販売をきっかけとして町を知ってもらう機会創出に繋がっている。



特産品を活用した観光PR(左:ミカンシェ 右:天保山マーケットプレイスへの出展)

課題対応4 交流を深める場づくりや情報発信によるコミュニケーションの促進

<重点メニュー>

施策4-3 情報発信

①多様な主体とのコラボレーションによる情報発信

<当初計画>

指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
コラボ情報発信 連携者数 (累計)	人 (組)	0	3	6	9	12	15	20

- ・ 公民連携（包括連携協定締結事業者数）
- ・ 広報サポーター
- ・ 大学連携

<実績値>

指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
コラボ情報発信 連携者数 (累計)	人 (組)	1	13	20				

■包括連携協定

- ・ 令和2年度

株式会社 F.C.大阪 （PR、地域活性化、子ども・福祉、スポーツ・健康、DX など5分野）

- ・ 令和3年度

大阪東部ヤクルト販売株式会社 （PR、健康・福祉・教育、安心・安全 など3分野）

ダイドードリンコ株式会社 （PR、健康・福祉・教育、安全・安心、環境、産業・観光 など5分野）

日本郵便株式会社 （安全・安心、地域経済、子どもの育成、ノーマライゼーション など5分野）

太子ゴルフ観光株式会社 （PR、観光、健康・福祉、教育・文化・生涯学習・スポーツ、地域経済、災害時の協力 など7分野）

- ・ 令和4年度

株式会社フジ医療器 （健康、地域環境、地方創生 など5分野）

大阪南農業協同組合 （農業、地方創生・地域活性化、特産品開発・PR、SDGs など5分野）

四天王寺大学、四天王寺大学短期大学部 （地域活性化、地域産業・観光、健康・福祉、学術研究、学生活動・人材育成、生涯学習、職員の資質向上、情報発信 など9分野）

阪南大学 （地域連携・地域活性化、知的及び人的交流、調査研究）

■個別連携協定

・令和3年度

株式会社 DIIG 「太子町の観光事業に関する連携協定」

株式会社 Another works 「民間複業人材と協働に関する連携協定」

PIAZZA 株式会社 「南河内地域の魅力向上と活性化のための連携協定」

株式会社ジモティー 「リユース活動と地域の助け合い活動の促進に向けた協定」

・令和4年度

株式会社 FunMake 「住民サービスの向上及び地域の活性化のための連携協定」

■広報サポーター

第1期 (令和3年10月～令和4年9月) 4名

第2期 (令和4年10月～令和5年9月) 2名

令和4年度の実績にて、計画の水準を達成した。包括連携協定については、これをきっかけにダイドードリンク株式会社より太子町のみかんを使ったドリンク「MIU おいしいみかん水」が発売された。太子町のみかんが大阪産（おおさかもん）に登録されていることもあり、各所にて発信された。合わせて企業からのプレスリリースにより、メディアにも露出された。個別連携協定については、株式会社 DIIG との連携において、サイクリングを活用したミッションアプリによって町内の周遊を促進するなど、新たな取組みを進めることができた。



ダイドードリンク 太子町産みかんを使ったドリンク開発



F.C.大阪 スポーツイベントの協働開催



DIIG サイクルツーリズム促進、サイクルラックの寄贈

課題対応5 安全・安心で快適な観光まちづくりの環境整備

<重点メニュー>

施策5-2 誰もが安全で安心な環境整備

①歩く観光の環境整備

<当初計画>

		R4	R5	R6	R7	R8
町主催（共催）のウォークイベント実施回数 （R4～R8 累計）	回	3	6	9	12	15
町主催（共催）のウォークイベント参加者数 （R4～R8 累計）	人	535	1,090	1,665	2,265	3,335

（参加者数の想定）

	単位	R4	R5	R6	R7	R8
岳のぼり	人	300	300	300	300	300
美化キャンペーン	人	185	205	225	250	270
その他	人	50	50	50	50	500

※美化キャンペーンは総計に目標設定あり

※その他については都度開催を企画するウォークイベントなど。R8 年度までに一度は近鉄等と連携し、300～500 人規模のウォークイベントを想定している。

<実績値>

	単位	R4	R5	R6	R7	R8
町主催（共催）のウォークイベント実施回数 （R4～R8 累計）	回	2				
町主催（共催）のウォークイベント参加者数 （R4～R8 累計）	人	299				

令和4年度は岳のぼり136名、美化キャンペーンには163名が参加した。その他のウォークイベントとしては実施がなかったため、実施回数としては2回となった。次年度以降、近鉄などと協力しながら、周遊イベントを企画し、町を知ってもらおうきっかけとしたい。



令和5年度太子町観光まちづくりビジョン〔後期〕

進捗状況について

■成果指標

後期ビジョンの目標達成状況を確認するために設定

① 観光消費額 … 地域経済に関する指標

道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の純売上額

<当初計画>

(単位:万円)

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
5,895	5,763	6,500	6,800	7,100	7,400	7,700	8,000

実績値

実績値

第5次 太子町総合計画 後期基本計画の目標値

【基本目標】3. 活力と魅力にあふれる、個性豊かなまちづくり

【政策】1. 地域経済を支える産業の振興

【施策】①都市農業の振興を図ります

②商工業の活性化を図ります

【政策】2. まちの魅力を活かした交流の推進

【施策】①観光・レクリエーションの振興を図ります

<実績値>

(単位:万円)

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
5,895	5,763	5,843	7,861	9,191			

道の駅「近つ飛鳥の里・太子」は、令和4年4月より「道の駅近つ飛鳥の里・太子運営協議会」から「太子町観光・まちづくり協会」に運営を引き継ぎ、リニューアルオープンした。道の駅を活用した太子町の魅力発信については、主力商品である「ぶどう」・「みかん」の更なる販売強化や新商品の開発に努めている。令和5年度は、二上山をかたどった「ふたかみ物語」の商品化や「TAISHI Rich jelato」の新しいフレーバーを開発するとともに「ぶどう祭り」や「感謝祭」などのイベントの充実を図り、魅力発信に努めてきた。また、課題の一つであった食事の提供については、弁当の販売やキッチンカーの出店により利用者のニーズにも応えている。結果として、道の駅の売り上げは、令和4年度は昨年度対比135%となり、令和5年度は昨年度対比117%（令和3年度対比157%）と更なる売上増を達成した。

② 太子町ファン人数 … 関係人口の増大に関する指標

太子町観光・まちづくり協会 HP のユニークユーザー数

<当初計画>

(単位：人)

令和2年度	令和3年度	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
38,059	49,400	39,000	40,000	41,000	42,000	43,000

実績値

実績値

<実績値>

(単位：人)

令和2年度	令和3年度	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
38,059	49,400	57,826	57,264			

太子町観光・まちづくり協会では、まちの情報をホームページにて発信している。観光・まちづくり協会は、令和4年度より道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の運営を開始しており、その情報を積極的に発信し始めたこともあり、ユニークユーザー数の大幅な増加に繋がったと推測する。令和5年度の結果としては、昨年度対比99%のほぼ同様となり、本計画最終年度の令和8年度に想定していた本ビジョンの計画値を達成している。



道の駅「近つ飛鳥の里・太子」リニューアル状況

課題対応 1 誇りや愛着の醸成から発展する主体的活動の促進

<重点メニュー>

施策 1-1 地域に対する誇りや愛着の醸成

① 学校と連携した魅力発信の取組み推進

<当初計画>

(単位:事業)

指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新しく学校と連携した事業数(累計)	0	0	1	2	3

(例)

脱穀体験、子ども用ガイドの実施、子ども登山、近つ飛鳥博物館体験ツアー、フルーツ大福作り体験

※太子町キャリア教育全体指導計画は前年度に作成するため、授業との連携を考える場合は前年度の10月ごろから教育総務課へ相談・協議が必要。

<実績値>

(単位:事業)

指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新しく学校と連携した事業数(累計)	0	1			

予てより農業に携わる地元有志の山田小学校学習農園応援隊の協力で小学生の田植えから稲刈り、脱穀、粃摺りまでの一連の農業体験に取り組んできた。令和5年に発足した山田地区農空間保全協議会の「多面的機能の増進を図る活動」の一つとして小学校教育田の農業体験交流活動が位置づけられ、地域と学校が連携して行う事業が確立された。



小学校児童の稲刈り体験

課題対応 2 地域経済の活性化につなげる仕組みと実践

<重点メニュー>

施策 2-1 特産品等農産物の生産支援

① 新規認定就農者増加に関する支援

<当初計画>

(単位：人)

指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新規認定就農者数 (累計)	4	6	8	10	12	14	16

※環境農林課に確認

<実績値>

(単位：人)

指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新規認定就農者数 (累計)	4	9	11	11			

令和5年度の新規認定就農者数（累計）は増加しなかったが、当初計画指標を1人多く達成している。新規認定就農者に対する支援については、引き続き、耕作可能な農地の紹介や斡旋などで新規認定就農者と農地のマッチングを実施することにより、町内で就農できる環境づくりを支援し、また、就農に必要な設備購入のための補助金制度などにより、新規認定就農者の定着を促進している。近年の新規認定就農者の営農類型については果樹の割合が大きく、特に太子町の特産品である“ぶどう”の栽培を始める就農者が多くみられる。



ぶどう農園とシャインマスカット

課題対応3 何度も楽しめるストーリー性のあるコンテンツの充実

<重点メニュー>

施策3-1 資源を活用したコンテンツの充実

④ 二上山を何度も深く楽しむ仕掛けの充実

<当初計画>

(単位:個)

指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
二上山関連新規商品の数(累計)	0	0	1	2	3

(例)

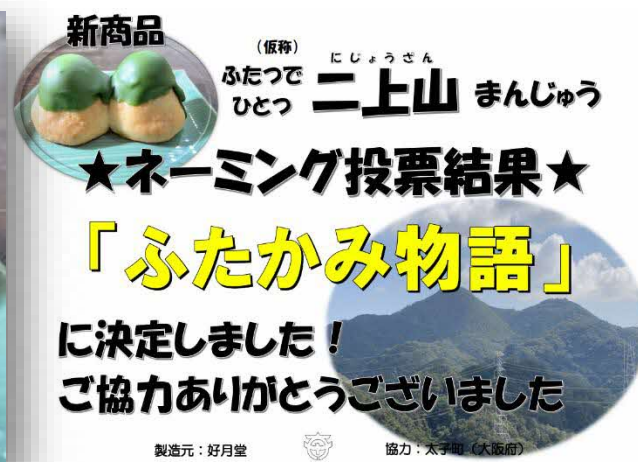
二上山もなか、力餅、ストラップ、Tシャツ、二上山ランチ

<実績値>

(単位:個)

指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
二上山関連新規商品の数(累計)	1	2			

二上山関連新規商品として、地元和菓子店と協働で新規商品開発に取り組み、新規商品「ふたかみ物語」を開発した。ネーミングについても道の駅でアンケートを実施して決定した。各種イベントへの出張観光PRや道の駅などで特産品を販売し、観光PRを実施している。消費者の反応はよく、町を知ってもらう機会創出に繋がっている。



二上山をモチーフに開発した新規商品(ふたかみ物語)

おおさか山の日におおさか山山頂で南河内のフルーツ農家で結成されたグループによる「山頂マルシェ」が令和4年度に継続して実施された。ぶどうやいちじくなどのフルーツを使った加工品が販売され、盛況に完売となった。



二上山雌岳の山頂マルシェ



特産品を活用した出張 PR(ハーバスリンクス梅田店)

課題対応 4 交流を深める場づくりや情報発信によるコミュニケーションの促進

<重点メニュー>

施策 4-3 情報発信

① 多様な主体とのコラボレーションによる情報発信

<当初計画>

(単位:人(組))

指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
コラボ情報発信 連携者数 (累計)	0	3	6	9	12	15	20

- ・ 公民連携 (包括連携協定・個別連携協定締結事業者数)
- ・ 大学連携 (包括連携協定締結事業者数)
- ・ 広報サポーター

<実績値>

指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
コラボ情報発信 連携者数 (累計)	1	13	23	26			

■包括連携協定

令和2年度

- ① 株式会社 F.C. 大阪 (PR、地域活性化、子ども・福祉、スポーツ・健康、DX など5分野)

令和3年度

- ① 大阪東部ヤクルト販売株式会社 (PR、健康・福祉・教育、安心・安全など3分野)
- ② ダイードリンク株式会社 (PR、健康・福祉・教育、安全・安心、環境、産業・観光など5分野)
- ③ 日本郵便株式会社 (安全・安心、地域経済、子どもの育成、ノーマライゼーションなど5分野)
- ④ 太子ゴルフ観光株式会社 (PR、観光、健康・福祉、教育・文化・生涯学習・スポーツ、地域経済、災害時の協力 など7分野)

令和4年度

- ① 株式会社フジ医療器 (健康、地域環境、地方創生 など5分野)
- ② 大阪南農業協同組合 (農業、地方創生・地域活性化、特産品開発・PR、SDGs など5分野)

③ 四天王寺大学、④ 四天王寺大学短期大学部

(地域活性化、地域産業・観光、健康・福祉、学術研究、学生活動・人材育成、生涯学習、職員の資質向上、情報発信 など9分野)

⑤ 阪南大学 (地域連携・地域活性化、知的及び人的交流、調査研究)

令和5年度

① サントリービバレッジソリューション株式会社 (健康、コミュニケーション活性化、防災 など4分野)

② 学校法人村川学園 (地域活性化、地域連携、ふるさと納税 など4分野)

③ 学校法人先端教育機構事業構想大学院大学 (太子町のまち・ひと・しごと創生計画、人材育成 など) ※ダイドードリンコ(株)と3者による協定締結。

■個別連携協定

令和3年度

① 株式会社DIIIG 「太子町の観光事業に関する連携協定」

② 株式会社Another works 「民間複業人材と協働に関する連携協定」

③ PIAZZA 株式会社 「南河内地域の魅力向上と活性化のための連携協定」

④ 株式会社ジモティー 「リユース活動と地域の助け合い活動の促進に向けた協定」

令和4年度

① 株式会社FunMake 「住民サービスの向上及び地域の活性化のための連携協定」

② 株式会社あるやうむ 「地方創生、ふるさと納税などの連携と協力に関する協定」

③ 株式会社aceLab 「地方創生、ふるさと納税などの連携と協力に関する協定」

■広報サポーター

第1期 (令和3年10月～令和4年9月) 4名

第2期 (令和4年10月～令和5年9月) 2名

令和5年度には、太子町と学校法人先端教育機構事業構想大学院大学並びにダイドードリンコ株式会社の3者による地方創生の推進に関する包括連携協定を締結した。本協定により、太子町域の未来を担う人材育成及び共創による新価値創出を目指し、持続可能なまちづくりに太子町域の発展に資する新規事業を構想する「大阪府太子町 未来への道プロジェクト研究」を発足された。研究会の参加者は一般からも募集し、組織の枠を越えた異業種の企業やパートナーとの知の共有・探索、コラボレーションによる事業創出活動を実現した。様々なバックグラウンドを持つ10名の研究員が9か月に渡り研究を行った集大成として、太子町の地域活性化に向けた新規事業の提案を町長に直接行われた。

竹内街道・横大路(大道)活性化実行委員会の新たな取組みとして、令和5年度からダイドードリンコ(株)と協働して自動販売機に日本遺産竹内街道・横大路(大道)のPR写真等をラッピングして町内(春日地区)に1台設置した。



包括連携協定(先端教育機構事業構想大学院大学
並びにガイドードリンク(株))



包括連携協定(サントリービバレッジソリューション(株))



F.C.大阪 スポーツイベントの協働開催



竹内街道 PR 自動販売機
(春日地区)

課題対応5 安全・安心で快適な観光まちづくりの環境整備

<重点メニュー>

施策5-2 誰もが安全で安心な環境整備

① 歩く観光の環境整備

<当初計画>

(単位:回・人)

指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
町主催(共催)のウォークイベント開催回数 (R4~R8累計)	3	6	9	12	15
町主催(共催)のウォークイベント参加者数 (R4~R8累計)	535	1,090	1,665	2,265	3,335

(参加者数の想定)

(単位:人)

指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
二上山岳のぼり	300	300	300	300	300
山地美化 キャンペーン	185	205	225	250	270
その他	50	50	50	50	500

※山地美化キャンペーンは総計に目標設定あり

※その他については都度開催を企画するウォークイベントなど。R8年度までに一度は近鉄等と連携し、300~500人規模のウォークイベントを想定している。

<実績値>

(単位:回・人)

指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
町主催(共催)のウォークイベント開催回数 (R4~R8累計)	2	6			
町主催(共催)のウォークイベント参加者数 (R4~R8累計)	299	869			

令和5年度は、二上山岳のぼりに201名、山地美化キャンペーンには300名が参加した。その他のウォークイベントとしては、竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会と近畿日本鉄道株式会社が協働で地域ボランティアガイドとも連携してウォークイベントを実施し、133名が参加した。また、同じく竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会のイベントで竹内街道・横大路（大道）まつりを本町の竹内街道灯路祭りと同時に開催し、そのコンテンツの一つとして、「地元観光ボランティアと巡る竹内街道ナイトウォーク」を実施し、6名が参加した。令和5年度のウォークイベントの実施回数としては4回となった。次年度以降も引き続き近畿日本鉄道株式会社やボランティアガイドなどと協力しながら、周遊イベントを企画、実施をする。



ウォークイベントの状況

② その他観光の環境整備

竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会のサイクリング促進事業（サイクルツーリズムの促進）において、アプリ「DIIIG」を活用した竹内街道・横大路（大道）を基軸とした竹内街道沿道の各市町村に点在する構成文化財等を含む4コース（大阪府2コース・奈良県2コース）からなるサイクリングコースを設定し、85名の参加者（49名イベント達成者）があり、沿道周遊の促進を図った。



サイクリングイベントの状況(大道旧山本邸前)

令和6年度太子町観光まちづくりビジョン〔後期〕

進捗状況について

■成果指標

後期ビジョンの目標達成状況を確認するために設定

① 観光消費額 … 地域経済に関する指標

道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の純売上額

<当初計画>

(単位:万円)

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
5,895	5,763	6,500	6,800	7,100	7,400	7,700	8,000

実績値

実績値

第5次 太子町総合計画 後期基本計画の目標値

【基本目標】3. 活力と魅力にあふれる、個性豊かなまちづくり

【政策】1. 地域経済を支える産業の振興

【施策】①都市農業の振興を図ります

②商工業の活性化を図ります

【政策】2. まちの魅力を活かした交流の推進

【施策】①観光・レクリエーションの振興を図ります

<実績値>

(単位:万円)

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
5,895	5,763	5,843	7,861	9,191	10,450		

道の駅「近つ飛鳥の里・太子」は、令和4年4月より「道の駅近つ飛鳥の里・太子運営協議会」から「太子町観光・まちづくり協会」に運営を引き継ぎ、リニューアルオープンした。道の駅を活用した太子町の魅力発信については、主力商品である「ぶどう」・「みかん」の更なる販売強化や新商品の開発に努めている。令和5年度は、二上山をかたどった「ふたかみ物語」や「TAISHI Rich jelato」を販売し、令和6年度には「シャインマスカットタルト」や「シャインマスカットやみかんのくずバー」の新商品の販売をするとともに「ぶどう祭り」や「感謝祭」などのイベントの充実を図り、魅力発信に努めてきた。また、課題の一つであった食事の提供については、弁当の販売やキッチンカーの出店により利用者のニーズにも応えている。令和6年度には町内事業者によるキッチンカーも出店するようになり更なる来訪者への多様なもてなしを充実した。運営をしている「太子町観光・

まちづくり協会」が令和6年4月に法人格を取得し、「一般社団法人太子町観光協会」となることにより機動力の増強を図られた。結果として、道の駅の売り上げは、令和4年度は昨年度対比135%となり、令和5年度は昨年度対比117%、令和6年度は昨年度対比114%と更なる売上増を達成した。

② 太子町ファン人数 … 関係人口の増大に関する指標

(一社) 太子町観光協会 HP のアクティブユーザー数

<当初計画>

(単位：人)

令和2年度	令和3年度	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
38,059	49,400	39,000	40,000	41,000	42,000	43,000

実績値

実績値

<実績値>

(単位：人)

令和2年度	令和3年度	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
38,059	49,400	57,826	57,264	65,495		

(一社) 太子町観光協会では、まちの情報をホームページで発信している。観光協会は、令和4年度より道の駅「近つ飛鳥の里・太子」の運営を開始しており、その情報を積極的に発信し始めたこともあり、アクティブユーザー数の大幅な増加に繋がったと推測する。令和6年度の結果としては、昨年度対比114%となり、組織体制の変革による機動力強化の結果が伺える。本計画最終年度(令和8年度)の計画値を大幅に達成している。



道の駅「近つ飛鳥の里・太子」状況

課題対応 1 誇りや愛着の醸成から発展する主体的活動の促進

<重点メニュー>

施策 1-1 地域に対する誇りや愛着の醸成

① 学校と連携した魅力発信の取組み推進

<当初計画>

(単位:事業)

指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新しく学校と連携した事業数(累計)	0	0	1	2	3

(例)

脱穀体験、子ども用ガイドの実施、子ども登山、近つ飛鳥博物館体験ツアー、フルーツ大福作り体験

※太子町キャリア教育全体指導計画は前年度に作成するため、授業との連携を考える場合は前年度の10月ごろから教育総務課へ相談・協議が必要。

<実績値>

(単位:事業)

指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新しく学校と連携した事業数(累計)	0	1	1		

予てより農業に携わる地元有志の山田小学校学習農園応援隊の協力で小学生の田植えから稲刈り、脱穀、粃摺りまでの一連の農業体験に取り組んできた。令和5年に発足した山田地区農空間保全協議会の「多面的機能の増進を図る活動」の一つとして小学校教育田の農業体験交流活動が位置づけられ、地域と学校が連携して行う事業が令和6年度も継続実施された。



小学校児童の稲刈り体験

課題対応 2 地域経済の活性化につなげる仕組みと実践

<重点メニュー>

施策 2-1 特産品等農産物の生産支援

① 新規認定就農者増加に関する支援

<当初計画>

(単位：人)

指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新規認定就農者数 (累計)	4	6	8	10	12	14	16

※環境農林課に確認

<実績値>

(単位：人)

指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新規認定就農者数 (累計)	4	9	11	11	12		

令和6年度の新規認定就農者数（累計）は1人増加し、今年度の当初計画指標を達成している。新規認定就農者に対する支援については、引き続き、耕作可能な農地の紹介や幹旋などで新規認定就農者と農地のマッチングを実施することにより、町内で就農できる環境づくりを支援し、また、就農に必要な設備購入のための補助金制度などにより、新規認定就農者の定着を促進している。近年の新規認定就農者の営農類型については果樹の割合が大きく、特に太子町の特産品である“ぶどう”の栽培を始める就農者が多くみられる。NPO 法人太子町ぶどう塾では、28人の塾生が栽培知識の向上に努めている。



ぶどう農園とシャインマスカット

課題対応3 何度も楽しめるストーリー性のあるコンテンツの充実

<重点メニュー>

施策3-1 資源を活用したコンテンツの充実

④ 二上山を何度も深く楽しむ仕掛けの充実

<当初計画>

(単位:個)

指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
二上山関連新規商品の数(累計)	0	0	1	2	3

(例)

二上山もなか、力餅、ストラップ、Tシャツ、二上山ランチ

<実績値>

(単位:個)

指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
二上山関連新規商品の数(累計)	1	2	2		

令和6年度には本町の特産品であるぶどうやみかんを活用したタルトやくずバーを新規商品として販売している。各種イベントへの出張観光PRや道の駅などで特産品を販売し、観光PRを実施している。特に令和7年度に開催される大阪・関西万博に向けたイベントにも参加してPRを実施した。消費者の反応はよく、町を知ってもらう機会創出に繋がっている。



[令和6年度新商品くずバー]



[令和5年度新商品「ふたかみ物語」]

新規商品の開発



アリオ八尾で万博 200 日前イベントに参加

おおさか山の日（11月第2土曜日）に南河内のフルーツ農家で結成されたグループによる「山頂マルシェ」が二上山山頂で令和6年度も継続して実施された。（令和4年度スタート）ぶどうやいちじくなどのフルーツを使った加工品が販売され、盛況に完売となった。



二上山山頂マルシェ(二上山雌岳山頂)

課題対応 4 交流を深める場づくりや情報発信によるコミュニケーションの促進

<重点メニュー>

施策 4-3 情報発信

① 多様な主体とのコラボレーションによる情報発信

<当初計画>

(単位:人(組))

指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
コラボ情報発信 連携者数 (累計)	0	3	6	9	12	15	20

- ・ 公民連携 (包括連携協定・個別連携協定締結事業者数)
- ・ 大学連携 (包括連携協定締結事業者数)
- ・ 広報サポーター

<実績値>

指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
コラボ情報発信 連携者数 (累計)	1	13	23	26	29		

■包括連携協定

令和2年度

- ① 株式会社 F.C. 大阪 (PR、地域活性化、子ども・福祉、スポーツ・健康、DX など5分野)

令和3年度

- ① 大阪東部ヤクルト販売株式会社 (PR、健康・福祉・教育、安心・安全など3分野)
- ② ダイードドリンク株式会社 (PR、健康・福祉・教育、安全・安心、環境、産業・観光 など5分野)
- ③ 日本郵便株式会社 (安全・安心、地域経済、子どもの育成、ノーマライゼーションなど5分野)
- ④ 太子ゴルフ観光株式会社 (PR、観光、健康・福祉、教育・文化・生涯学習・スポーツ、地域経済、災害時の協力 など7分野)

令和4年度

- ① 株式会社フジ医療器 (健康、地域環境、地方創生 など5分野)
- ② 大阪南農業協同組合 (農業、地方創生・地域活性化、特産品開発・PR、SDGs など5分野)

- ③ 四天王寺大学、④ 四天王寺大学短期大学部
 (地域活性化、地域産業・観光、健康・福祉、学術研究、学生活動・人材育成、
 生涯学習、職員の資質向上、情報発信 など9分野)
- ⑤ 阪南大学 (地域連携・地域活性化、知的及び人的交流、調査研究)

令和5年度

- ① サントリービバレッジソリューション株式会社 (健康、コミュニケーション活性化、
 防災 など4分野)
- ② 学校法人村川学園 (地域活性化、地域連携、ふるさと納税 など4分野)
- ③ 学校法人先端教育機構事業構想大学院大学 (太子町のまち・ひと・しごと創生計画、
 人材育成 など) ※ガイドドリンコ(株)と3者による協定締結。

令和6年度

- ① ENEOS(株)堺製油所 (太子町の事業のPRに関する事、健康、福祉、教育に関する
 こと、安全・安心に関する事、脱炭素のまちづくりに関する事、産業、観光に
 関する事、その他、本協定の目的に沿う事項として甲と乙が合意した事)
- ② みかん先生 (太子町とみかん先生との連携と協力に関する事)

■個別連携協定

令和3年度

- ① 株式会社DIIIG 「太子町の観光事業に関する連携協定」
- ② 株式会社Another works 「民間複業人材と協働に関する連携協定」
- ③ PIAZZA 株式会社 「南河内地域の魅力向上と活性化のための連携協定」
- ④ 株式会社ジモティー 「リユース活動と地域の助け合い活動の促進に向けた協定」

令和4年度

- ① 株式会社FunMake 「住民サービスの向上及び地域の活性化のための連携協定」
- ② 株式会社あるやうむ 「地方創生、ふるさと納税などの連携と協力に関する協定」
- ③ 株式会社aceLab 「地方創生、ふるさと納税などの連携と協力に関する協定」

令和6年度

- ① 植田油脂(株) 「太子町、河南町及び千早赤阪村における廃食油リサイクルの推進、
 温室効果ガス排出削減及び循環型社会の実現に関する連携協定」

■広報サポーター

- | | | |
|-----|------------------|----|
| 第1期 | (令和3年10月～令和4年9月) | 4名 |
| 第2期 | (令和4年10月～令和5年9月) | 2名 |
| 第3期 | (令和5年10月～令和6年9月) | 3名 |
| 第4期 | (令和6年10月～令和7年9月) | 4名 |

令和6年度には、ENEOS(株)堺製油所と太子町の事業のPRに関する事などに関する包括連携協定を締結した。また、19.2万人のチャンネル登録者を抱える人気ボイトレVtuberみかん先生と地域の魅力向上、関係交流人口の増加をめざし、4分野にわたる包括連携協定を締結した。

個別連携協定では、植田油脂(株)と廃食油リサイクルの推進などの協定を締結した。



包括連携協定(ENEOS(株)堺製油所)



包括連携協定(ポイトレVTuber みかん先生)

課題対応5 安全・安心で快適な観光まちづくりの環境整備

<重点メニュー>

施策5-2 誰もが安全で安心な環境整備

① 歩く観光の環境整備

<当初計画>

(単位:回・人)

指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
町主催(共催)のウォークイベント開催回数 (R4~R8累計)	3	6	9	12	15
町主催(共催)のウォークイベント参加者数 (R4~R8累計)	535	1,090	1,665	2,265	3,335

(参加者数の想定)

(単位:人)

指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
二上山岳のぼり	300	300	300	300	300
山地美化 キャンペーン	185	205	225	250	270
その他	50	50	50	50	500

※山地美化キャンペーンは総計に目標設定あり

※その他については都度開催を企画するウォークイベントなど。R8年度までに一度は鉄道会社等と連携し、300~500人規模のウォークイベントを想定している。

<実績値>

(単位:回・人)

指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
町主催(共催)のウォークイベント開催回数 (R4~R8累計)	2	5 (7)	4 (11)		
町主催(共催)のウォークイベント参加者数 (R4~R8累計)	299	869 (1,168)	822 (1,990)		

令和6年度は、二上山岳のぼりに98人、山地美化キャンペーンには172人が参加した。その他のウォークイベントとしては、華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会主催のみなみかわち歴史ウォークイベントのゴールを富田林市寺内町で開催されるじないまち雛めぐりの会場内にすることにより、参加者の相乗効果を図って実施し、316人が参加した。令和6年度のウォークイベントの実施回数としては4回となった。

ウォークイベントの参加者は、高齢化により減少傾向にあるが、次年度以降も引き続き観光関係団体、鉄道会社やボランティアガイドなどと協力しながら、魅力ある周遊イベントを企画・実施する。



〔スタート地点の様子：太子町聖和台〕



〔ゴール地点の様子：富田林市寺内町〕

令和7年3月9日 ウォークイベント(太子町～河南町～富田林市)の状況

② その他観光の環境整備

竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会のサイクリング促進事業（サイクルツーリズムの促進）において、アプリ「DIIIG」を活用した竹内街道・横大路（大道）を基軸とした竹内街道沿道の各市町村に点在する構成文化財等を含む5コース（大阪府3コース・奈良県2コース）からなるサイクリングコースを設定し、299人の参加者（159人イベント達成者）があり、沿道周遊の促進を図った。

○開催期間：令和6年10/11（土）～12/15（日）

○コース数：5コース

【大阪府】3コース

- ・大阪城から竹内街道へ「難波大道」をなぞるコース
- ・堺から松原へ竹内街道西コース
- ・羽曳野から太子へ竹内街道「近つ飛鳥」コース

【奈良県】2コース

- ・橿原～大和高田～葛城をめぐる横大路横断コース
- ・いざ日本国はじまりの地へ！ぐるっと飛鳥1週コース
（橿原市、桜井市、明日香村）



サイクリングイベントの状況(大道旧山本邸前)

- ・世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」と世界遺産登録をめざす「飛鳥・藤原の宮都」をつなぐ道としてサイクルツーリズムの促進をした。
- ・賞品として特産品を設定することで地域の魅力を発信した。